

高知市子どもまちづくり基金助成金事業

# こうちこどもファンド

～これまでの10年とこれから～



令和5年2月  
高知市まちづくり活動検討委員会



# 【目次】



## ～本 編～

1 はじめに	.....3
2 10年間の取り組みの成果と課題	.....4
3 今後に向けた「7つの提言」	.....11
提言① もっともっと応募を	.....11
提言② 誰でもわかる「こうちこどもファンド」に	.....11
提言③ 幅広く対応できるアドバイザーチームを	.....12
提言④ こどもたちの応援団のパワーアップを	.....12
提言⑤ 「チーム・こうちこどもファンド」としての動きへ	.....13
提言⑥ 寄附者とのより広く、より深い関係づくりを	.....14
提言⑦ 「こども・わかもの」を次の舞台へ	.....17
4 運営方法に関する検討結果	.....18



# 【目次】

## ～資料編～

1 各種アンケート結果	
①活動したこどもたち	……………21
②活動したこどもたちの家族・大人サポーター	……………39
③こども審査員及びその家族	……………55
④寄附者	……………67
⑤市民ウェブモニター	……………72
2 活動実績の紹介	……………84
3 寄附の実績	……………126
4 答申に至るまでの検討委員会の流れ	……………127
5 こうちこどもファンドの設立経緯	……………129
6 高知市子どもまちづくり基金に関する経過と現状	……………131



# 1 はじめに

2023年4月1日には、「こども基本法」が施行される。背景には、1989年国連で「子どもの権利条約」が採択され、日本も1994年に批准したことが大きい。しかし、日本は批准までに5年の時間を費やし、なんと世界の中で158番目の批准国である。さらに批准国は条約が規定する子どもたちの権利を実現するために国内法の整備を進めなければいけないが、日本は批准したにもかかわらず、それを全く実施してこなかったため、国連からこれまで厳しい勧告を何回も受けてきた。このような状況が続く中、条約批准後30年が経過し、ようやく日本でも「こども基本法」が誕生した。こどもの権利に関しては、日本は世界の中で後進国である。

日本政府がこのように国際的に大きな遅れをとっているのに対して、高知市はこどもの権利実現の先進都市である。こどもが運営するまち「とさっ子タウン」は2009年に誕生し、すでに14年の実績がある。またこどもがまちづくり活動を申請し、その審査もこども審査員が行う「こうちこどもファンド」も2012年に開始され、すでに11年を迎えている。つまり高知市は、日本政府がこどもの権利の法的な整備を放棄してきた時期に、こどもの主体的な活動をさまざまな形で実現してきている。

本報告書は、これまでの成果と今後の課題を明らかにし、さらに発展のための提言を行うことを目的にしている。具体的には、こどもファンドで活動したこどもとその支援をした大人、審査をしたこどもとその保護者、寄附をしていただいた企業等にアンケート調査およびインタビュー調査等を行った。また、高知市のWebモニターの方々にもアンケート調査を行った。そしてこの調査結果をふまえて、まちづくり活動検討委員会では合計5回の熱い議論を行い、今回の提言となった。

考えてみると、第1回の公開審査会当時最年少のこども審査員は小学校4年生だったので現在は大学1年生、最年長は高校3年生だったので、現在は27歳になっている。そこで、本報告書の提言ではこどもだけを対象にするのではなく、ファンドで育ったこどもとわかものたちの次なる活動の場も視野に入れている。

高知の市民社会はこうちこどもファンドを契機にしてゆっくりではあるが、確実に変容しつつある。この状況を高知市民みんなが共有し今後も発展させていくこと、そして高知市がそれをさらに充実した態勢で支援していくことを期待する。

高知市まちづくり活動検討委員会 委員長  
早稲田大学教授 卯月 盛夫

## 2 10年間の取り組みの成果と課題

検討委員会では、これまでの成果を検証するために、こども審査員および保護者、活動したこどもおよび保護者、大人サポーター、寄附者、一般市民の方へ、令和4年5月～6月の期間アンケート調査を実施し、計439名の方よりご回答いただきました。その中から、次のような成果や課題が見えてきました。

### 成果

#### 「こども」が育っている

平成24年～令和3年度までの10年間で活動したこどもの人数は、述べ865名に上ります。

こうちこどもファンドの大きな成果の一つとして、助成を受け、活動をしたこどもたちとこども審査員を経験したこどもたちが育っていることが挙げられます。

#### ●活動したこどもたち

\*「まちのために役に立ちたい」「高知に住んでいたい」「ニュースに関心を持つようになった」等、自分の住む地域への愛着心が形成されているとともに、自分の住む地域や社会への関心や問題意識が高くなっていることが分かりました。

(資料編:アンケート結果 P27・28・32参照)

\*「大人の知り合いが増えた」、「大人と話すのは楽しいと思えるようになった」など、コミュニケーション能力が身についているとともに、大人に対する気持ちの変化が見られました。

(資料編:アンケート結果 P30・31参照)

#### ●こども審査員

\*「自発的に行動ができるようになった」、「問題意識を持って行動・発言できるようになった」という自発性・積極性が養われていることが分かりました。

(資料編:アンケート結果 P63参照)

\*「大人たち(家族を含む)との会話が増えた」、「友達が増えた」、「友達と協力して何かをやり遂げる事が楽しそう」など、同年代や世代を超えた人とのコミュニケーション能力や協調性が身についていることが分かりました。(資料編:アンケート結果 P63参照)

## 「こどものチカラ」が「地域のチカラ」に

大人サポーターとして直接関わった大人の延べ人数は、340名、それ以外にも子どもたちが働きかけをして活動に参加して下さったり、間接的に応援してくれた地域の諸団体の大人もたくさんいます。こうちこどもファンドで助成を受けた団体が、活動を通じた社会貢献はもちろんですが、こうちこどもファンドの周りの大人や地域(住民)の「意識」に大きな変化を与えたことも大きな成果であったといえます。

- \*「地域の催しに参加して欲しいという声かけが増えてきた」、「こどもと一緒に考える気運が高まった」、「これまで知らなかった方と知り合いになれた」など、こどもの活動に関わることで、大人も地域とのつながり・関係性の変化がありました。  
(資料編:アンケート結果 P46参照)

## 市担当者の意識の変化

歴代担当者ヒアリングより、以下のような声が寄せられました。

- \*こどもたちの活動の様子や、寄附してもらっている企業の取り組み等の情報にアンテナを張るようになりました。
- \*まちづくり活動を行うことに世代は関係なく、多種多様な人の考えや関わりが必須であるということを再認識させられました。
- \*こどもたちの活動に取り組む姿や経験を重ね成長する姿を間近で見ること、自らの業務に取り組むモチベーションアップにつながりました。
- \*市民目線・こども目線での事業企画や運営に役立っています。
- \*創設した当初、こどもたちを提案・審査の主役としたことに対する不安がありましたが、1回目の審査会を経て以降、全くの杞憂であったと思うようになりました。

## 他県市町村等からの注目の高まり

こうちこどもファンドは、高知市が取り組む事業の中で、他都市からの視察件数が最も多い事業です。平成24年～令和3年度までの視察件数は52件に上ります。令和5年4月1日から「こども基本法」が施行されることから、今後はますます参考にしたいという声が多くなることが想定されます。

- \*ファンド開始年度から、他都市からの視察が年間約10件程度訪れており、注目の高まりを見せています。
- \*令和元年度から、宮城県名取市で「なとりこどもファンド」が開始。令和4年度から、神奈川県茅ヶ崎市で特定非営利活動法人NPOサポートちがさきが主催で「ちがさき・さむかわこどもファンド」がはじまるなど、他都市への影響や広がりが見られています。

### ～こどもファンドは未来への投資～

こうちこどもファンド10周年おめでとうございます。

こうちこどもファンドの活動は、こどもたちの自主性、自立性、創造性、社会性を伸ばすとともに、仲間とともに苦労を重ねて目標を達成する経験は、大きな成長に繋がるものと思います。

また、こども審査員は、こどもたちに活動団体と同様のプラスの効果をもたらすとともに、こうちこどもファンドの仕組みをこども主体で成立させる重要な要素となっています。

そして、目標に向かって努力する子どもたちの姿は、サポートする大人にも感動と人としての成長を与えてくれます。

さらに、こうちこどもファンドへの寄附は、活動を通じて郷土愛を身に付け、成長したこどもたちが地域の未来を支える人材となるため、地域社会への貢献の観点から質の高いリターンをもたらす優良な投資であると思います。

今回、こうちこどもファンドの未来に向けた答申に、高知市まちづくり活動検討委員会の委員として関わることができたことに感謝をしています。

これまでの10年間こどもファンドに関わってきた皆さまに感謝を申しあげるとともに、こどもたちの成長や地域社会の未来のために、これからのこどもファンドの益々のご発展を祈念いたします。

山崎 英隆（高知市こども未来部長）



### ～こどもを中心に据える～

『「こども」が育っている』この答申書の一番最初に書かれているひと文が光って見えます。

こうちこどもファンドが今年で10年目を迎えるということですが、私は学校の教員という立場で、今まで2回、こどもたちの挑戦を見守りました。

地域のために何ができるのか、地域をもっと多くの人たちに知ってもらいたいなど課題は違っていても、熱い思いをもってアイデアを出し合い、考えて考えて考えてを繰り返していくうちに、大人サポーターの手助けなしでも主体的に活動できるようになります。こうした力が高知のまちのあちこちで湧き上がり、大きな渦になったとき、高知をもっと住みやすいまちに変える原動力になるのではないのでしょうか。

また、こうちこどもファンドの仕組みのなかに、こどもたちの熱い思いを支える「おとな」がたくさんいることもとても嬉しく思います。 ったときにアドバイ してくれる、やりたいことを するための資金援助をしてくれる、そして、こどもたちの思いをかなえる みづくりをしてくれる、そんな「おとな」たちに支えられ、これから高知の未来を拓くこどもたち。こどもファンドを通して「こども」が育っている高知市。未来を照らす明るい光が見えるようです。

竹崎 優子(R1土佐山宣隊6ネンジャー 大人責任者、高知市教育委員会 学校教育課 学力向上推進員)





## ～こどもファンドのおかげで今の私がいる～

私は、こうちこどもファンドで人生が大きく変わりました。

小学生の頃、高知のことを「好きだ」と言い切れなかった私が、こうちこどもファンドと出会い、数えきれないほどの成功体験や苦労した経験を通じて、高知のことが大好きで誇りに思える自分と出会うことができました。

こうちこどもファンドの成果として『「こども」が育っている』という内容があります。

こうちこどもファンドに関わっているこどもたちは何かしら高知の地域の魅力を再確認し、大切に想うことができるようになってきていると感じます。

私は、たくさんある高知の魅力の中で特に、こうちこどもファンドを通して出会った「おとな」が高知の魅力だと感じています。高知にはたくさんオモシロイ大人がいて、こうちこどもファンドはそんな大人たちとこどもが繋がる架け橋のようなものになっていると思うのです。

高知のオモシロイ大人がいてこそ、こうちこどもファンドはこの10年間、たくさんのこどもたちを育ててきたのだと思います。

「いつか、こんな大人になりたい」と私は中学生の頃からずっと、ずっと思っています。

まだまだですが、これからもこどもファンドで出会った大人の背中を追い続けたいと思います。

田部 未空(H25 こども審査員、H26・27「Food Treasure Hunter in Namegawa」こども代表者)



私は日頃、地域の歴史的資源を活かしたまちづくりのお手伝いをしており、「こうちこどもファンド」には、この検討会で初めて関わらせていただきました。10年間の検証を進めるなかで、こどもたちの主体的な活動や発想に驚くと同時に、活動を支える仕組みが整えられ、多くの企業や個人によって支えられ自立的な運営が行われてきたことに感動を覚えました。

まちづくりの効果は一見すると見えづらいものですが、聞き取り調査を通して、こどもファンドの活動やこども審査員を経験したこどもたちが育っていること、市役所の中でこどもファンドを担当することで市職員としての使命感が醸成されるなど、着実に根を張りつつあることがわかりました。それは、10年前のまちづくりファンドの検証を通して、これからのまちづくりをどう発展させていくかを熟考した上で、新たな取り組みとして創設され、丁寧な仕組みづくりを進めてきたことで生まれた成果だと思っています。

この取り組みは高知市が先進的に始め、ようやく他市町村で取り入れる事例が現れ始めましたが、まだまだ全国に広がってほしいと感じます。そのためにも、こうちこどもファンドがどのように発展・深化していくのか、期待しながら見守っていきたいと思います。

北山 めぐみ(高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科 准教授)



# 課題

## 認知度の低さへの対応

- \*一般市民を対象とした市民ウェブモニターのアンケート結果では、こうちこどもファンドを「知らない」との回答が約9割という結果でした。より多くの人にこどもファンドを知ってもらい、活用してもらうため、認知度を高める必要があります。  
(資料編:アンケート結果 P72参照)

## アドバイザーの体制拡充

- \*活動内容を考える段階や活動中のこどもたちの悩み相談に乗る等、こどもたちをサポートする「こうちこどもファンドアドバイザー」を活用したことによる効果を感じる声がアンケートでは示されていました。現在のアドバイザーは1名体制ですが、より充実した活動につなげていくため、複数のアドバイザー体制について検討する必要があります。  
(資料編:アンケート結果 P35・50参照)
- \*アドバイザー派遣のほとんどは申請前の申請書の書き方や活動内容についての相談で急遽決まることが多く、急なアドバイザー派遣要請の対応など日程調整の問題もあります。

## 公開審査会・活動発表会の運営の工夫

- \*現行の公開審査会・活動発表会は、こども審査員以外は大人主体で運営していますが、こどもたちが運営全体に幅広く参加でき、やわらかい雰囲気で行進できるよう検討する必要があります。

## 活動団体との交流の機会づくり

- \*現在、こども審査員・大人審査員(今後、こども審査員サポーターに改称予定)の交流は公開審査会と活動発表会のみで、より多くの交流を求める声が上がっています。審査員が活動内容や活動団体のことをより深く知るために、交流できる機会づくりを行っていく必要があります。また、活動しているこどもたちにとって、自分が活動している地域の魅力や課題のことは認識していても、高知市全体の魅力や課題として結びつけて捉えられていない現状があります。  
(資料編:アンケート結果 P36・62参照)

## 応募団体・子ども審査員の掘り起こし

### ● 応募団体

\*現在は、市内の全小・中・高等学校に募集をかけていますが、より幅広く多くの学校や地域の子どもたちの「こんなまちだったらいいな」という思いに応えられるよう、より幅広い新たなニーズを発掘する必要があります。

(資料編:アンケート結果 P23・24参照)

### ● 子ども審査員

\*子ども審査員についても、より幅広い学校や地域の子どもたちに応募していただけるよう、「何かにチャレンジしたいな」と思っている子どもたちの目に届くような魅力や発信方法の工夫をしていく必要があります。

(資料編:アンケート結果 P57参照)

## 寄附金の継続的確保

\*平成24年からこれまで10年間で計1,337万円の寄附がありましたが、年度によって寄附額の偏りがあり、今後も子どもたちの活動を応援していくためには、安定した寄附をいただけるよう、工夫していく必要があります。

(資料編:寄附の実績 P126参照)

\* (市民ウェブモニターより)子どもたちの活動を寄附という形で応援したいという声が多くあったことから、寄附者の想いに呼びかけられるような周知方法等を工夫していく必要があります。

(資料編:アンケート結果 P76～78参照)



▲ 絶海池クリーン大作戦  
(AOYAGI 地域盛り上げ隊)



▲ 小学生と段ボールトイレ作り  
(IKKU 絆コミュニティ)



▲ 子どもによる子どものためのイベント開催  
(虹を見る子どもたちプロジェクト)

### ～高知市で広がるこども主体のまちづくり～

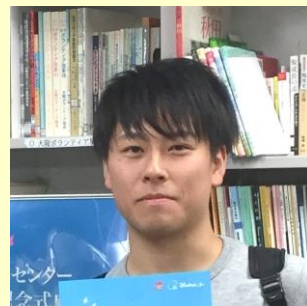
「こうちこどもファンド」は設立から 10 年を迎え、述べ 71 団体 865 名のこどもたちが活動してきました。これだけ多くのまちづくりプレイヤーが誕生したことは大きな成果です。着実にこども主体のまちづくり活動が高知市で広がっていると思います。

仮にこのファンド制度がなければ、地域や学校の中で活動するこどもたちの姿は見られなかったかもしれません。こどもたちの思い溢れる取り組みが行われなかったかもしれません。そのように考えると、こうちこどもファンドは高知市のまちづくりにとって重要な役割を担う制度になっていると思います。

一方で「認知度の低さ」や「寄附金の継続的確保」など課題も出ています。次の 10 年を意識した長期的な視点で、改善に取り組む必要があると思います。

今回の答申書をきっかけにこうちこどもファンドがより充実し、高知のまちづくり活動の気運醸成につながることを期待しています。そして、こどもたちの主体的なまちづくり活動が広がって行くことを楽しみにしています。

尾崎 昭仁(NPO 高知市民会議 プロジェクトマネージャー、H26～こうちこどもファンド大人審査員)



### ～未来のために広げよう こどもファンド～

こどもファンドという制度は知っていましたが、「ファンド」という言葉に違和感を覚え、こどもが活動をやらされている感が強く、こども主体の活動だとは思っていませんでした。

まちづくり活動検討委員の依頼を受けて、躊躇しましたがお役に立てることがあればと思い引き受けました。第1回目の会議で、各委員の皆さんの熱い思いを聞いて軽い気持ちで引き受けたので正直困ったなと思いました。会を重ねるにつれ、丁重な制度についての説明、委員さんの経験談、公開審査会の様子、報告などを聞き、大きな思い違いをしていた自分が恥ずかしく、もっと早くに関心を持ち、よく調べ、この制度をこども達と活用していたらと後悔しました。

こどもの提案を実現させるために大人がサポートし、こども主体なまちづくり活動を支援するこの制度を継続することにより、明るく活発で暮らやすい高知市になることを期待します。まだまだこどもファンドを知らない方がたくさんいます。この制度を理解し活用していただけるように情報発信を更に強化してほしいです。また、申込も気軽に出来るよう簡素化の検討もお願いしたいです。

今後はこの委員会での経験を地域に活かして、未来のまちづくりにこども達と共に取り組んでいきたいと考えます。

藤田 清美(高知市小中学校PTA連合会 事務局長)



### 3 今後に向けた「7つの提言」

こうちこどもファンドが10年を迎えるにあたり、当初の目的を十分に果たしてきたかを検証してきましたが、こどもたちやそれに関わる大人のまちづくりへの意識の変化、地域社会や学校に与えた影響は大きなものであったと言えます。

これまでの検討結果をふまえ、これからもこうちこどもファンドが発展していくために、次の7つの提言を掲げました。

#### 提言① もっともっと応募を

---

##### \*こどもの感性に響く、伝わりやすい広報物の作成・発信

- ・応募募集チラシやパンフレット等を作成する際、こどもが見て応募したくなるような表現やレイアウトの工夫を検討しましょう。こうちこどもファンドの活動経験者からアイデアをもらいながら、より伝わりやすい広報物を作成・発信していきましょう。

##### \*学校・地域等へのこうちこどもファンド出前講座の実施

- ・学校や地域等への出前講座をすることで新たな応募団体の確保につながる働きかけや地域別・学校別のニーズの掘り起こしを行いましょう。そのために、歴代のこうちこどもファンド担当職員による庁内各課への調整役等、行政の最初の窓口となり、経験者だからこそできるサポート体制をつくりましょう。

##### \*応募しやすさのUP

- ・応募手続きマニュアルの作成等、応募者(大人サポーター)の事務負担を減らし、応募しやすくなるような方法を検討しましょう。

#### 提言② 誰でもわかる「こうちこどもファンド」に

---

##### \*広報活動の充実・工夫

- ・新聞掲載(広告)やテレビスポット CM 等での発信、SNS、市の広報ツールの活用、活動の様子をまとめたDVDの作成、こうちこどもファンド独自のHPの開設、「ピッピネット」(高知県ボランティアNPOセンター開設)での発信、YouTubeへの配信など、さまざまな媒体を駆使した広報活動の拡充を図りましょう。
- ・オーテピア・商業施設、イベント会場等での宣伝活動を実施しましょう。
- ・こうちこどもファンドで活動している人や、活動経験者など、こどもたち自らによる広報活動についてもしくみを検討していきましょう(P17記載の「こども・わかものまちづくりクラブ」での取組としても検討しましょう)。

## \*こうちこどもファンド10年の取組をまとめた図書出版、映像化

### ●高知のこどもたちのまちづくりの教材・マニュアルとして

- ・小学生が見ても分かりやすい内容にすることで、「こうちこどもファンド」に応募したいと思ってもらえるようなものにしましょう。
- ・小・中・高校生が勉強にも使えるようなものにすることで、まちづくりのノウハウが分かり、学校の総合的な学習の時間などに活用してもらえることも期待できます。

### ●「こうちこどもファンド」の取組を全国各地で知ってもらうものとして

- ・こうちこどもファンドの魅力が対外的にも伝わるような内容で作成することで、全国各地でこどもファンドの取り組みを広く知ってもらいましょう。

## \*こうちこどもファンドのPR用ののぼり旗等、広報用グッズの作成・貸し出し

- ・こうちこどもファンドをPRできるような各種グッズを作成し、活動団体に使用してもらうことで、団体自身の活動に併せて、こうちこどもファンドの広報を図りましょう。

## 提言③ 幅広く対応できるアドバイザーチームを

---

### \*さまざまなニーズに対応可能な「アドバイザーチーム」をつくる

- ・応募についての相談や活動中に出てきた悩みなど、こどもたちの活動内容に即したきめ細やかなアドバイス体制を構築することで、より地域や企業、事業者を巻き込んだ活動になることが期待できます。(例、活動に協力してくれる企業とのマッチングアドバイザーチーム)

## 提言④ こどもたちの応援団のパワーアップを

---

### \*こうちこどもファンド経験者 OB・OG が継続してファンドに関わってもらえるしくみづくり

- ・活動団体や審査員としてこうちこどもファンドに関わった OB や OG が、活動団体に助言・支援できたり、公開審査会・活動発表会にスタッフとして参加してもらえるようなしくみづくりを検討しましょう。

### \*こども主体による審査会・活動発表会の運営

- ・会の進行・発表・審査など、こどもたちが主体となって運営するしくみづくりを検討しましょう。
- ・こどもたちが主体となって運営することで会場に一体感が生まれることや、発表するこどもたちにとっても発表しやすく、こども審査員にとっても質問しやすいアットホームな雰囲気づくりができます。
- ・さらに、こうちこどもファンド経験者にも運営に関わってもらうことで、活動後もこうちこどもファンドに関われるしくみができるとともに、経験者(先輩)が現役のこどもたち(後輩)を

応援する体制ができ、そこで新たなネットワークが生まれることが期待できます。

## 提言⑤「チーム・こうちこどもファンド」としての動きへ

年度ごとの活動団体やこども審査員の交流の機会を設けることで、地域や学校間を超えたつながりが生まれ、ひいては高知市全体でつながりが深まることが期待されます。こうちこどもファンドへ関わる人みんなで力を合わせ、「チーム・こうちこどもファンド」として、こどもファンドを盛り上げていきましょう。

### \*こども審査員が活動団体の活動を見学・参加できるしくみ

- ・こども審査員も同年代とともに学び、考えることで、まちづくりや社会についての知識や経験を身に着けることができます。
- ・次年度も継続する審査員に関しては、現場を見たうえで審査するうえでのポイントを知られる等、視野を広げることができます。
- ・活動団体に対して、活動後(活動発表会)だけでなく、活動中にアドバイスや応援できる環境ができます。(必要に応じて交通の便の確保費等の予算措置も)

### \*こども審査員と大人審査員(こども審査員サポーターに改称予定)の交流

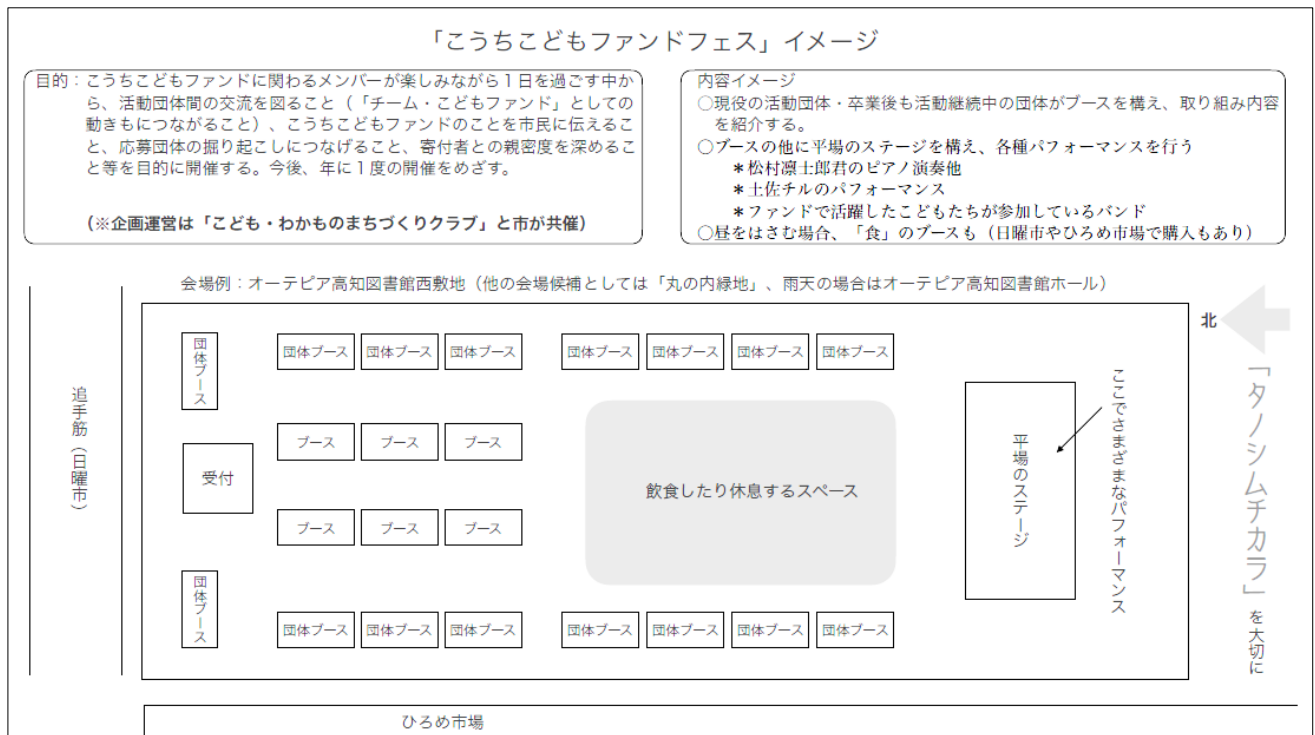
#### 大人審査員の役割

こども審査員や活動団体を全体的にサポートし、こどもたちが困った時に助言をしたり、視野を広げられるアドバイスをする役割を持ちます。

- ・事前審査会・事前研修会の際に、こども審査員と大人審査員が仲良く話し合えるようなきっかけを作り、こども審査員が大人審査員に気軽に相談できるような関係づくりを目指しましょう。
- ・こども審査員と大人審査員と一緒に活動団体の活動を見学に行き、その後に活動の改善点や、審査するうえでどの部分が大事だったかを話し合う機会を設けることも検討しましょう。

### \*活動団体間の交流

- ・活動中に出てきた悩みや活動の経過を情報共有・意見交換することで、助け合い、学びあいながら活動を行うことができます。その中で、学校や学年を超えた交流が生まれます。年度ごとに活動団体やこども審査員等が楽しく交流できる機会(例えば、「こうちこどもファンドフェス」の開催等)を設けましょう。



## 提言⑥ 寄附者とのより広く、より深い関係づくりを

### \* 寄附希望者への周知方法の工夫

・「こどもたちの活動を応援したい」と思っているより多くの人々にこうちこどもファンドを知ってもらうための広報や幅広い寄附の方法を検討しましょう。（クラウドファンディング等）・市のふるさと納税に常設で「こども」の 카테고리を追加するなど、寄附を募りやすいしくみづくりを検討しましょう。

### \* 寄附者との関係性を深める工夫

・寄附をいただいた方には、活動団体からの直筆のお手紙や、動画、事業報告書のほか、活動の中で作成したパンフレット等の「成果物」をお送りするなど、関係性を深める工夫をしましょう。

### \* 寄附金の使い道の拡大

・直接的な活動助成金以外に、市の予算措置では速やかに対応しづらいこどもたちの幅広い活動を支援するための資金として有効に使えるよう検討しましょう。  
 (例)「こうちこどもファンドフェス」にかかわる費用・こうちこどもファンド関連グッズの作成、新聞掲載のための広告費、CM 制作費・広報業務の委託



## 提言⑦ 「こども・わかもの」を次の舞台へ

これまでこうちこどもファンドで活動してきたこどもたちは、地域や高知に対する見方が変わるなど、大きく成長してきています。今後は、「高知のために何かしたい」と思ったこどもたち及び 18 歳を超えたわかものたちを、継続して応援できる受け皿として、次のようなしくみづくりを検討しましょう。

### \* (仮称)こども審査員 OB・OG 会の立ち上げ

・こども審査員 OB・OG 同士や大人審査員・市職員などとの親睦を図る会の立ち上げを図りましょう。

### \* (地区別)こどもまちづくり協議会の設置

・地区別でこどもたちがまちづくりについて協議できる会を設ける検討を行いましょう。  
※高知市が地域コミュニティの再構築事業のひとつとして設立をすすめている「※地域内連携協議会」を構成する組織の一つになることをイメージしています。

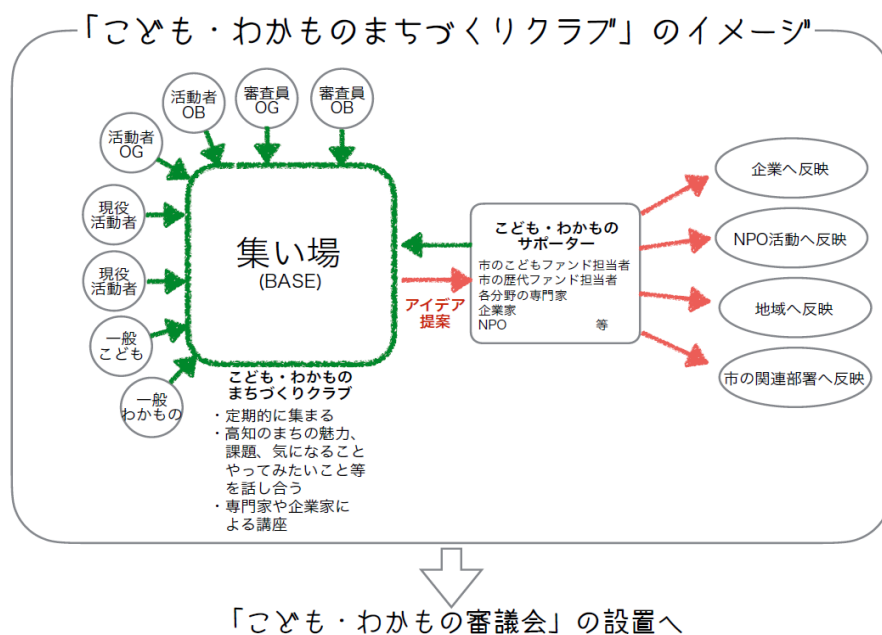
### \*こども・わかもの審議会の設置

・これまでこうちこどもファンドで活動したこどもたちや、こども審査員経験者が次のステップとして高知のまちづくりに意見やアイデアを出してもらおう審議会をつくりましょう。高知のこどもとわかものに関係しそうな高知市の施策や計画等について、関係課が諮問し、それに答申をします。(諮問がなくても、市長や議会に上申、提案できる機関にすることが望ましいです。)

※原則公募・任期は2年、年に4回程度開催します。(必要に応じて条例が必要になります。)

### \* (仮称)こども・わかものまちづくりクラブの立ち上げ

・「こども・わかもの審議会」設置に至るまでの過程において、お試的に(仮称)「こども・わかものまちづくりクラブ」の立ち上げを検討しましょう。



### ～こどもを中心に据える～

委員一覧表での当方の「区分」は「市民活動」となっている。担当者に聞いたわけではないが、「公益財団法人の専務理事だから、市民活動に詳しいだろう」という理由の人選であったのなら、申し訳ないが、思い切りミスだったと思う。確かに各種団体への助成に関わっているが、当人が「市民活動」感覚を身に着けているかどうかは別物だ。

元々、スポーツ記者である。取材対象として「こども」と接する機会は多かった。そんな中、「自ら考え、行動する」選手が伸びることは、肌感覚で知っている。選手に考える機会を設けられない指導者はダメである。それは、選手ファーストでないことにつながる。

「こども」を大切にしない国は衰える、と思う。「こうちこどもファンド」の10年を総括して、次の10年を迎える現場に立ち会えた。「こうちこどもファンド」の果たすべき役割はさらに増してきている。そして、そのキモは「こどもを中心に据える」ことだろうと、個人的には思っている。ホント、勉強になりました。

最後に一言。1年間、5回にわたる委員諸氏の建設的で情熱的な議論の場に、再三再四チャチャを入れ、水を差したこと、この場を借りておわびします。



土橋 宏史 (公益財団法人 高知新聞厚生文化事業団 専務理事)

### ～こどものやる気は高知のパワー！～

高知のこどもたちは豊かな発想で、それぞれの地域に魅力を感じ「地域を元気にしたい！」「こんなことを地域内外に発信したい！」と手探りで地域に入り込んだ。そんな「こうちこどもファンド」の10年のあゆみがこどもたちの活動に奥深い多くの可能性を花開かせてきた。

高知のまちにはこども主体の活動をさまざまな視点から支える大人とその事業「こうちこどもファンド」がある。こどもを中心に考えたい大人がたくさんいる。地域の人々もこどもと関わると元気が出る。この「こうちこどもファンド」で活動したわかものが、近い未来にあらゆる地で、次のステージで、自信を持って活躍することだろう。自分たちの“やりたい”を、社会と対等に関わり、実現してきたこどもたちは、どこにいても、高知という家族のようなまちを愛しほこりに思うだろう。

新たな10年へと向かう今、またさらに地域と共に進化し続ける多くの団体のこどもたちの姿がある。こどものパワーで高知の未来が大きく揺れ動く…そんなまちをみてみたい！



武林 由希子 (H30、R1、R3、R4 久重 natural チーム 大人責任者)

## ～こどもたちのチカラを信じ、ともにタノシム～

2011年に「こどもファンド」のしくみづくりに参加、2012年に取り組みが始まってからは「こどもファンドアドバイザー」として、こどもたち(大人サポーターも含む)の相談にのってきました。

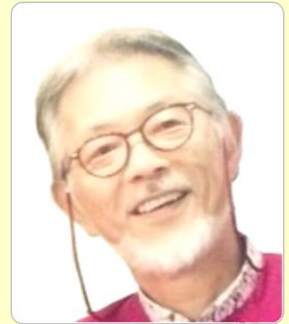
大切にされたことは、こどもたちの「こんなことやってみたい！」という想いと「なぜそれやりたいと思ったのか」をじっくりと聞き出し、実現するにはどのようなやり方が考えられるか、自分たちだけでなく、どういった人たちの知恵やチカラを借りることで、活動内容がより豊かになるかを、一緒に話し合いながら整理していくことでした。

こちらから「こうしたほうがいい」といったことは言わず、「考え方の視野を広げてもらう問いかけ」「活動のヒントになるような問いかけ」に徹しました。

毎回の話し合いは、筋書きのないドラマのようにワクワク・ドキドキの真剣勝負でした。また、都合のつく限り、助成団体の活動を見学させてもらい、こどもたちが頑張る様子に感動したり、気づいたことがあれば、アドバイスさせてもらうこともありました。

アンケート調査結果を見ると、アドバイザーの想いが伝わっていたようで、嬉しく思いました。今後、こどもファンドを経験したこどもたちの「チカラ」が地域や高知を元気にしていく「チカラ」になることを期待しています。

畠中 洋行(H24～こうちこどもファンドアドバイザー)



## ～寄附金で賄われている助成金～

これまでの助成 10 回で、こどもたちの活動を支援した助成金の総額は 1,108万円 (延べ 71 件、1 件あたりの平均 15.6万円)である。この金額で、10 年にわたり数千人規模のこどもたちが地域のために自主的に活動をしてきたことは、極めて効率の良い税金の使い道である。しかし、もっと驚くべきことがある。それは、この間の寄附金総額が、なんと 1,340 万円余 (企業延べ 154 社、個人延べ 49 件)で、実は助成金の総額を上回っているのである。つまり、実質的には高知市の税金を全く使わずに、このこどもたちの活動が展開されてきたと言える。税金を費やしてもある程度評価できるこの事業が、地域の企業と個人の寄附だけでその活動すべてが賄われているとは、これはもう驚嘆に値する！

そこで、これまで寄附をしていただいた企業を訪問し、インタビューを実施した。お会いした方々は、「こどもたちには、高知のまちのことをもっと知って欲しい！地域の仕事(企業活動)に関しても興味を持ってほしい！そのためには企業としてできるだけのことをしたい！」と異口同音に発言された。高知大好きのこどもを増やし、人口流出を食い止めたい、という大人たちの強い意思を感じた。

卯月 盛夫(早稲田大学 社会科学総合学術院 教授、H24～こうちこどもファンド大人審査員)



## 4 運営方法に関する検討結果

以上の提言の他に、検討委員会で示されたいくつかの課題に関してつぎのような検討も行い、下記のような結果を得ました。

### 課題

- 「こうちこどもファンド」・「公開審査会」の名称
- \*こどもが活動のイメージをしにくい



### 今後のあり方

#### こうちこどもファンド:名称変更なし

- ・10年間である程度認知度があるため、名称変更するとデメリットになる
- ・副題に「こどものチカラが地域を変える」など分かりやすい説明を入れる

#### 「公開審査会」:「審査会」とする

- ・審査を経て、助成金をもらい活動する重みも伝わるの「審査会」は残す

### 課題

- 同一テーマは3年までという制限
- \*制限なくして欲しいという声
- \*期限の定めがないと助成に頼りきりになる
- \*大人の活動で何らかの成果を求めるのは分かるが、こうちこどもファンドは夢ややりたい思いを応援するための制度なので、制限は必要ない



### 今後のあり方

#### 「同一テーマでは3年まで」を原則とする

- ・制限がある方が、振り返りやアドバイスが活かされた活動となり、活動の成果も出やすい

### 課題

- 応募人数の制限に関して(現在は3人以上)
- \*一人からでも可能にできないか



### 今後のあり方

#### これまで通り3人以上とする

- ・まちづくりは一人ではできない。思いに共感してもらえて、なおかつ自分の考えに意見をしてくれる人が活動するうえで最低3人は必要

### 課題

- 大人審査員の名称変更
- \*大人審査員は、実際審査の票は持っていないので名称が紛らわしい



### 今後のあり方

#### 「こども審査員サポーター」に改称する

- ・こども審査員の意見出しをサポートする役割なので、「サポーター」の方が名称として適している。

## 課題

- 助成決定のしくみ・ルールの伝え方
  - \* 落選した団体の中には、公開審査会のしくみ・ルールが十分に伝わり切っていなかった可能性もある
- 落選団体のフォロー
  - \* 落選するとせっかくのこどもたちのチャレンジする機会がなくなってしまう
  - \* 審査会では不採択の発表のみで、なぜ落選したかの説明が不足しているのでは



## ～こうちこどもファンドで助成が決まるまで～

こうちこどもファンドでは、公開審査会でこども審査員による助成採択の判断が行われます。審査を行うこども審査員は、事前研修会で大人審査員と応募団体の申請書の読み合わせをし、審査基準を決めます。また、事務局からはこども審査員に、落とすための審査ではないということ、どの団体も「まちをもっと暮らしやすくしたい」、「まちをもっと楽しくしたい」という熱意を持って応募してきていることを理解してもらったうえで、審査会を迎えます。

また、こども審査員・応募団体ともに、こうちこどもファンドで助成が決定した団体については、その後の活動において、アドバイザーのサポートだけでなく、広報や行政関係課からの公的な活動のバックアップも含め、全面的な支援が行われるため、事前の準備が審査において非常に重要になるということをお伝えしています。



## 今後のあり方

### 応募団体にこうちこどもファンドのしくみを分かりやすく伝える

- ・応募要領にこうちこどもファンドの助成が決まるしくみや公開審査会の流れが分かるようにする
- ・事前説明会で公開審査会でのプレゼンテーションの準備、質疑応答の対策の必要性について説明を行う

### 落選団体へのアフターケアを

- ・市から活動したいテーマに関係する部署等との調整により、こうちこどもファンド以外で活動できる方法を一緒に考える
- ・落選になった理由を何らかの方法で団体に伝える

# 【目次】

## ～資料編～

1 各種アンケート結果	
①活動したこどもたち	……………21
②活動したこどもたちの家族・大人サポーター	……………39
③こども審査員及びその家族	……………55
④寄附者	……………67
⑤市民ウェブモニター	……………72
2 活動実績の紹介	……………84
3 寄附の実績	……………126
4 答申に至るまでの検討委員会の流れ	……………127
5 こうちこどもファンドの設立経緯	……………129
6 高知市こどもまちづくり基金に関する経過と現状	……………131



# 1 各種アンケート結果

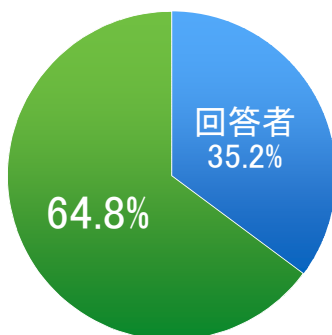
## ①活動したこどもたち

「こうちこどもファンド」で活動した  
こどもたちへのアンケート調査結果

作成者 こうちこうちこどもファンドアドバイザー  
畠中 洋行

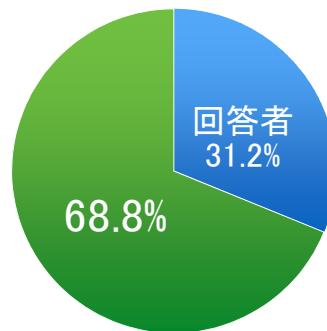
### 集計結果：回答数

配布数：216人  
回答数：76人



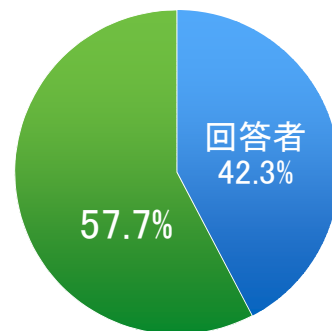
全体

配布数：138人  
回答数：43人



学校母体

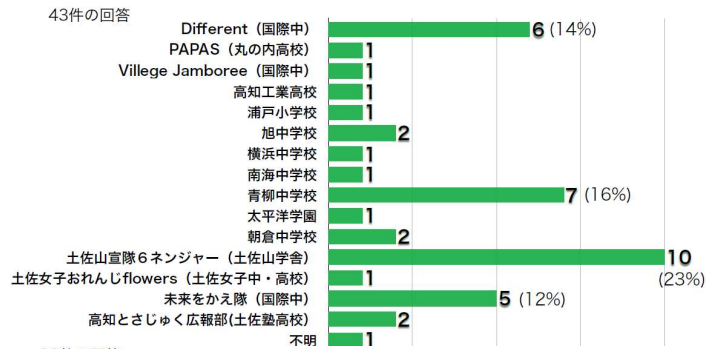
配布数：78人  
回答数：33人



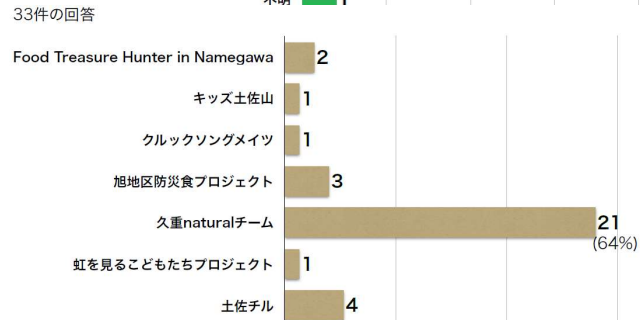
地域母体

## 回答者の所属していた団体

### 学校母体



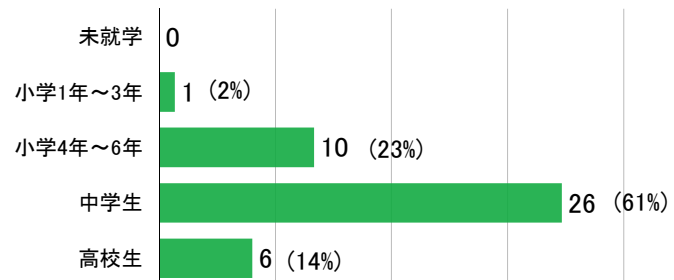
### 地域母体



## 活動していた時の学年

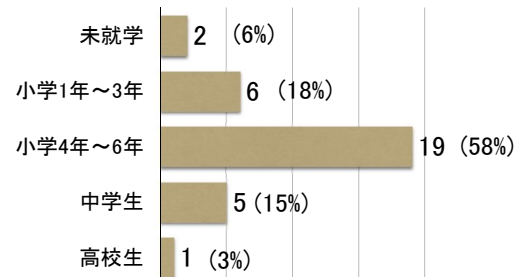
### 学校母体

43件の回答

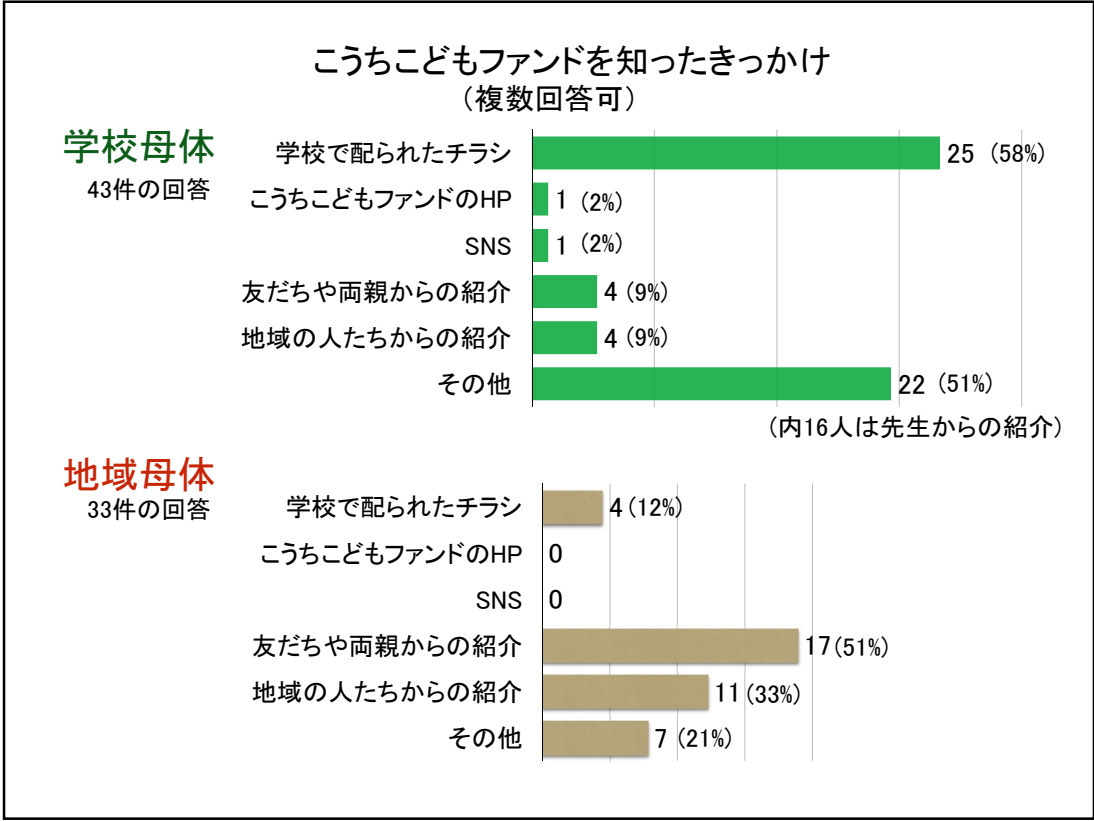
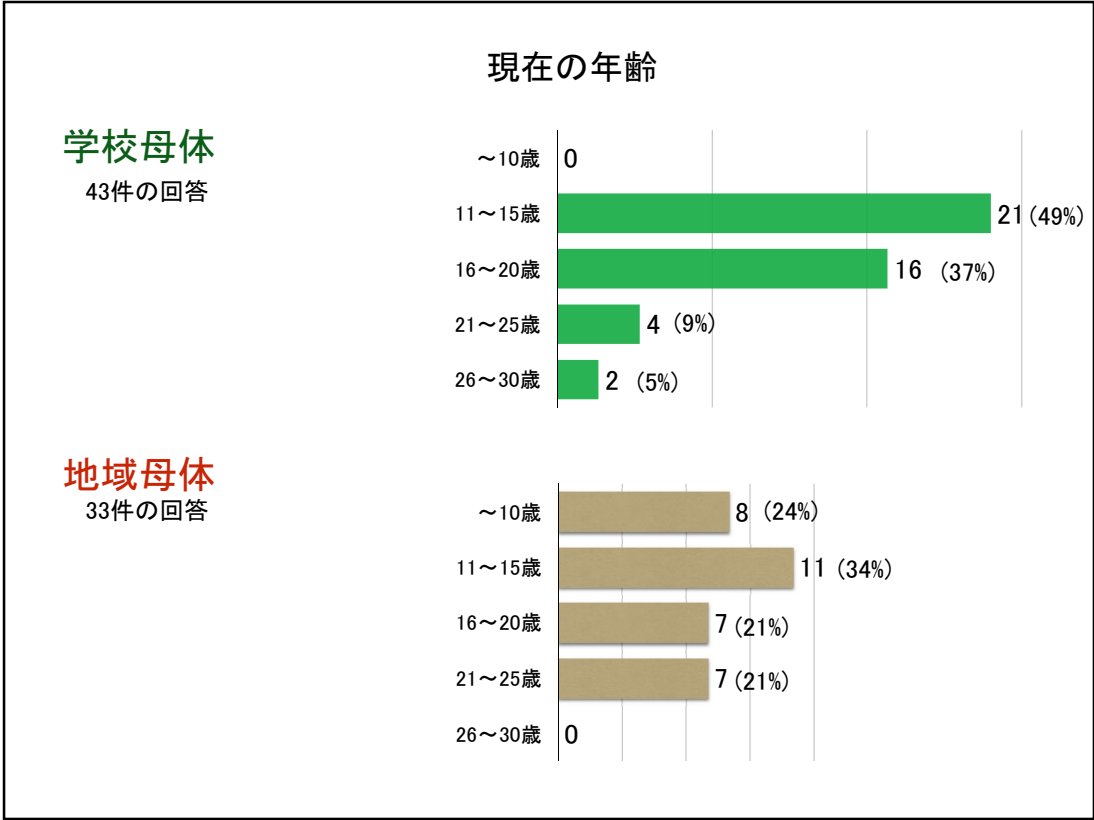


### 地域母体

33件の回答







## こうちこどもファンドを知ったきっかけ

### 「その他」回答の内訳

#### 学校母体

- ・先生からの紹介(16人)
- ・生徒会活動(4人)
- ・学校の紹介(1人)
- ・こうちこどもファンドの説明会があった(1人)

#### 地域母体

- ・先輩が活動するのを見て(3人)
- ・こども審査員を経験して知った(1人)
- ・校長先生の紹介(1人)
- ・以前こうちこどもファンドを経験された大人サポーターの方からの紹介(1人)
- ・同じ活動してる大人から(1人)

## こうちこどもファンドを知ったきっかけ (分かったこと)

\*「学校母体」では、「学校で配られたチラシ」「先生からの紹介(その他)」、地域母体では、「友だちや両親からの紹介」「地域の人からの紹介」のケースが多い。

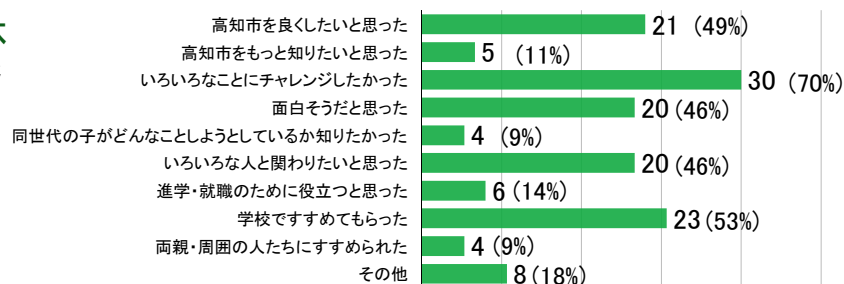
←←学校への告知、地域への告知の大切さ。

今後の告知手法の工夫の必要性。

## こうちこどもファンドに参加した理由 (複数回答可)

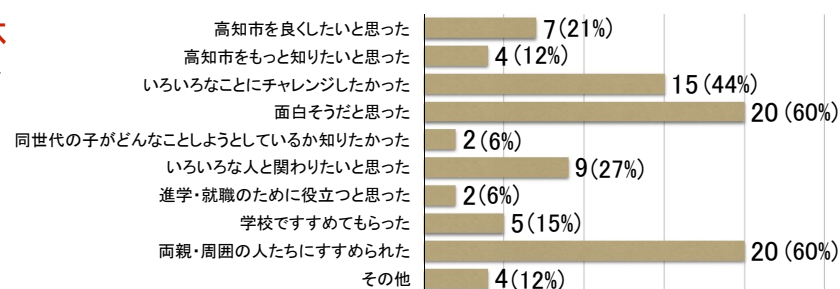
### 学校母体

43件の回答



### 地域母体

33件の回答



## こうちこどもファンドに参加した理由 (複数回答可)

### 「その他」回答の内訳

#### 学校母体

- ・地域を良くするためにお金が必要だったから。(2人)
- ・土佐山に看板を立てるのに資金が必要だったから。(2人)
- ・地域活性化のため。(1人)
- ・土佐山を知ってもらって高知も有名にしたいから。(1人)
- ・たくさんの人に土佐山を知ってもらい、自分たちの活動も知ってもらいたかったから。(1人)
- ・友達に誘われた。(1人)

#### 地域母体

- ・高知を良くしようとしている同世代に負けたくないと思ったから。(1人)
- ・自信をつけるため。(1人)
- ・強制的に。(1人)
- ・大人サポーターからの熱心なオファー。(1人)

## こうちこどもファンドに参加した理由

(分かったこと)

\* 両母体とも、上位から2番目に「受動的」な項目が入っているが（学校母体では「学校ですすめてもらった」、地域母体では「両親・周囲の人たちにすすめてもらった」、全体的には「自発的」な想いによる参加が多いことが読み取れる。

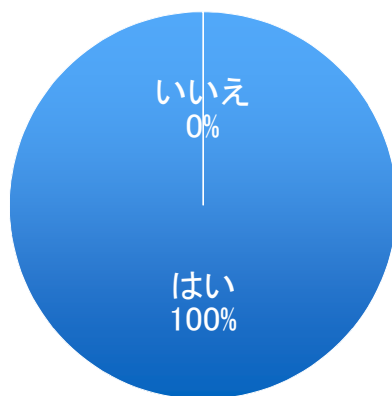
\* 「学校母体」の上位1位は「いろいろなことにチャレンジしたかった」(70%)、3位は「高知市を良くしたいと思った」(49%)。

\* 「地域母体」の上位1位は、「面白そうだったと思った」(60%)、3位は「いろいろなことにチャレンジしたかった」(45%)。

←←「こうちこどもファンドを知ったきっかけ」と照らし合わせてみて、  
両母体とも、始まりは「受動的」な側面があるかもしれないが、「自発性」の動きへと進展していると言える。

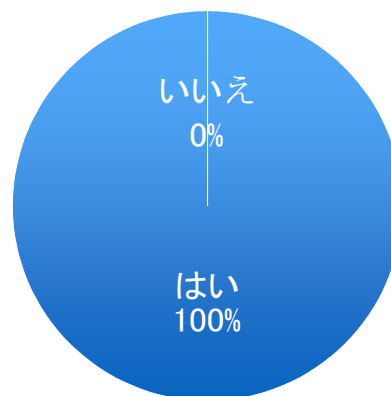
## 活動して良かったと思いますか？

43件の回答



学校母体

33件の回答

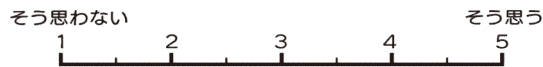


地域母体

活動に参加する前と後であなたの考え方を

1点(そう思わない)～5点(そう思う)で回答してください

### 高知というまちが好き



#### 学校母体

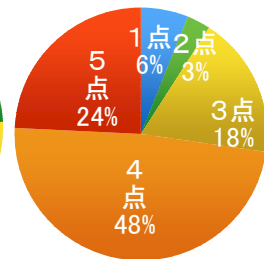
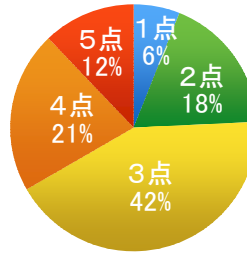
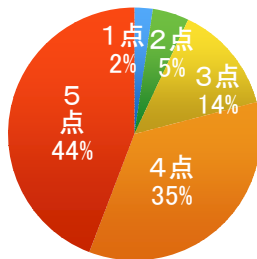
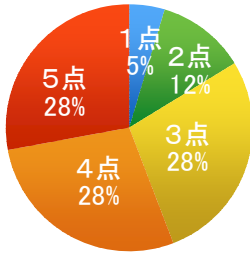
#### 地域母体

活動に参加する前

活動に参加した後

活動に参加する前

活動に参加した後



平均値: 3.63

平均値: 4.14

平均値: 3.15

平均値: 3.82

平均値0.51ポイントアップ

平均値0.67ポイントアップ

0.16ポイントの差

### まちのために役立ちたい



#### 学校母体

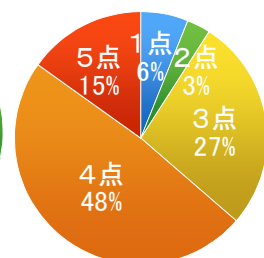
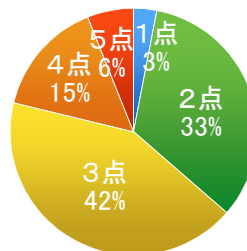
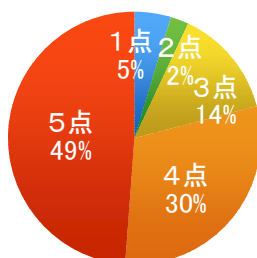
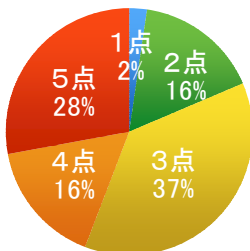
#### 地域母体

活動に参加する前

活動に参加した後

活動に参加する前

活動に参加した後



平均値: 3.51

平均値: 4.16

平均値: 2.88

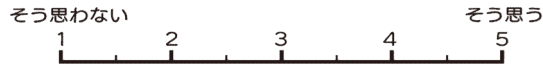
平均値: 3.64

平均値0.65ポイントアップ

平均値0.76ポイントアップ

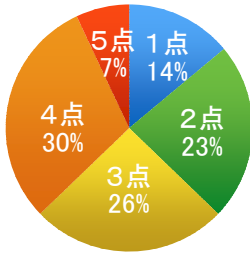
0.11ポイントの差

## 高知で学びたい・働きたい



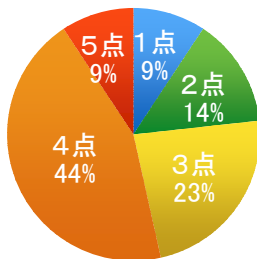
### 学校母体

活動に参加する前



平均値: 2.93

活動に参加した後

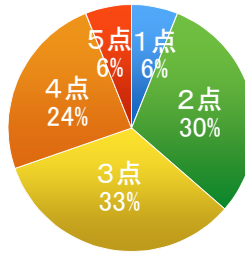


平均値: 3.30

平均値0.37ポイントアップ

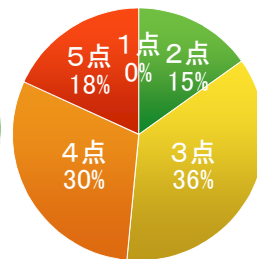
### 地域母体

活動に参加する前



平均値: 2.94

活動に参加した後



平均値: 3.52

平均値0.58ポイントアップ

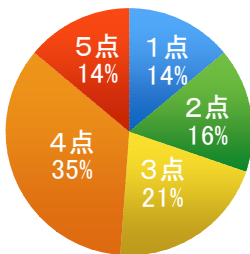
0.21ポイントの差

## 高知に住んでいたい・働きたい



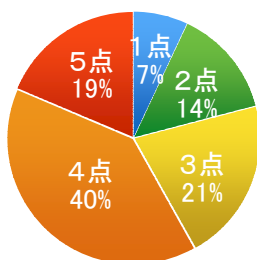
### 学校母体

活動に参加する前



平均値: 3.19

活動に参加した後

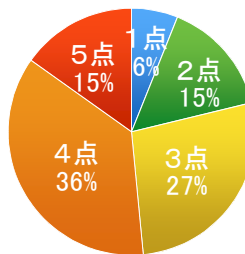


平均値: 3.49

平均値0.30ポイントアップ

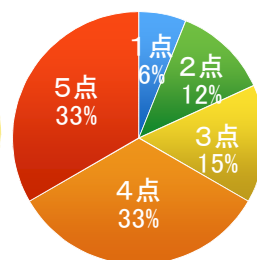
### 地域母体

活動に参加する前



平均値: 3.39

活動に参加した後

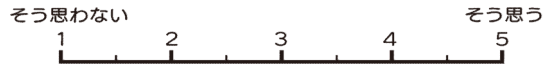


平均値: 3.76

平均値0.36ポイントアップ

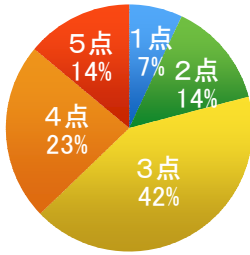
0.06ポイントの差

## まちづくりは面白い



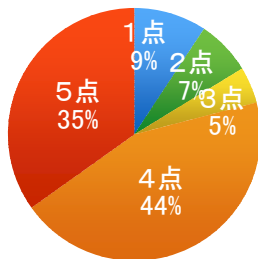
### 学校母体

活動に参加する前



平均値: 3.23

活動に参加した後

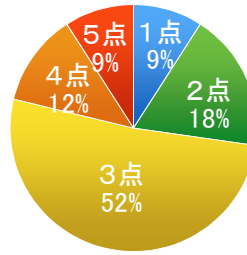


平均値: 3.88

平均値0.65ポイントアップ

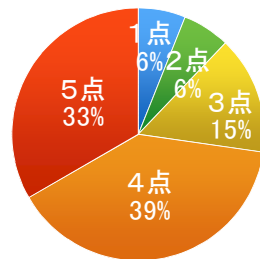
### 地域母体

活動に参加する前



平均値: 2.94

活動に参加した後



平均値: 3.88

平均値0.94ポイントアップ

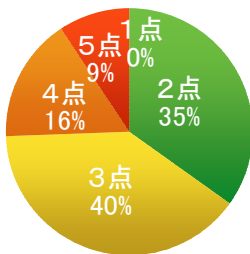
0.29ポイントの差

## 大人と一緒にまちづくりをすることは楽しい



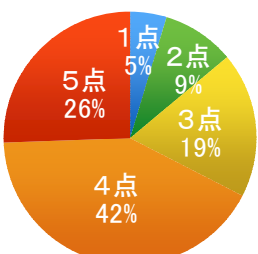
### 学校母体

活動に参加する前



平均値: 3.00

活動に参加した後

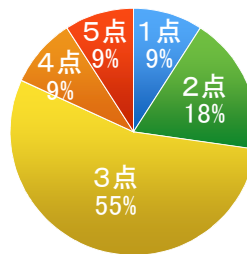


平均値: 3.74

平均値0.74ポイントアップ

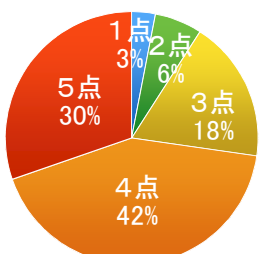
### 地域母体

活動に参加する前



平均値: 2.91

活動に参加した後



平均値: 3.91

平均値1.00ポイントアップ

0.26ポイントの差

### 子どもたちだけでもまちづくりはできる



#### 学校母体

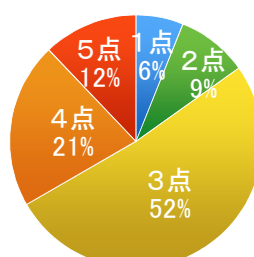
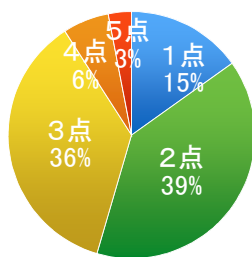
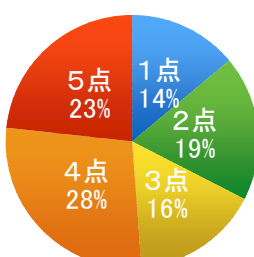
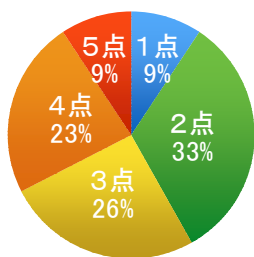
#### 地域母体

活動に参加する前

活動に参加した後

活動に参加する前

活動に参加した後



平均値: 2.91

平均値: 3.28

平均値: 2.42

平均値: 3.24

平均値0.37ポイントアップ

平均値0.82ポイントアップ

0.45ポイントの差

### 大人の知り合いが増えた



#### 学校母体

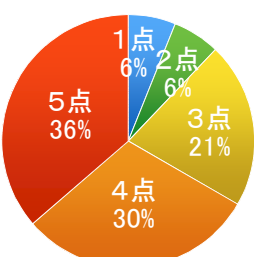
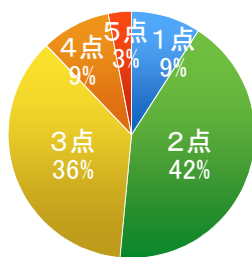
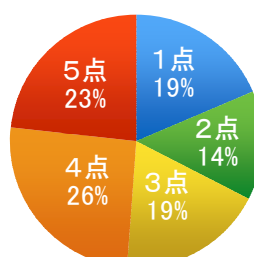
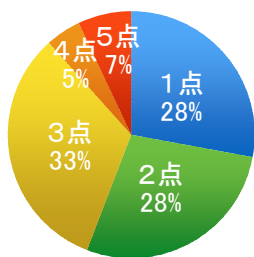
#### 地域母体

活動に参加する前

活動に参加した後

活動に参加する前

活動に参加した後



平均値: 2.35

平均値: 3.21

平均値: 2.55

平均値: 3.85

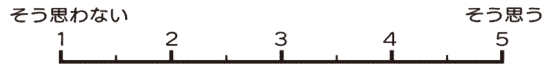
平均値0.86ポイントアップ

平均値1.30ポイントアップ

0.44ポイントの差



## 大人と話すのは楽しいと思えるようになった



### 学校母体

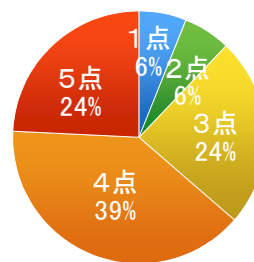
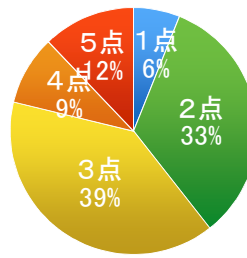
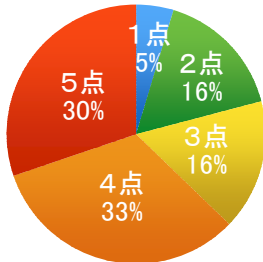
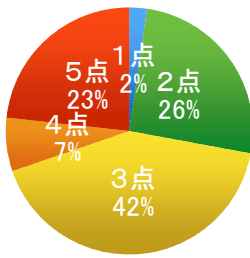
### 地域母体

活動に参加する前

活動に参加した後

活動に参加する前

活動に参加した後



平均値: 3.23

平均値: 3.67

平均値: 2.88

平均値: 3.70

平均値0.44ポイントアップ

平均値0.82ポイントアップ

0.38ポイントの差

## 友人が増えた



### 学校母体

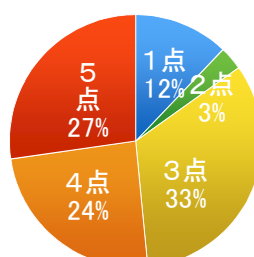
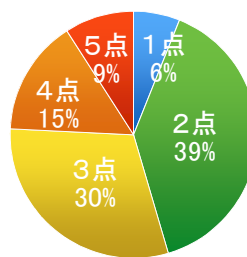
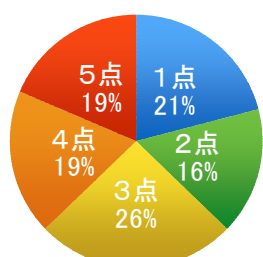
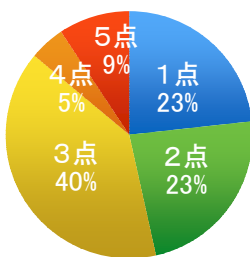
### 地域母体

活動に参加する前

活動に参加した後

活動に参加する前

活動に参加した後



平均値: 2.53

平均値: 2.98

平均値: 2.82

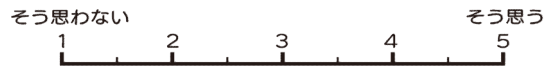
平均値: 3.52

平均値0.44ポイントアップ

平均値0.70ポイントアップ

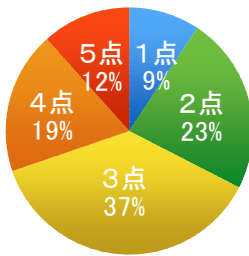
0.26ポイントの差

## ニュースに関心を持つようになった



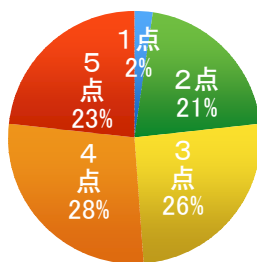
### 学校母体

活動に参加する前



平均値: 3.00

活動に参加した後

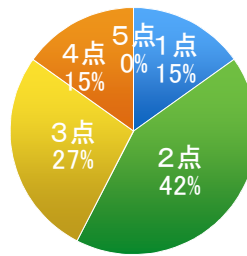


平均値: 3.49

平均値0.49ポイントアップ

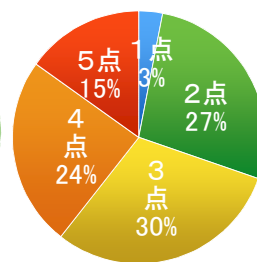
### 地域母体

活動に参加する前



平均値: 2.42

活動に参加した後



平均値: 3.21

平均値0.79ポイントアップ

0.30ポイントの差

## 活動に参加する前と後での考え方の変化

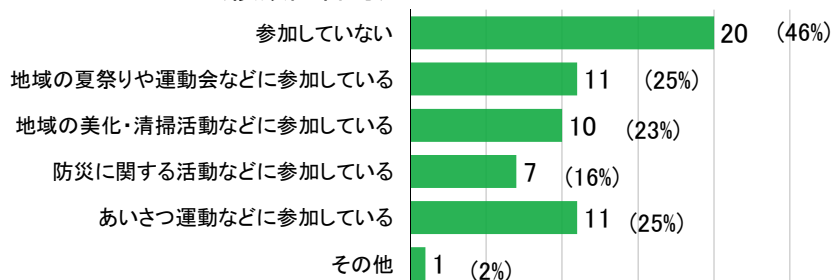
(分かったこと)

- ①一部(「高知に住んでいたい」「大人の知り合いが増えた」「友人が増えた」)を除き、「学校母体」の方が参加前の平均値が高い。  
 ←「生徒会」が主なので、もともと問題意識・関心の度合いが高い子どもたちと言えるのでは。
- ②「学校母体」では、参加後の平均値の4点越えが見られる(「高知というまちが好き」「まちのために役立ちたい」)。逆に、参加後の平均値が3点を下回っているのが「友人が増えた」  
 ←活動する仲間が限定的と言えるのでは。
- ③「地域母体」の方が全体的に参加する前後の平均値の差が大きい(中でも、「子どもたちだけでもまちづくりはできる」「大人の知り合いが増えた」「大人と話すのは楽しいと思えるようになった」「ニュースに関心を持つようになった」)。  
 ←「ファンド」で活動したことによる大きな成果とみていいのでは。
- ④「学校母体」でも、参加する前より後の方の平均値ど上昇している。  
 ←「ファンド」で活動したことによる効果とみていいのでは。

活動を終了して以降、継続して地域の取り組み等に参加していますか？  
(複数回答可)

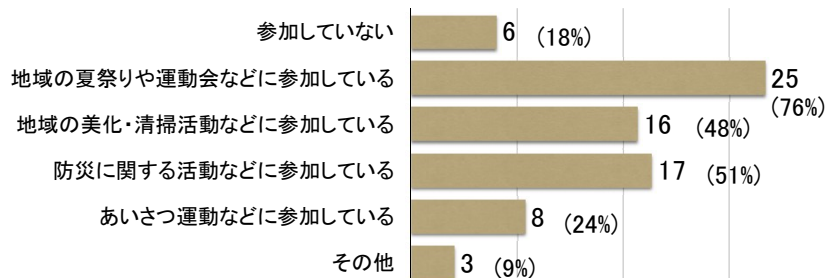
### 学校母体

43件の回答



### 地域母体

33件の回答



活動を終了して以降、継続して地域の取り組み等に参加していますか？  
(複数回答可)

### 「その他」回答の内訳

#### 学校母体

- ・引き続きまちを良くするために活動している。(1人)

#### 地域母体

- ・地域のまちづくり計画策定会議に出席している。(2人)
- ・高校生ピアニストとして高知県内のあちこちで演奏及び講演等で活動している。(1人)

活動を終了して以降、継続して地域の取り組み等に参加していますか？

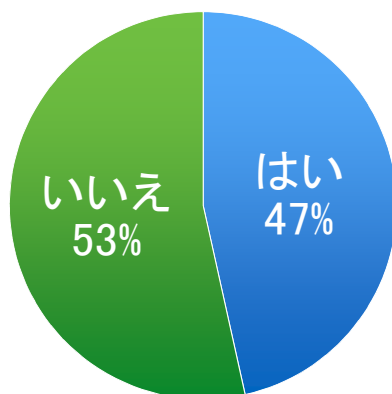
(分かったこと)

\*「学校母体」の上位1位に「参加していない」が挙げられているが、「地域母体」ではその割合が少ない。

←「地域母体」の方が日常的な地域との関わりの度合いの高さを示していると言える。

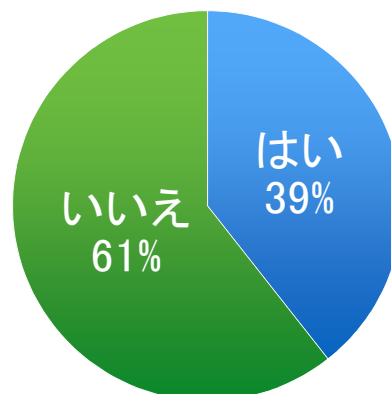
こうちこどもファンドアドバイザーに相談したことがありますか？

43件の回答



学校母体

33件の回答

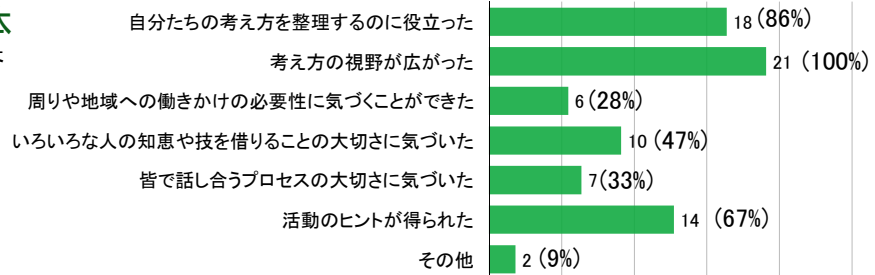


地域母体

「はい」と答えた方に。相談して良かったと思うことは？  
(複数回答可)

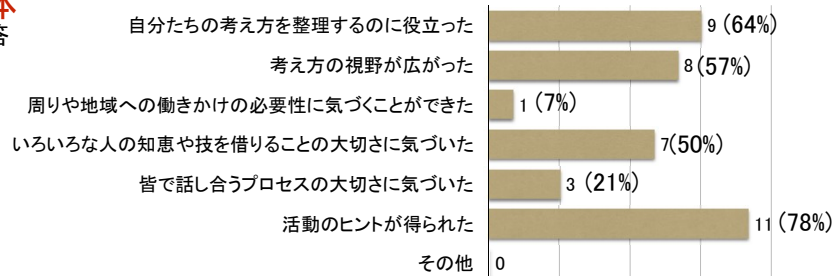
学校母体

21件の回答



地域母体

14件の回答



「はい」と答えた方に。相談して良かったと思うことは？

「その他」回答の内訳

学校母体

- ・自分たちの活動の道筋ができた。(1人)
- ・自分たちだけじゃない、支えてくれる大人がいるという風を感じたし、安心感を抱くことができました。(1人)

## 「はい」と答えた方に。相談して良かったと思うことは？

(分かったこと)

\* 両母体とも上位3位までは同じだが、その順位が異なっている。  
「学校母体」の1位は「考え方の視野が広がった」で 回答者の全員がこのことを挙げている。

←←この回答傾向は興味深い。学校の教師の助力だけだとどうしても視野が狭くなりがちになるのかもれない。

「保護者・大人サポーター」向けアンケート調査結果の中で、「学校母体」の大人サポーターが「子どもたちが教員や保護者以外へのアプローチ法を学べた」「地域のことをよく知らない教員が、地域のことについてヒントをいただけた」と回答されてとても重なる。

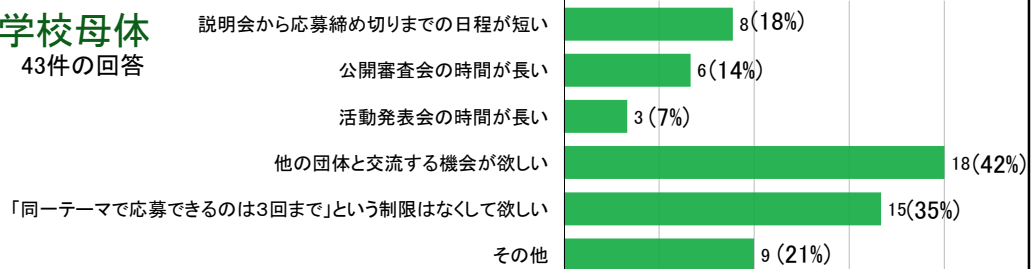
←←両母体とも、アドバイザーの効果はあったと思われる。

## 「こうちこどもファンド」に関して改善して欲しい点は？

(複数回答可)

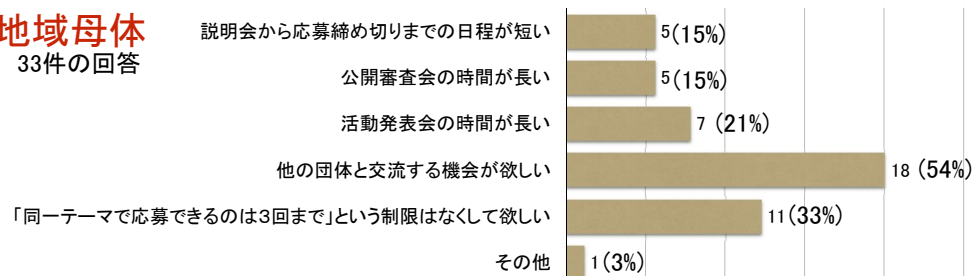
### 学校母体

43件の回答



### 地域母体

33件の回答



「こうちこどもファンド」に関して改善して欲しい点は？  
(複数回答可)

### 「その他」回答の内訳

#### 学校母体

- ・特にない。(6人)
- ・資金が少ない。(1人)
- ・ファンド側からの広報をより広く行って欲しい。(1人)
- ・事前質問をもっと生かしてほしい。(1人)

#### 地域母体

- ・特にない。(1人)

「こうちこどもファンド」に関して改善して欲しい点は？  
(分かったこと)

- \* 両方とも上位1位が「他の団体と交流する機会が欲しい」、  
2位が「『同一テーマで応募できるのは3回まで』という制限  
はなくして欲しい」と順位が同じ。  
←←今後10年の在り方を考える上での課題点のひとつと言える。

## 自由意見の記入

- ① 高校生だった私たちにも優しく、丁寧に接してくれて、温かく見守られながら社会勉強が出来ました。いまは上京して大学生をしていますが、こうちこうちこどもファンドの活動によって広がった視野は、こちらでも生きる力になっています。それと、高知を出る前に、住んでいる地域の特色をつかめたことは、本当に貴重な経験だったなと思います。
- ② 10年近く前に参加させていただいたため、ほとんど記憶にないのが正直なところですが、自分たちで企画提案し、それを認めていただいたこと、そして、採用し助成までして下さったことの喜びや達成感は今でも覚えています。
- ③ このアンケートを受け取り、久しぶりにこうちこどもファンドのことを思い出すきっかけにもなりました。これからの高知を担うこどもたちのために、ぜひ今後も応援させていただきたく思います。
- ④ こうちこどもファンドに関わってから手に入れた知識と経験は今までも、これからも生かされていくと思います。

- ⑤ こうちこどもファンドに参加したことで、たくさんの大人の方と出会い、コミュニティが広がりました。これからもこうちこどもファンドを継続して行きたいです。
- ⑥ 活動日がいつも楽しみです。
- ⑦ これからもいろいろな体験をしながら学んでいきたいです。
- ⑧ 大人になっていつか高知の文化活動を盛り上げる手伝いをしたいと考えてます。
- ⑨ 公開審査会や発表会などステージで発表するときは一度動線を確認してから本番に臨みたい。ステージ上での並びかたや誰がスライド操作をするかなど確認できるようにしたいから。
- ⑩ こうちこどもファンドに参加してとても活動や発表が楽しかったです。これからのこの経験を生かし、生徒会活動に積極的に取り組んでいきたいと思いました。



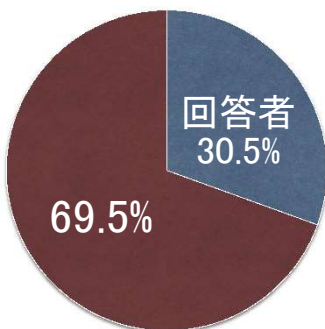
## ②活動したこどもたちの家族・大人サポーター

### 「こうちこどもファンド」で活動したこどもの 家族・大人サポーターへの アンケート調査結果

作成者：こうちこうちこどもファンドアドバイザー  
畠中 洋行

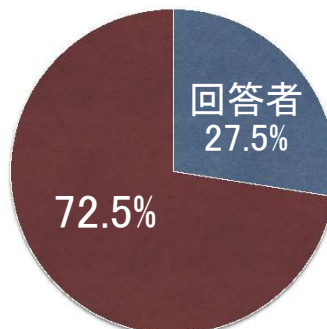
#### 集計結果：回答数

配布数：272人  
回答数：83人



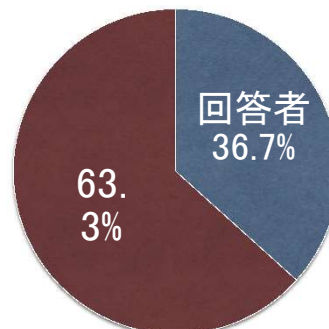
全体

配布数：182人  
回答数：50人



学校母体

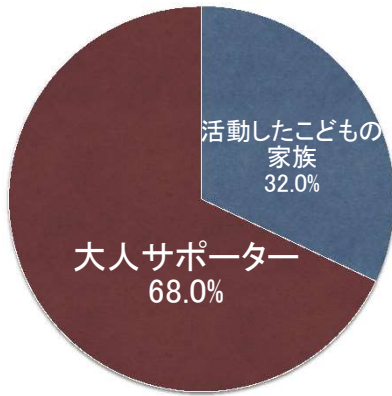
配布数：90人  
回答数：33人



地域母体

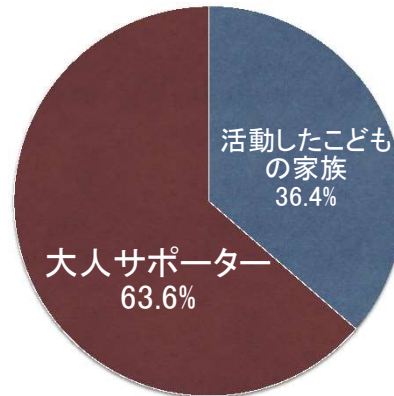
## 回答者の属性

50件の回答



学校母体

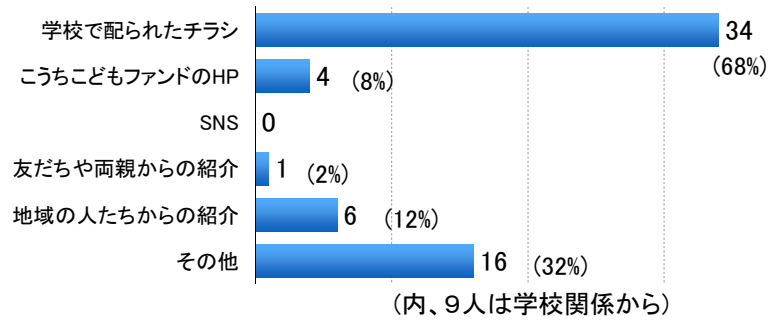
33件の回答



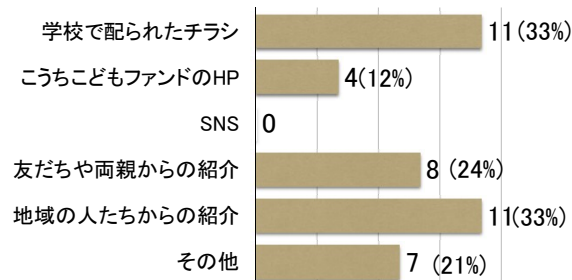
地域母体

## こうちこどもファンドを知ったきっかけ (複数回答可)

学校母体  
50件の回答



地域母体  
33件の回答



こうちこどもファンドを知ったきっかけ  
(複数回答可)

「その他」回答の内訳

学校母体

- ・前任の教師からの引き継ぎで(2人)
- ・職場の上司、同僚からの紹介(3人)
- ・市の担当課の方からの紹介(2人)
- ・学校の教師から(2人)
- ・学校長からの勧め(1人)
- ・小学校で活動していたから(1人)
- ・一宮コミュニティ定例会で(1人)
- ・青少協からの紹介(1人)
- ・こどもが参加することになったから(1人)
- ・学校からこうちこどもファンドをしますという手紙が来て知った(1人)
- ・こどもがしてたことを知らなかった(1人)

こうちこどもファンドを知ったきっかけ  
(複数回答可)

「その他」回答の内訳

地域母体

- ・市の担当者からの紹介。(1人)
- ・学校の校長からの提案。(1人)
- ・こどもたちが学校で活動していたから。(1人)
- ・学校の取り組み。(1人)
- ・こどもがこども審査員をしていて、学校から次年度活動団体をしてみないかとこどもが声をかけられたので。(1人)
- ・以前こうちこどもファンドを経験された大人サポーターの方からの紹介。(1人)
- ・所属団体への直接の案内。(1人)

(分かったこと)

\* 学校母体の方は、大部分の人が「学校で配られたチラシ」や「学校の先生からの紹介」。これは子どもたちの回答と同じ。

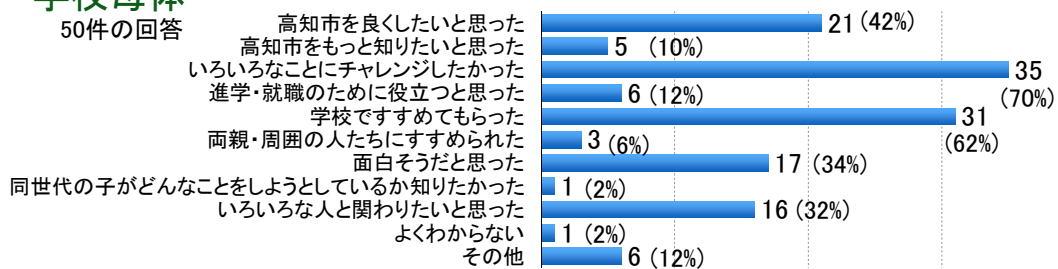
\* 地域母体の方は、「地域の人たちからの紹介」「学校で配られたチラシ」が同数。次いで「友だちや両親からの紹介」。(子どもたちの回答では「友だちや両親からの紹介」が1位、次いで「地域の人たちからの紹介」。

←←学校からのチラシで両親や地域の人がファンドのことを知り、そこから子どもたちに伝わっていると思われる。学校・地域への告知の大切さ、その手法の工夫。

### 子どもたちがこうち子どもファンドに参加した理由 (複数回答可)

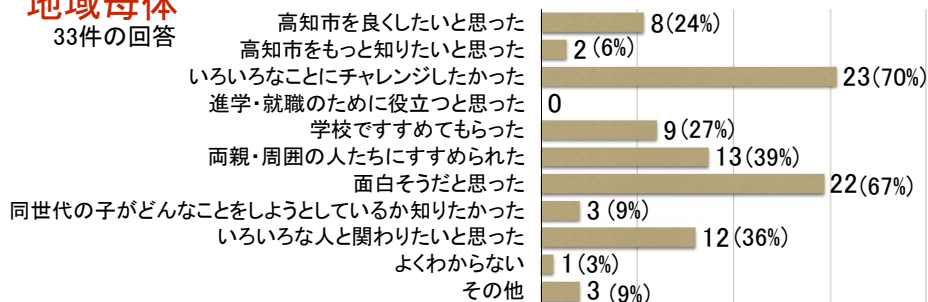
#### 学校母体

50件の回答



#### 地域母体

33件の回答



こどもたちがこうちこどもファンドに参加した理由  
(複数回答可)

「その他」回答の内訳

学校母体

- ・生徒会活動の活性化。(1人)
- ・2年目からは先輩の勧めや先輩の姿を見て。(1人)
- ・起業したり、何かを創り出す際のお金の流れなども知っておくためになるから。(1人)
- ・活動費用が必要だったから。(1人)
- ・地域のために活動している学校教育の一つ。(1人)
- ・地域活性化のために何かしたかったから。(1人)

地域母体

- ・地域のことをアピールしたかった。(1人)
- ・校区のことをもっと知りたい、地域の人と交流したいと思ったから。(1人)
- ・初めは勧められて。(1人)

(分かったこと)

\* 学校母体の方は、こどもたちの答えた理由の上位3位と全く同じで、その順位も同じ。

\* 地域母体の方も、こどもたちの答えた理由の上位3位は同じだが、その順位が異なる。

- ・大人の1位が、こどもの3位
- ・大人の2位が、こどもの1位
- ・大人の3位が、こどもの2位

←←大人の願望が入っているかも。

始まりは受動的な側面があるかもしれないが、ファンドの活動に対する「自発性」「積極性」を期待していると言える。

## 活動して良かったと思いますか？

50件の回答



学校母体

33件の回答

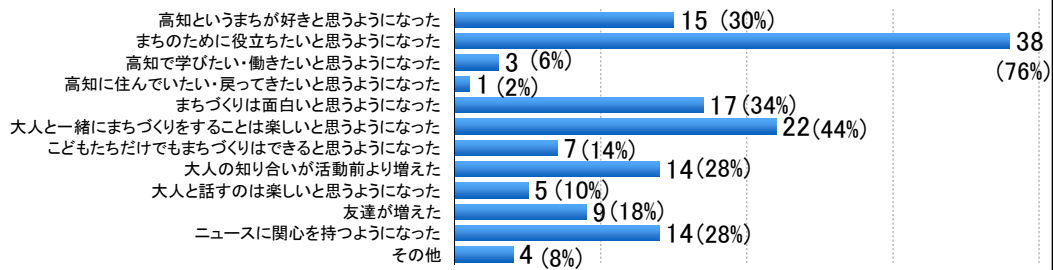


地域母体

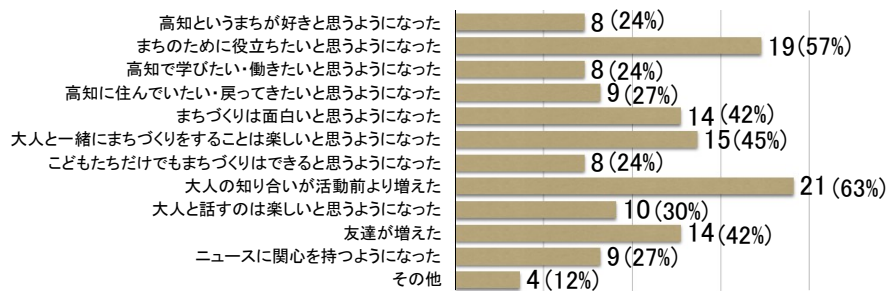
## 活動したことによって、子どもたちにどのような変化が？

(複数回答可)

学校母体 50件の回答



地域母体 33件の回答



活動したことによって、子どもたちにどのような変化が？

## 「その他」回答の内訳

### 学校母体

- ・自分たちで大人に提案や交渉ができることを実感した。その幅が広がった。自分たちだけで行動を起こすことが増えた。(1人)
- ・奉仕の気持ちよさ。(1人)
- ・こどもの変化に気づけなかった。(1人)
- ・変化なし。(1人)

### 地域母体

- ・住みやすいまちの未来やまちの在り方を考えるようになった(1人)
- ・自分たちが取り組んだことを評価してもらい、それが自信につながり意欲的になった。(1人)
- ・いろいろなことに積極的になった。(1人)
- ・活動した地域の方々とのつながりができた。高知の食文化(郷土食)を知ることができた。(1人)

(分かったこと)

\* 学校母体の上位3位は

- ① まちのために役立ちたい(76%)と思うようになった。
- ② 大人と一緒にまちづくりをすることは楽しいと思うようになった。(44%)
- ③ まちづくりは面白いと思うようになった。(34%)

①に関しては、こどもの活動参加後の平均値が4点を超えている。  
←←生徒会のこどもが主であり、もともと問題意識・関心の度合いが高い  
こどもたちへの期待感の表れ？

\* 地域母体の上位3位は

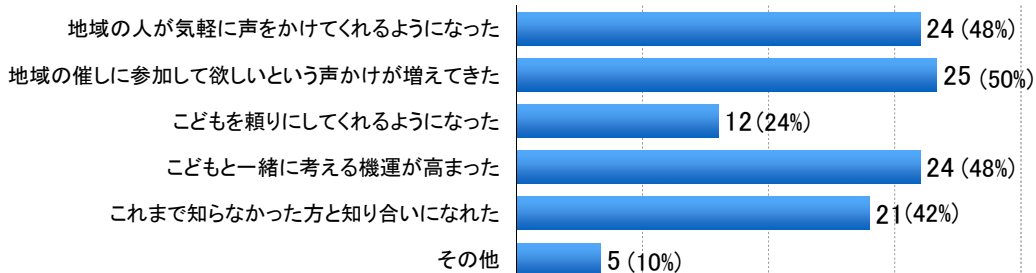
- ① 大人の知り合いが増えた。(63%)
- ② まちのために役立ちたいと思うようになった。(57%)
- ③ 大人と一緒にまちづくりをすることは楽しいと思うようになった。(45%)

①に関しては、こどもの活動参加後の平均値のポイントアップの割合が最も高い。  
←←大人とのつながり・関係性の変化を強く感じていると言える。

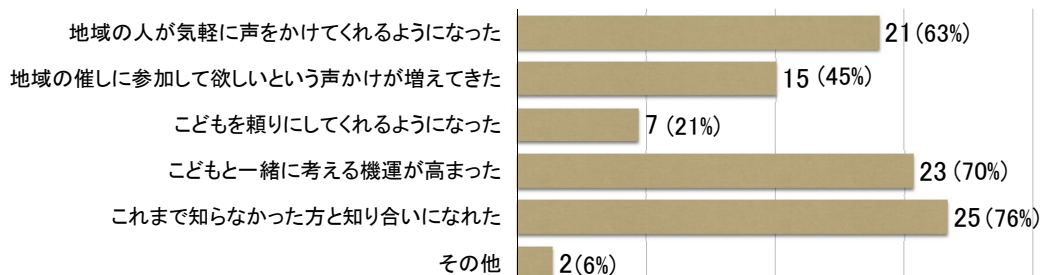
こどもが活動することによって大人や地域に変化(影響)は？

(複数回答可)

**学校母体** 50件の回答



**地域母体** 33件の回答



こどもが活動することによって大人や地域に変化(影響)は？

「その他」回答の内訳

**学校母体**

- ・地域、学校への愛着、誇り。(1人)
- ・教員が生徒に任せる、ということが増えたと感じる。(1人)
- ・他にも様々な活動をしています。(1人)
- ・わからない。(1人)
- ・特になし。(1人)

**地域母体**

- ・地域の方の声が伝わり、それに応える気持ちが高まった。(1人)
- ・こどもたちの活動を応援してくれた。(1人)



こどもが活動することによって大人や地域に変化(影響)は？  
(分かったこと)

\* 学校母体の上位3位は

- ①地域の催しに参加して欲しいという声かけが増えてきた。(50%)
- ②地域の人が気軽に声をかけてくれるようになった。(48%)
- ③こどもと一緒に考える機運が高まった。(48%)

\* 地域母体の上位3位は

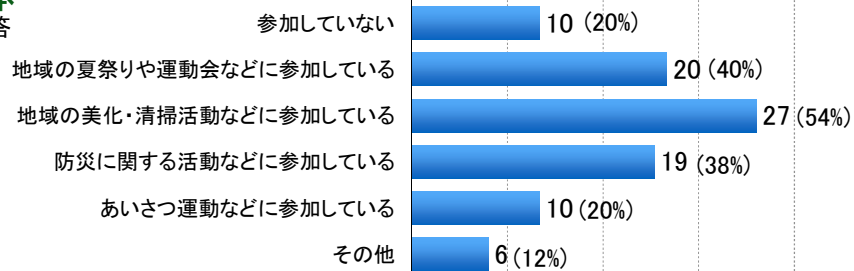
- ①これまで知らなかった方と知り合いになれた。(76%)
- ②こどもと一緒に考える機運が高まった。(70%)
- ③地域の人が気軽に声をかけてくれるようになった。(63%)

←両母体とも、ファンドの活動にを通して大人とのつながり・関係性の変化を示していると言える。

活動を終了して以降、継続して地域の取り組み等に参加していますか？  
(複数回答可)

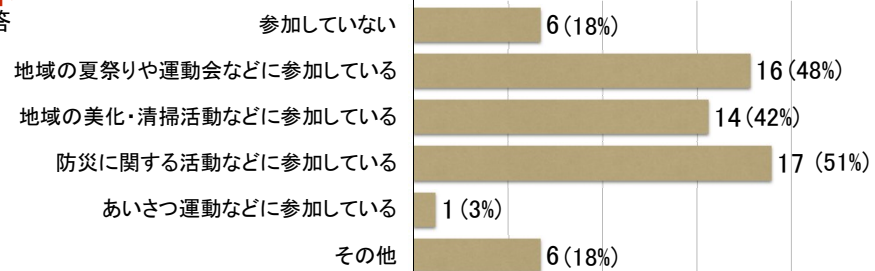
学校母体

50件の回答



地域母体

33件の回答



活動を終了して以降、継続して地域の取り組み等に参加していますか？  
(分かったこと)

\* 両母体ともいろいろな地域の取り組みに参加している様子がうかがえる。

\* 学校母体の保護者・大人サポーターの回答とこどもの回答との大きな違いは、こどもは「参加していない」が46%と最も多いのに対して、大人は20%と少ない。

←←両母体とも、ファンドでのつながりの他に、大人は地域とのつながりがあることを示している。

活動を終了して以降、継続して地域の取り組み等に参加していますか？

### 「その他」回答の内訳

#### 学校母体

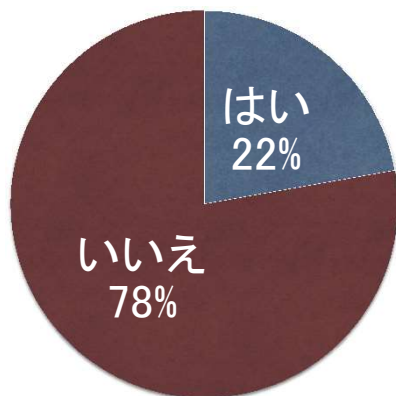
- ・他にも様々な活動をしています。(1人)
- ・地域の活性化のため、1年では終わらないイベントなどを企画し、盛り上げている。(1人)
- ・地域の文化祭や地域を盛り上げるイベントに参加。(1人)
- ・文化活動に参加した。(1人)
- ・公民館活動など。(1人)
- ・職員が異動になったので現在はどうなっているのかはわかりません。(1人)

#### 地域母体

- ・所属団体の活動を通じて地域交流を続けている。(1人)
- ・地域をアピールする活動を続けている。(1人)
- ・同じ活動を継続中。(1人)
- ・こどもが学校へ訪問して、生徒や先生や地域の方々と交流している。(1人)
- ・コロナで活動が中止しているため参加できてない。(1人)
- ・地域から離れてしまった。(1人)

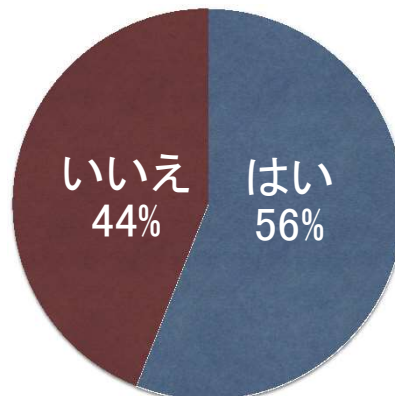
こうちこどもファンドアドバイザーに相談したことがありますか？

36件の回答



学校母体

25件の回答



地域母体

こうちこどもファンドアドバイザーに相談したことがありますか？

(分かったこと)

\* こどもたちの回答では「相談したことがある」は両母体とも41～47%あったが、大人サポーターの場合、学校母体が22%と地域母体の半数以下となっている。

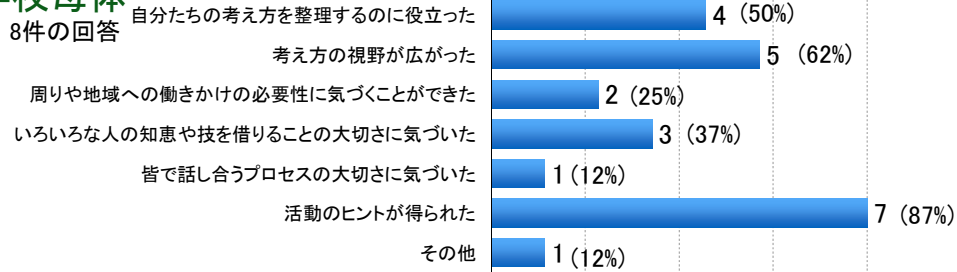
←←回答した人たちがアドバイザーを活用しなかった団体だったのか？  
こどもとその保護者にセットで調査票は送っているが、それ以外にサポーターのみ(異動した先生)にも送っているので、その先生がサポートしていた団体がアドバイザーを活用してなかったのかも？

←←「アドバイザーに相談して良かったこと」への回答傾向からすると、アドバイザーの活用を勧めたい。

「はい」と答えた方に。相談して良かったと思うことは？  
(複数回答可)

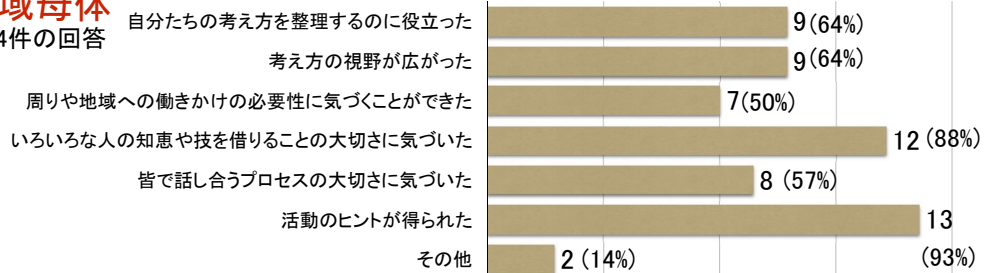
**学校母体**

8件の回答



**地域母体**

14件の回答



「はい」と答えた方に。相談して良かったと思うことは？

「その他」回答の内訳

**学校母体**

- ・こどもたちが、教員や保護者以外へのアプローチ方法を学べた。地域のことをよく知らない教員が、地域のことについてヒントをもらった。(1人)

**地域母体**

- ・こどもが出した意見に高評価をいただいたり、楽しめる活動へと導いてくださる技法が大変勉強になった。(1人)
- ・協力してくれるはずの学校側がサポートしてくれなくなり、洋行さんのアドバイスが大きな励みとなりました。洋行さんや地域コミュニティ推進課の皆さんのサポートがなければ、こどもたちは活動を辞めていたかもしれません。本当にありがとうございました。(1人)

(分かったこと)

\* 両母体とも、回答の上位1位は「活動のヒントが得られた」で同じであるが、大きく異なるのは「いろいろな人の知恵や技を借りることの大切さに気づいた」が、地域母体では88%で2位になっているのに対して、学校母体では37%と低い割合になっていること。その他の回答傾向は両母体とも似通っている。

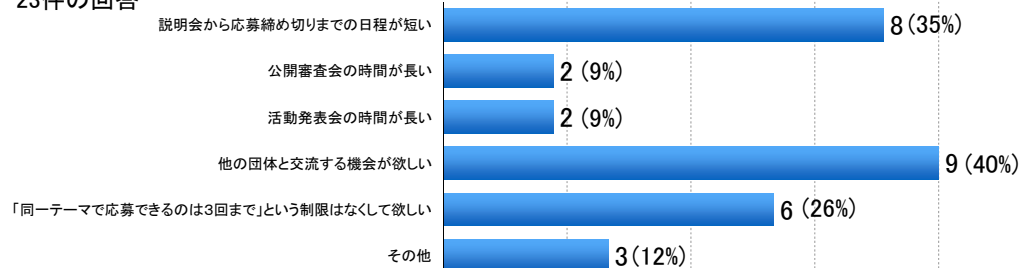
←←両母体とも、子どもたちだけでなく大人サポーターにとってもアドバイザー活用の効果はあったと言える。

←←学校の先生の助力だけだとどうしても視野が狭くなりがちなのかもしれない。「その他」への回答の中で、「子どもたちが教員や保護者以外へのアプローチ方法を学べた」「地域のことをよく知らない教員が、地域のことについてヒントをいただいた」と回答されていたこととも重なる。アドバイザーの活用を勧めたい。

「こうち子どもファンド」に関して改善して欲しい点は？  
(複数回答可)

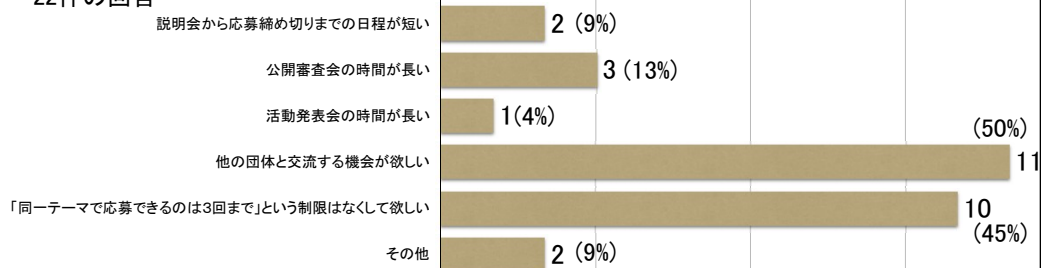
学校母体

23件の回答



地域母体

22件の回答



「こうちこどもファンド」に関して改善して欲しい点は？

### 「その他」回答の内訳

#### 学校母体

- ・年に何度か募集して欲しい。(1人)
- ・もっと主体をこどもに委譲して試行してみたいです。(1人)
- ・特にありません(1人)

#### 地域母体

- ・3月の報告会から6月の審査会までの期間にできる活動例を教えて欲しい。(1人)
- ・特になし。(1人)

(分かったこと)

\* 両母体とも1位には「他の団体と交流する機会が欲しい」が挙げられている。2位は両母体で異なり、学校母体では「説明会から応募締め切りまでの日程が短い」、地域母体では「『同一テーマで応募できるのは3回まで』という制限はなくして欲しい」が挙げられている。

←←学校母体の「説明会から応募締め切りまでの日程が短い」に関しては、教員の多忙さが要因のひとつと考えられる。

できる限り教員の負担を軽減できるような応募にあたっての工夫も今後は必要と思われる。

←←「『同一テーマで応募できるのは3回まで』という制限はなくしてほしい」という件に関して、今後のあり方を考える上での課題点の一つと言える。

## 自由意見の記入

- ①こどもたちが「人の役に立っている、喜んでもらえている」という有用感、成就感を持つことができたことがよかった。
- ②自分が生徒会担当だった時、学校長から勧められて応募しました。色々大変だったこともありましたが、振り返ると地域のために少しは役立つ活動ができたと思います。また生徒もこうちこどもファンドの活動を通じて地域への理解や愛着が育まれたと感じました。
- ③素晴らしい取り組みだと実感しています。残念なのは、教員が多忙のため、なかなか着手しづらい現状があります。いつか学校のあらゆる負担の軽減が実現されるか教職員数が増えた時には、本当に意義と魅力のある取り組みだと思います。
- ④もっと大きな活動になるよう、応援しております。今後とも宜しくお願いいたします。

- ⑤こども主体であるが、大人も楽しく参加出来るのが魅力的です。小さい頃にこんな体験が自分も出来たら良かったなと思います。
- ⑥地域の方、また異年齢での関わりの中で少しずつ成長しているこどもを見て良かったです。こどもたちの発想や成長は無限だなと感じました。
- ⑦こどもたちの活動が地域へと広まり、学校の手を離れても地域と共にこどもたちが自発的にまちづくりに取り組んでいて、やってよかったなあと思います。
- ⑧この活動を通じていろいろな人たちと知り合い、話をしたりする事で、沢山の経験を積んできていると思います。いつも一緒だったお友達と学校が違って毎日会わなくなっても、こうちこどもファンドで同じ目標に向かって活動出来る事の素晴らしさに、いつか気付いてほしいです。こどもだと色んな面で役にたたないんじゃないかと思われている事でも、あれ意外とやるなあ〜と思ってもらえる様に頑張っ続けていってほしいと思います。

こどもたちがどのように活動すればいいのかということをイメージしにくくさせており、参加できにくさを作っているのではないかと考えます。ネーミングについて、こどもたちの活動がイメージしやすいものに変更する必要があるのではないのでしょうか。

⑩こうちこどもファンドは学校やこども会等との連携が不可欠であるが、町内にこども会が無くなってから5～6年経ち、こどもとの関係性が失われてきたのが残念であり、こうちこどもファンドとも縁が切れてしまった。

私どもの町内会では3月から11月まで毎朝ラジオ体操を実施しており、以前はこども会に働きかけ夏休みのラジオ体操を一緒にしていたこともあったが、こども会が無くなってから途切れてしまった。

こどもは地域の宝と言われて久しいが、地域から働きかけるこども会の復活が求められるのではないか。そして、地域からの働きかけだけでなく、学校やPTA、こども会側からの地域団体へのアプローチも必要ではあろう。



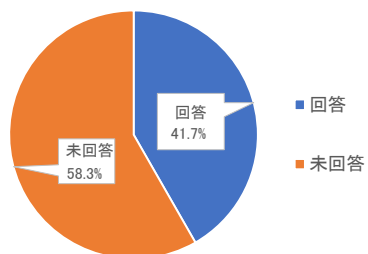
### ③こども審査員及びその家族

## こども審査員及びその家族アンケート結果

作成者：早稲田大学大学院社会科学研究所  
卯月研究室修士1年 賈小芸・中山由子

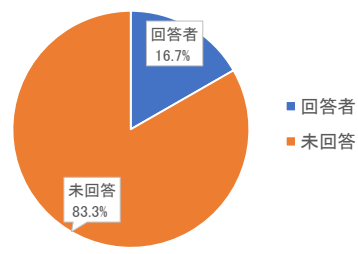
こども審査員  
アンケート配布数：48件  
回答者：20名

こども審査員アンケート

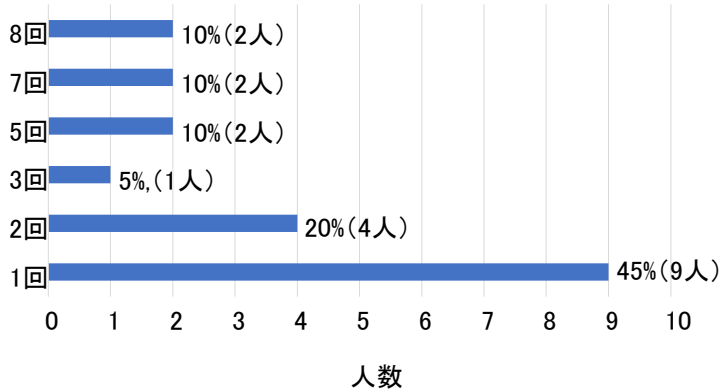


こども審査員家族  
アンケート配布数：48件  
回答者：8名

こども審査員家族アンケート



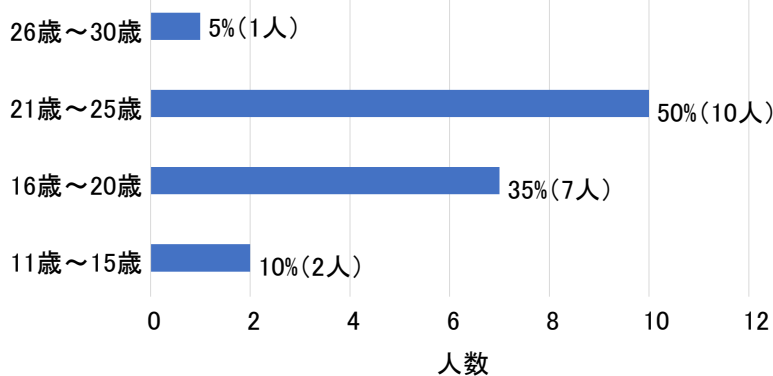
回数 ①これまで、何回こども審査委員を体験しましたか？



分析

1回で終了するこども審査員が45%を占めている。その理由は定かではないが、こどもはかなり忙しい上、他項目の自由回答にもあるように、審査員の活動は毎年同じ流れで、新しさがなく、少しつまらなさを感じたこどももいる。

年齢 ②現在の年齢を教えてください

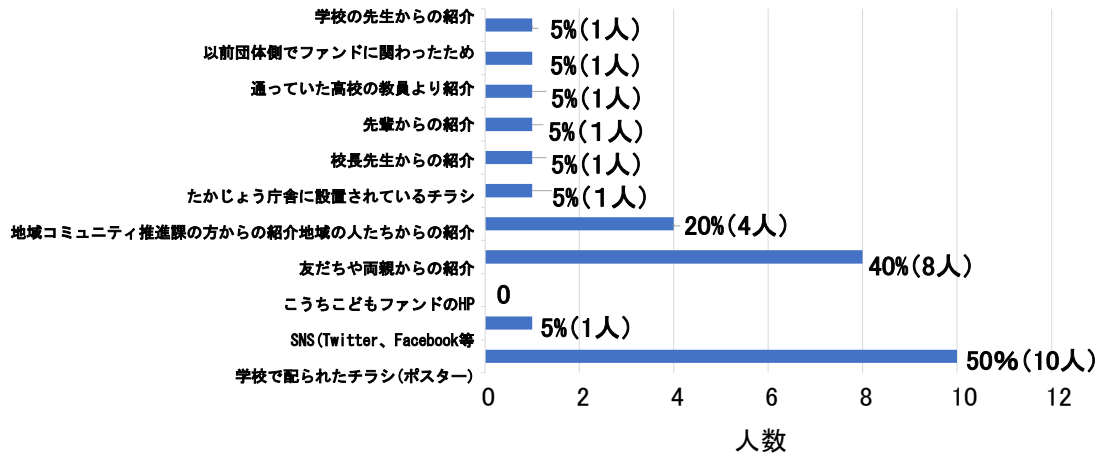


回答者は、21～25歳の方が半分以上を占めている。16～20歳の方が35%。

分析：現役中のこども審査員は高校生がメインで、中学生以下のこどもが活躍しにくいイメージがある。小中学生も活躍できるためには少し工夫をする必要があるかもしれない。

③ こうち子どもファンドを知ったきっかけは何ですか？

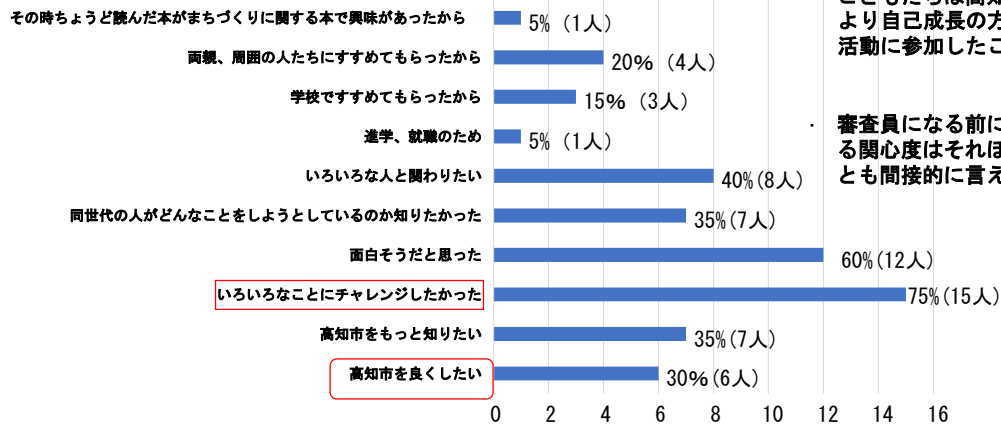
(複数回答可)



分析：

- ・ SNSを選んだのはただ一人。ほとんどの審査員は学校のチラシあるいは知人、学校関係者からの紹介によって審査員になったのである。
- ・ ファンドは学校との繋がりに頼り、一般市民との繋がりが弱いのが現状。今instagramのアカウントを開設し、活動動画をいろいろアップし始めた。  
今後はフォロワー数を増やすための方法検討が必要である。

#### ④参加の理由は何ですか？（複数回答可）

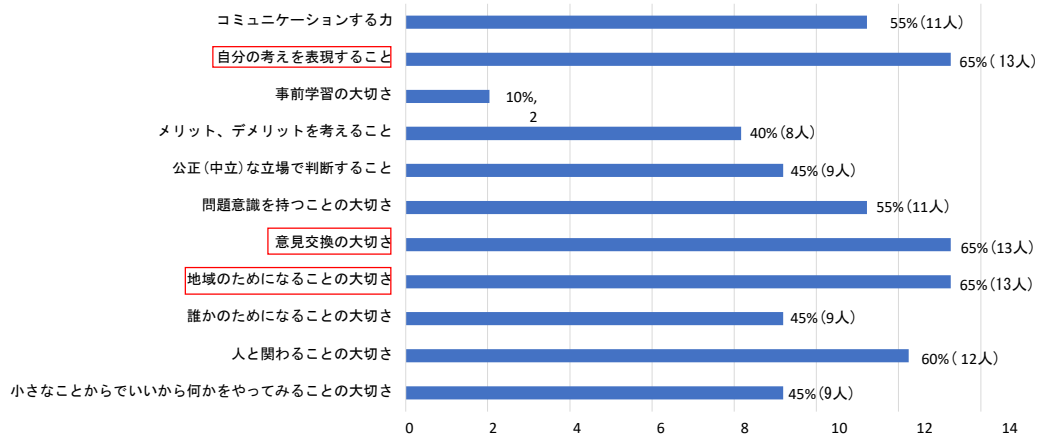


#### 分析

- こどもたちは高知市に関することより自己成長の方をもっと重視し、活動に参加したことがわかる。
- 審査員になる前には高知に対する関心度はそれほど高くないことも間接的に言える。

- 「いろいろなことにチャレンジしたかった」と選んだ人が75%と一番多かった。こどもは新しい物事に関心度が高い。(探求心)
- 「高知市を良くしたい」と選んだ人は30%、それほど多くはない。

#### ⑤審査員の活動を通じて、学んだことを教えてください（複数回答可）

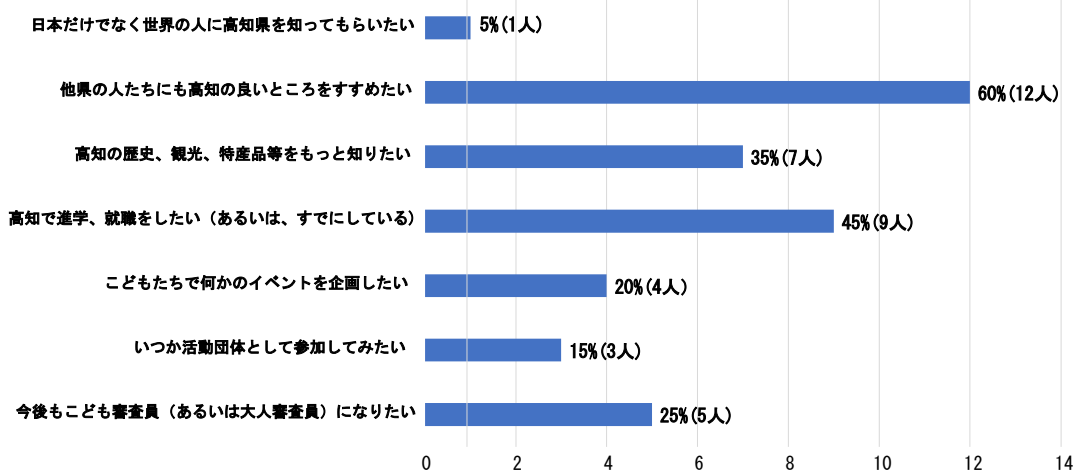


一番多いのが「地域のためになることの大切さ」「意見交換の大切さ」「自分の考えを表現すること」65%  
2位が「人と関わることの大切さ」60%、3位が「問題意識を持つことの大切さ」55%

## 分析

- 4番の質問と合わせながら見ると分かるように、当初地域に高い関心度を持っていなかった子どもたちは審査員になった後、地域に対する貢献意欲が高まり、地域愛着の形成を促した。
- 自己成長面において、家族は「問題意識を持って行動・発言できるようになった」を選んだ方が一番多いのに対して、こどもは55%しかなかった。ここで分かるようにこども審査員とその家族がこども自身の成長性に対する評価の違いがある。こどもは内面的な成長に関してあまり気づかないのが普通であるため、こどもの成長は大人から評価することも重要！

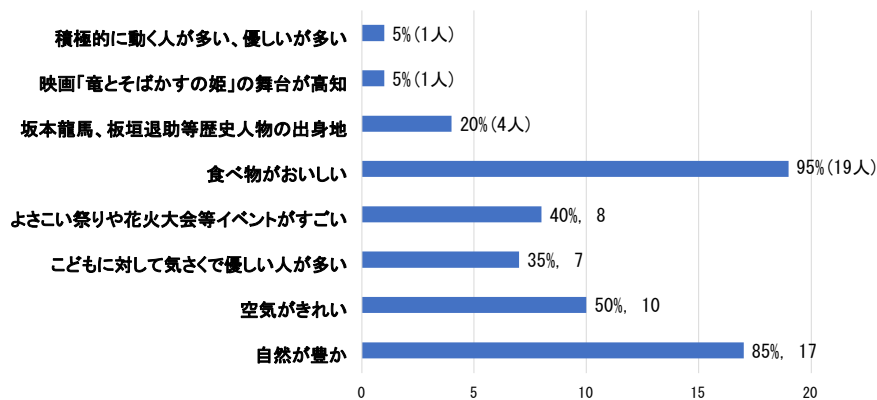
### ⑥審査員の活動を通じて、あなたが今後したいことは何ですか？ (複数回答可)



## 分析

- ・「他県の人たちにも高知の良いところをすすめたい」(12名/60%)、「高知で進学、就職をしたい(あるいはすでにしている)」(9名/50%)が上位であり、地域愛着が形成されていることがわかる。
- ・しかし、同じく地域愛着を測る指標であった「高知の歴史、観光、特産品等をもっと知りたい」(7名/35%)はやや回答数が落ちるため、こども達の高知に対する探究心や好奇心はあまり育まれていない可能性がある。
- ・「今後もこども審査員になりたい」、「いつか活動団体として参加してみたい」の回答者は重複しておらず、審査員活動を経験して、活動する側に参加したいという思いが芽生えることがわかった。また、「いつか活動団体として参加してみたい」、「こどもたちで何かのイベントを企画したい」の回答者はいずれも審査員1回経験者であり、一度審査員を経験するだけで、実際に活動に参加することが魅力的に思えるのであろう。

### ⑦高知が自慢できることは何ですか？(複数回答可)

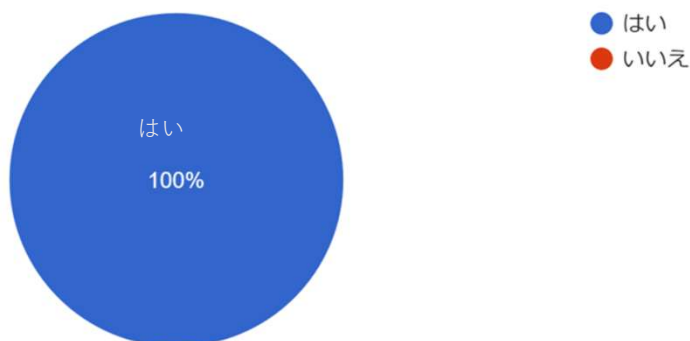


## 分析

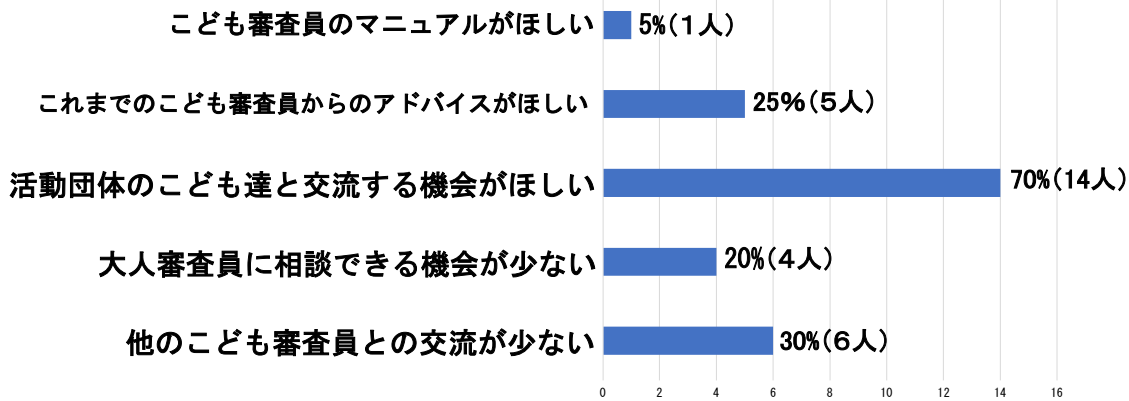
- 「食べ物がおいしい」(19名/95%)、「自然が豊か」(17名/85%)が上位であった。自然と類似した「空気がきれい」(9名/50%)は意外に低く、自然豊かな景観と、中心市街地の交通量の多さが混在し、抽象的でイメージの判別がしにくかった可能性がある。
- また、「よさこい祭りや花火大会等イベントがすごい」(8名/44.4%)は半数程度の結果に留まり、高知の伝統文化がこども世代には「誇り」であると感じにくくなっている様子がうかがえる。歴史的人物の存在や、人気映画の舞台化も、こども達の地域愛着の形成には影響力が弱く、結びつきにくいのかも知れない。
- しかし、6/19のこども審査員WSでも、「こどもの活動をもっと知ってもらいたい(親や地域の人々に)」という意見や、広報活動の案が沢山出たことから、こども達がこうちこどもファンドがもっと有名になってほしいと感じていることは明らかである。こども達が広報活動も担う場合は、こども達が高知市の魅力を発見し、発信する能力が必要だと考えられる。
- 複数回答として6個回答者が2名、5個回答者1名、4個回答者が5名、3個回答者が8名、2個回答者が2名、1個回答者が2名であった。審査員8回経験者2名は各々4個回答と3個回答であり、7回経験者は3個回答であったため、複数回経験者も回答数は平均値であった。審査員の経験値と、高知市の魅力認識度合いは連動していないようだ。

## ⑧審査員の活動に参加して良かったと思いますか？

回答者：20名



⑨こうち子どもファンドに関して、改善してほしい点がありますか？（複数回答可）



### 質問⑨の自由回答

- ・ 例年通りの審査項目を使いすぎて新しさが無い
- ・ 今までの子ども審査員といまの子ども審査員みんなで集まる機会が欲しい
- ・ もっと市民の人々に子ども達の活動を知ってもらえたらなと思います。
- ・ どうしても毎年着眼点、判断基準が似通ってしまうので、なぜその項目を重視したのか、ほかの表現はできないかなどより深掘りしていけたら良かったかなと思っています。



## 分析

「活動団体の子ども達と交流する機会がほしい」(12名/66.7%)が首位であり、次点は他の「子ども審査員との交流が少ない」、「これまでの子ども審査員からのアドバイスがほしい」(5名/27.8%)であった。子ども審査員が、活動団体・同期OBOG審査員の子ども同士の交流を求めていることが明らかであり、その対応を検討する必要がある。6/19の子ども審査員WSにおいても、交流について以下の発言があった。

<活動団体の子ども達との交流>⇒①子ども審査員の現地訪問を企画

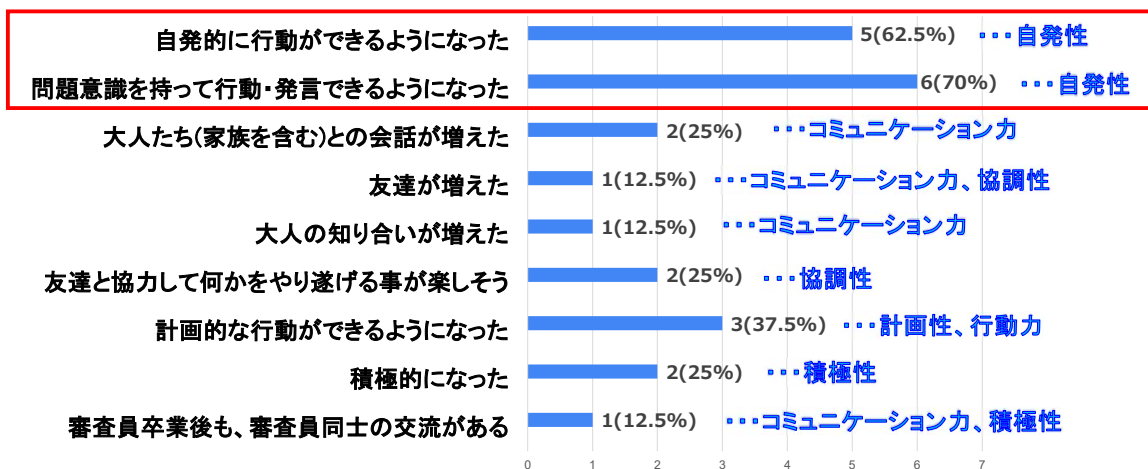
- ・活動している現場に訪れ、自分達も体感したい
- ・活動経緯、内容等をもっと詳しく知りたい
- ・活動を実際に見ず(知らず)に審査することに疑問を感じる
- ・中間報告は各現場で行う方が良い

<子ども審査員同士の交流>⇒②子ども審査員の交流の場を企画(グループLINE、対面MTG等)

- ・発信チャンネルの1つとして、OBOG会をつくる
- ・「審査員をやりたい」と思った時に、相談できるプラットフォームが欲しい
- ・年1回集まり、横の情報交流を図る

### 子ども審査員家族 アンケート結果

#### 1. 子どもが子ども審査員をして良かったと思うこと(複数回答可)



## 分析

- ・ こども審査員家族が最も多く回答した「こどもが成長した点」は、「自発性」である。しかし、こども審査員自身の回答では、「自発性」の成長に対する評価は消極的であった。したがって、こども審査員は活動を通じて、無意識のうちに「自発性」を身に付けていると考えられる。
- ・ 次に、「計画性」「行動力」の成長に対する評価が高いことから、多くの活動団体を公正に審査・評価するという活動内容を経験することにより、物事の優先順位を決めて行動ができるようになると言える。

19

## 2. こども審査員家族が大変だったこと

回答・・・ ある：1名、なし：7名

### 【記述回答より抜粋】

学校との連携が上手くいかず、苦戦した時も多かったが、アドバイザーの畠中さんやコミュニティ推進課の方々に励ましていただき、的確なアドバイスをいただいた。悩みながらも仲間達と色々な事にチャレンジできた経験は、こどもの「今」に活かされていると思う。

## 分析

- ・ こども審査員家族は、こどもの送迎等の予定調整といった苦労があると予想されたが、大変だったことは「なし」の回答が大半であった。
- ・ 記述回答からは、ファンド関係者の大人たちへの感謝が述べられており、こどもが学校という居場所だけでは、活動を進めることに難しさを感じる事がわかる。つまり、こどもには活動の相談ができる相手が必要であり、ファンド関係者の大人たちがその役割を担っている。こどもファンドは、学校以外での地域の大人や仲間との出会いを提供し、こどもたちの新たな居場所を創出していると考えられる。

### 3. こどもから審査員から活動の疑問や悩み等を相談されたことがあるか

回答・・・ ある：1名、なし：7名

#### 【記述回答より抜粋】

部活の試合等と審査会が被ってしまい、思う様に審査員をできなかった時も最後の方では多かった。審査員継続を迷っていた時期もあったが、高校生活最後に活動発表会へ参加し、修了証書をもらい喜んでいた。審査員同士の繋がりもずっと続いている。自ら考える力と自分の言葉で発言するスキルを審査員をさせていただくことで身につけることができた。

## 分析

- こども審査員家族が、こどもから活動の相談を受けることはあまり無く、ファンドメンバーが相談相手として十分に機能していると言える。
- 多忙な学校生活を送る中で、時間のやりくり等に思い悩むこともあるが、形に残る修了証書はこどもの励みとなる。審査員活動を感謝されたり、褒められる経験は、こどもの成功体験の蓄積にも繋がると考えられる。
- また、審査員引退後も、こども審査員同士の交流が続いている点から、こどもが同志達と長期的に高知市のまちづくりを考える機会を、こどもファンドが創り出していると言える。

#### ④寄附者

## 寄附者アンケート結果

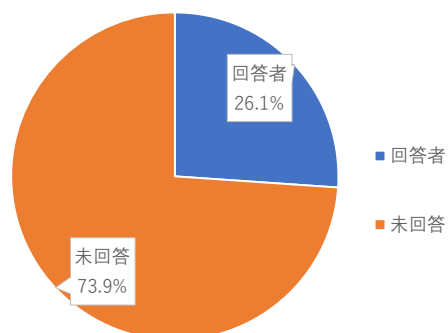
作成者：早稲田大学大学院社会科学研究科  
卯月研究室修士1年 柿森麻衣子

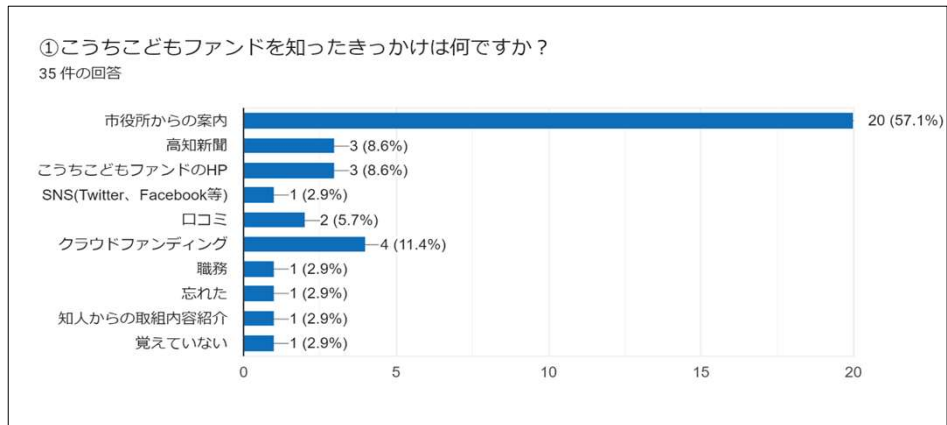
寄附者アンケート

配布数：134件

回答者：35名

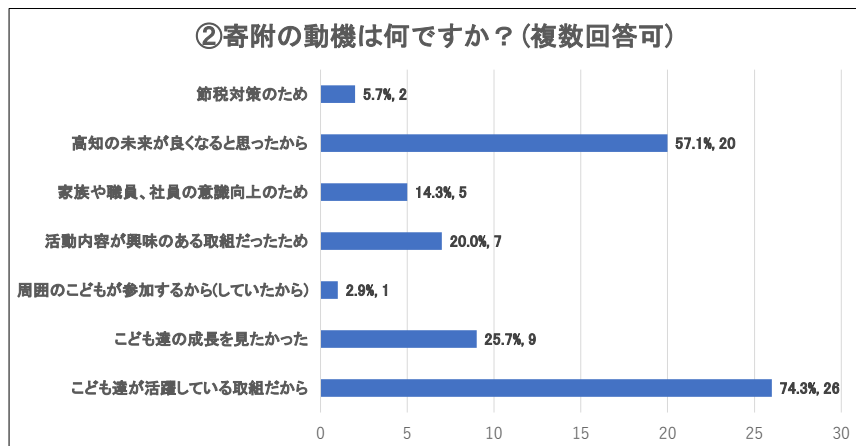
寄附者アンケート





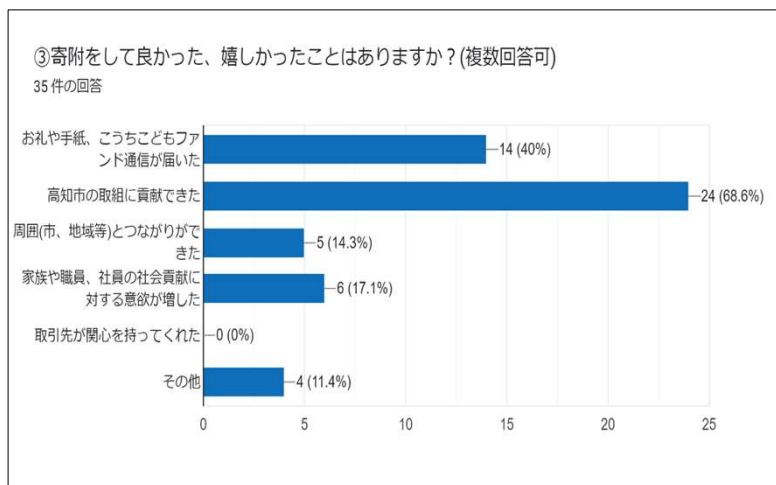
①【考察】

- ・現在は市役所が声掛けをした方々の寄附が多い。
- ・更に寄附の幅を広げるために、現時点で該当数は少ないが、いつでも好きなタイミングで閲覧できるSNSの活用は必須だと考える。
- ・クラウドファンディングは効果があったため次年度も継続する方向が望ましいかと考える。



②【考察】

- ・子どもが活躍する活動には、寄附することに前向きだった。
- ・企業であれば、SDGs取組の一環として本ファンドは最適な寄附先だと感じているようだ。
- ・子どもの活躍と共に、全体として高知市の未来に希望を持って託す方々が多いのではないか。



③【考察】

- ・質問②の回答と同様に、高知市の未来に期待していて、その未来の手助けをしたいと感じている方が多いのではないかと。
- ・寄附を一方的に行うだけよりは、心のこもったお手紙や、市職員の方々からのお礼など、双方向でのやりとりがあると寄附をする行為にプラスアルファの要素が加わるようだ。

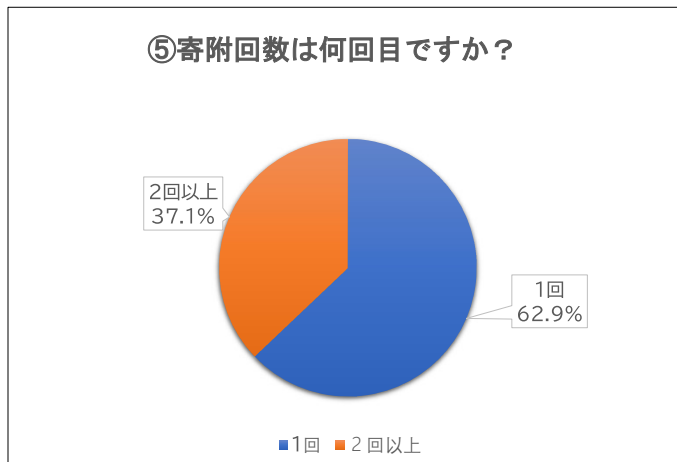
④ 「③寄附をして良かった、嬉しかったと思う事について」の問で「その他」とお答えされた方にお伺いします。どのような事でしたか？（自由記述4件の回答）

- 1 名前の掲載
- 2 子育て支援のクラブとして活動で得た収益を高知のこども達の支援に活用できたこと
- 3 自分自身勉強になった。
- 4 社会貢献として有益な活動であり、弊社の取組趣旨に合っていたため。

④【考察】

- ・ 2の「他の活動で得た収益をこども達の支援に活用できた」という回答は、こども支援として経済の循環が見える化出来たという要素も加わり、寄附をする意義性が明確だと思った。
- ・ 「企業の社会貢献活動の一環として趣旨に合っていた」とあるように、もう少し寄附をすることの意義性をSDGsに紐づいていることも加えていく方がより企業が参加しやすいと感じた。

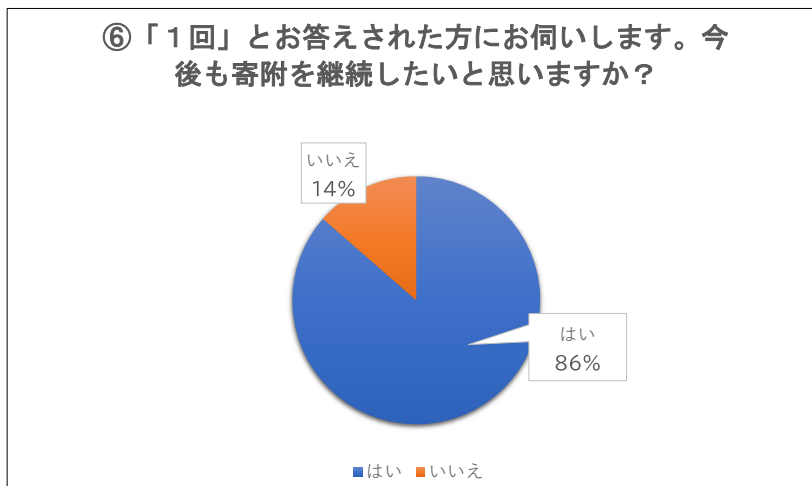
⑤ 寄附回数は何回目ですか？



⑤ 【考察】

- ・ 半分強が1回で終わっているため、継続した回数を増やせるようになれば、安定的な予算が組めると考える

⑥ 「1回」とお答えされた方にお伺いします。今後も寄附を継続したいと思いますか？



⑥ 【考察】

- ・ 「はい」と回答した方が多いが、希望と実際とに相違があるのだろうか。



⑦ ⑥で「いいえ」とお答えされた方にお伺いします。その理由はありますか？(複数回答可)

自由回答3件

- 1 内容見て検討
- 2 コロナの禍もあり、クラブの活動を終了いたしました。
- 3 現在無職の為。今後経済的自立ができればまた寄附させていただきたいと思います。申し訳ありません。

⑦【考察】

- ・ 1の「内容を見て検討」とう方がいらっしゃるということは、まだまだ取組の周知に課題があるということだろうと考える。

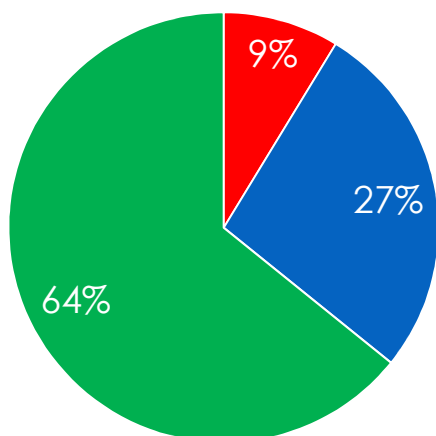
## ⑤市民ウェブモニター

# 市民ウェブモニター アンケート調査結果

(令和4年6月13日～20日実施)

作成者：高知市地域コミュニティ推進課 石村

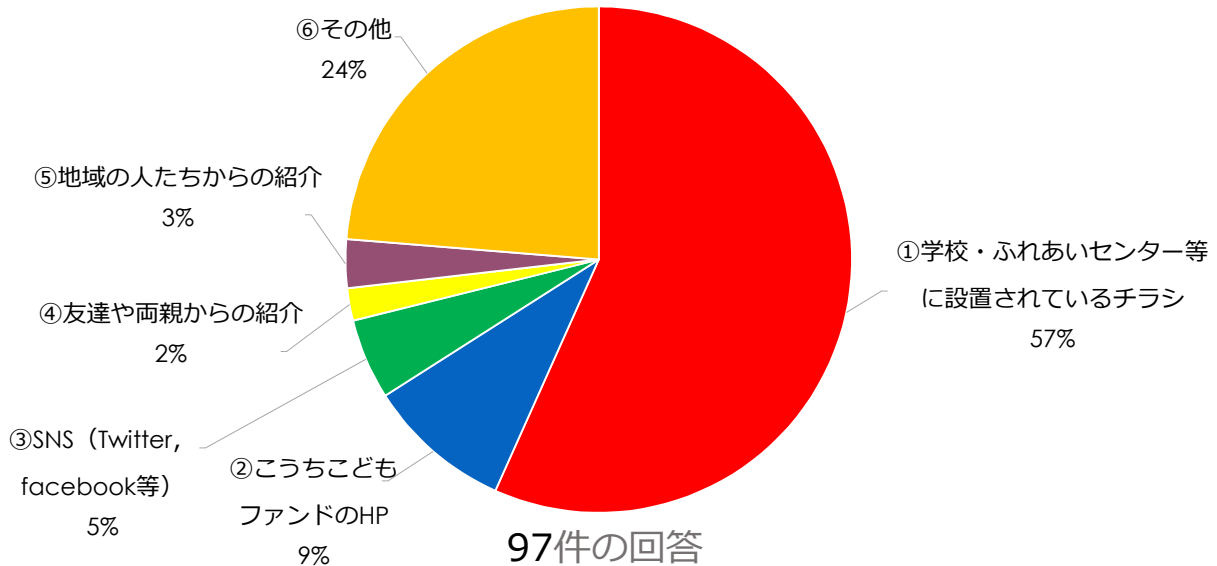
1. こうちこどもファンド制度を知っていますか？



- ①知っている
- ②聞いたことはあるが詳しくは知らない
- ③全く知らない

229件の回答

2. こうちこどもファンドを知ったきっかけは何ですか？（複数回答可）



2. こうちこどもファンドを知ったきっかけは何ですか？（複数回答可）

### その他の回答

- ・テレビ(5人)
- ・あかるいまち(3人)
- ・新聞(2人)
- ・自治会回覧板(2人)
- ・高知市HP(1人)
- ・ニュース(1人)
- ・こどもの学校からのチラシ(1人)

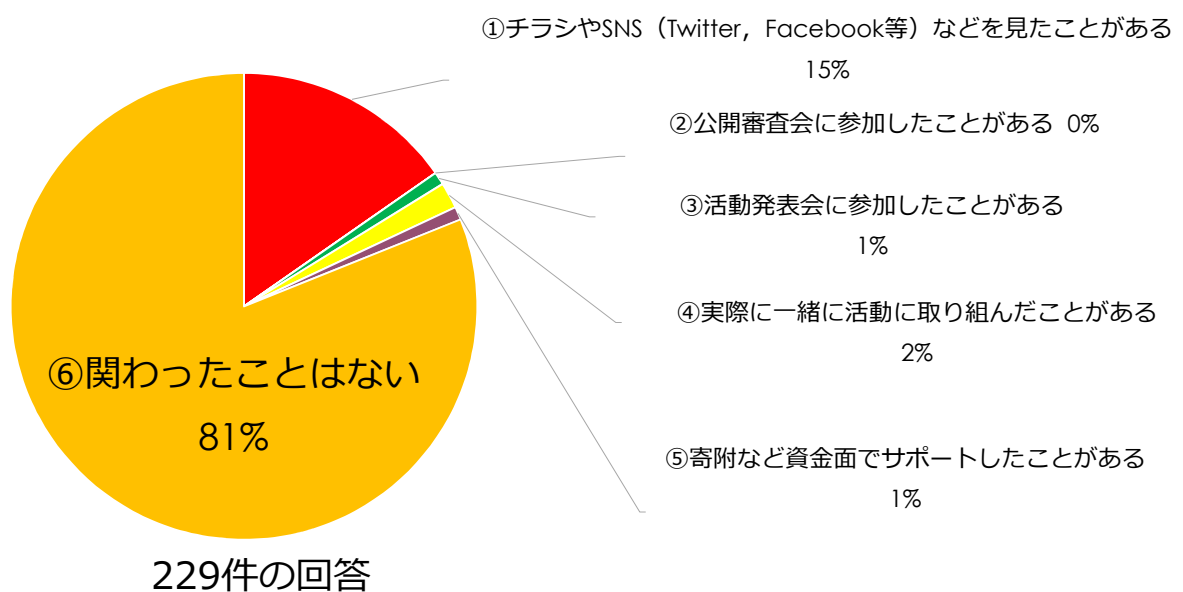
## 2. こうちこどもファンドを知ったきっかけ (分かったこと)

- ・「知らない」と回答した人が約9割
- ・「学校・ふれあいセンター等に設置されているチラシ」の回答が約6割
- ・テレビやあかるいまち、新聞、SNSや高知市HPの回答も一部ある。

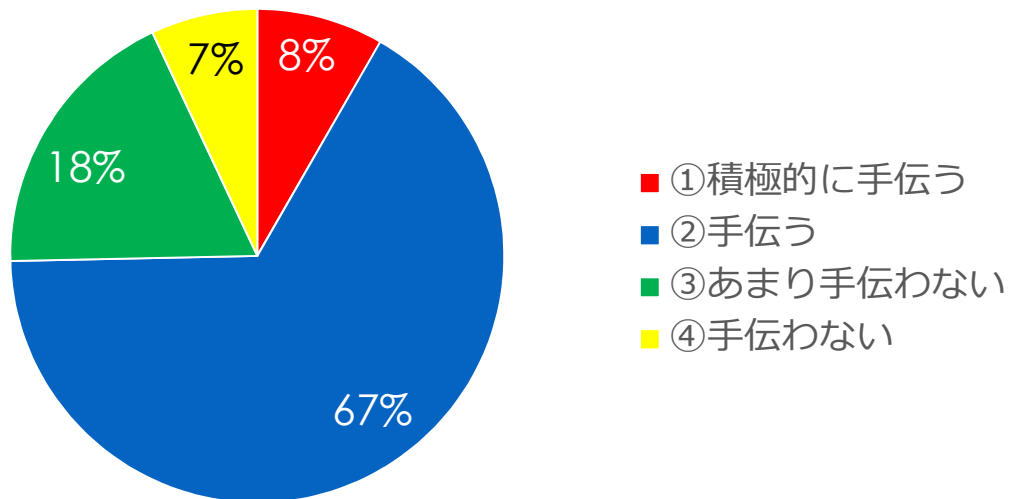
→「こどもファンド通信」の配置は一定の効果があることが分かるが、市民への認知度はまだまだ低いことが分かる。

チラシ配置の他、その他の広報媒体や告知方法について検討していく必要がある。

## 3. これまでこどもファンドに関わったことがありますか？（複数選択可）

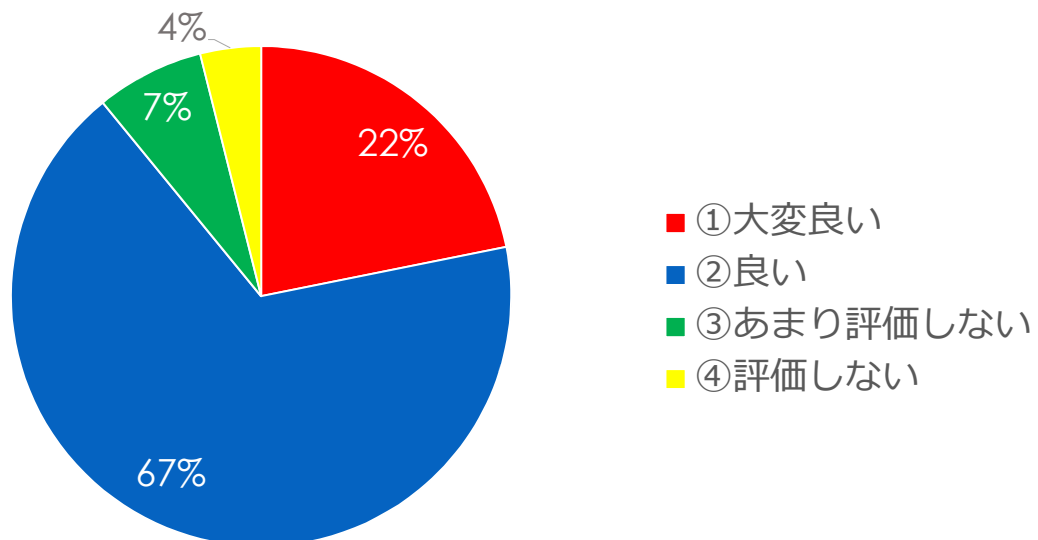


4. 身近にいるこどもがこうちこどもファンドに参加してまちづくりを行うとしたら、あなたはお手伝いをしますか？



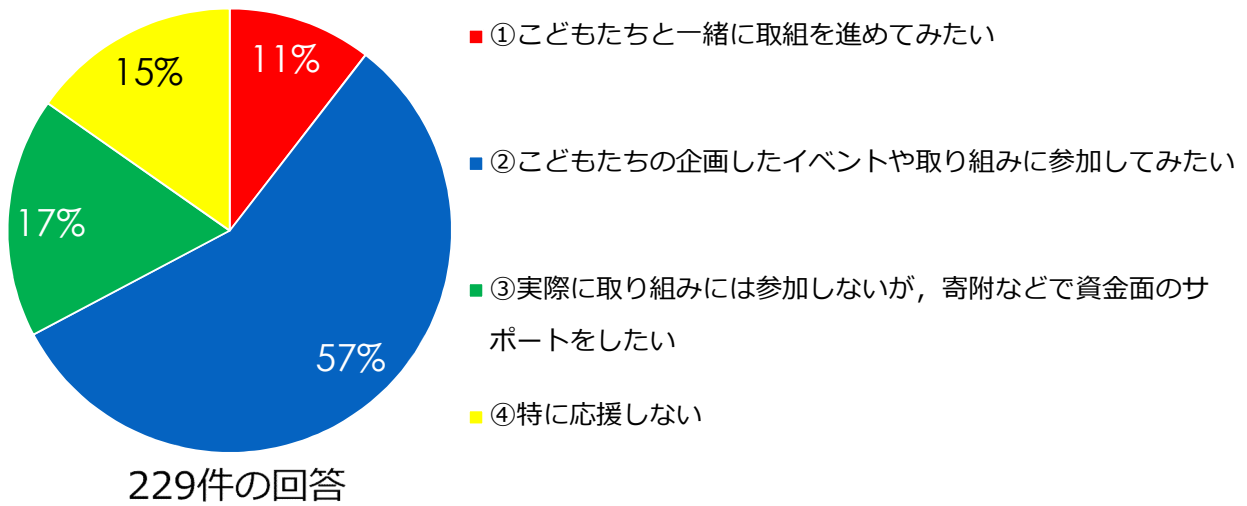
111件の回答

5. こうちこどもファンドをどのように評価しますか？

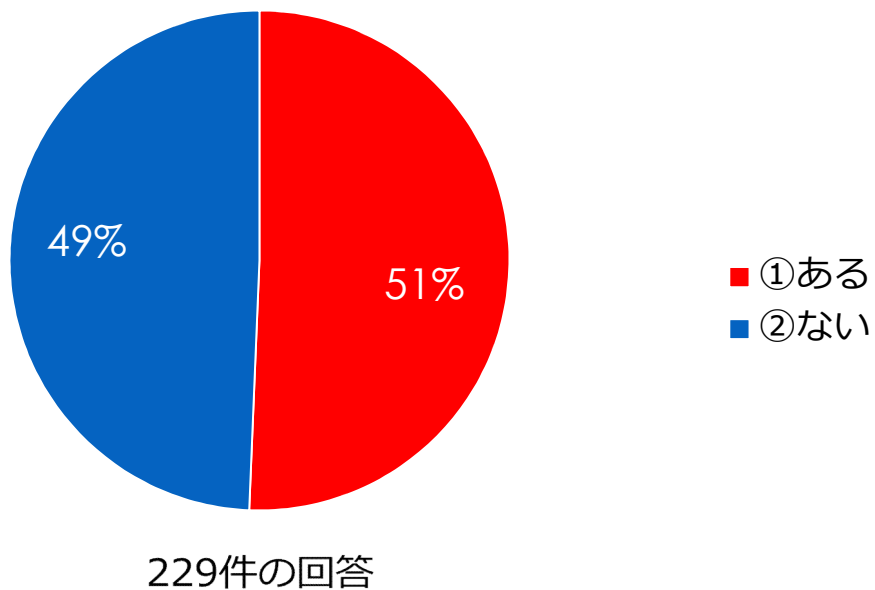


229件の回答

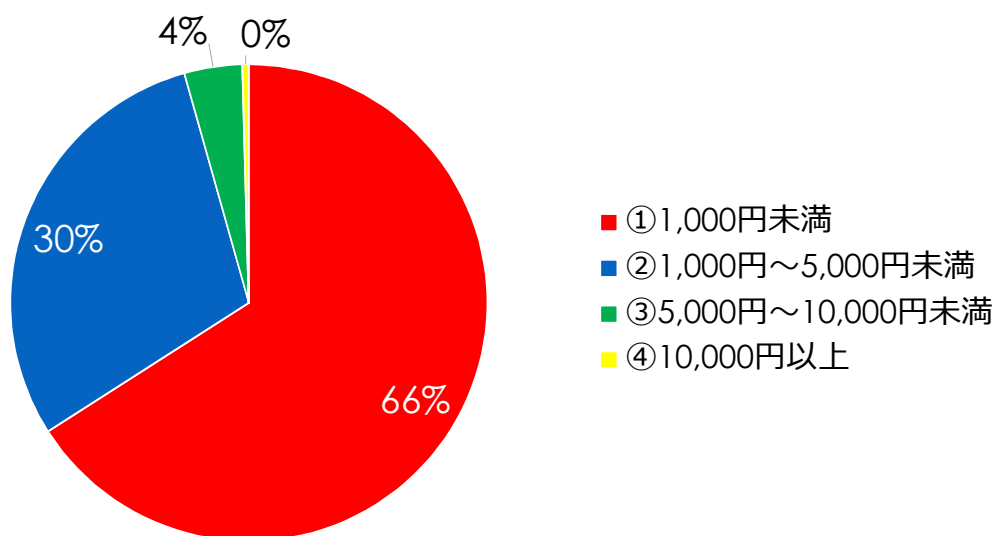
6. こうちこどもファンドをどのような形で応援したいと思いますか？



8. こうちこどもファンドに寄附をする考えはありますか？



9. こうちこどもファンドに寄附をするなら、いくらしますか？



229件の回答

10. こうちこどもファンドについて、あなたのご意見・ご提案を自由にお書きください。(自由記載)

113件の回答

● 広報(14件の回答)

- ・取組自体を知らなかった。こどもファンドの現状や具体的な取組をテレビやニュース、CMで放送してほしい。
- ・新聞はもとよりローカル三社のテレビに常設の「高知市からのお知らせコーナー」を設けて発信してはどうか。
- ・オーテピアや市役所のモニターに紹介したほうがいい。
- ・学校からの配布では活動報告ではなく募集だったので、具体的な活動報告を併せて載せてほしい。
- ・学校の授業などを通してこどもたちへの認知を広めてほしい。
- ・公共交通へのチラシの設置
- ・活動報告書などもっといろいろな人に見てもらえるような発信の工夫

10. こうちこどもファンドについて、あなたのご意見・ご提案を  
自由にお書きください。(自由記載)

113件の回答

●寄附について(9件の回答)

- ・寄附をするならどのように使われたかは明確にしてほしい。詐欺のような事もあるので寄附自体の印象があまり良くないです。寄附してみたいが実績を知らないので知りたい。
- ・例えば何かのイベント等に参加してその参加費の一部或いは全部が寄附にまわせるようなイベントがあれば積極的に参加したい。
- ・どのような活動か少し理解しましたが、成果は何かあるのでしょうか？それがわかれば寄附金額も増やせるかもしれません。
- ・QRコードからカンタンに寄附できる仕組みがあるとかまえずにサッと寄附ができる。
- ・栃木県日光市のこどもたちが企業の協力で実現させた「さんぽセル」のような活動を対象とし、その収益を(NPO法人のように)「こども基金」に繰り入れるような内容に変更されてはいかがでしょうか？

10. こうちこどもファンドについて、あなたのご意見・ご提案を  
自由にお書きください。(自由記載)

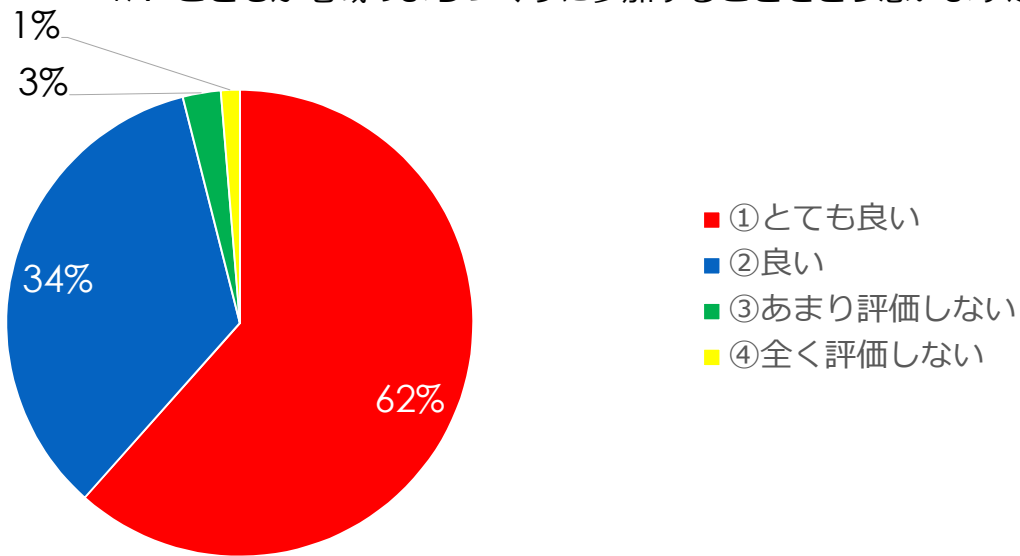
113件の回答

●参加しやすいしくみづくり(2件の回答)

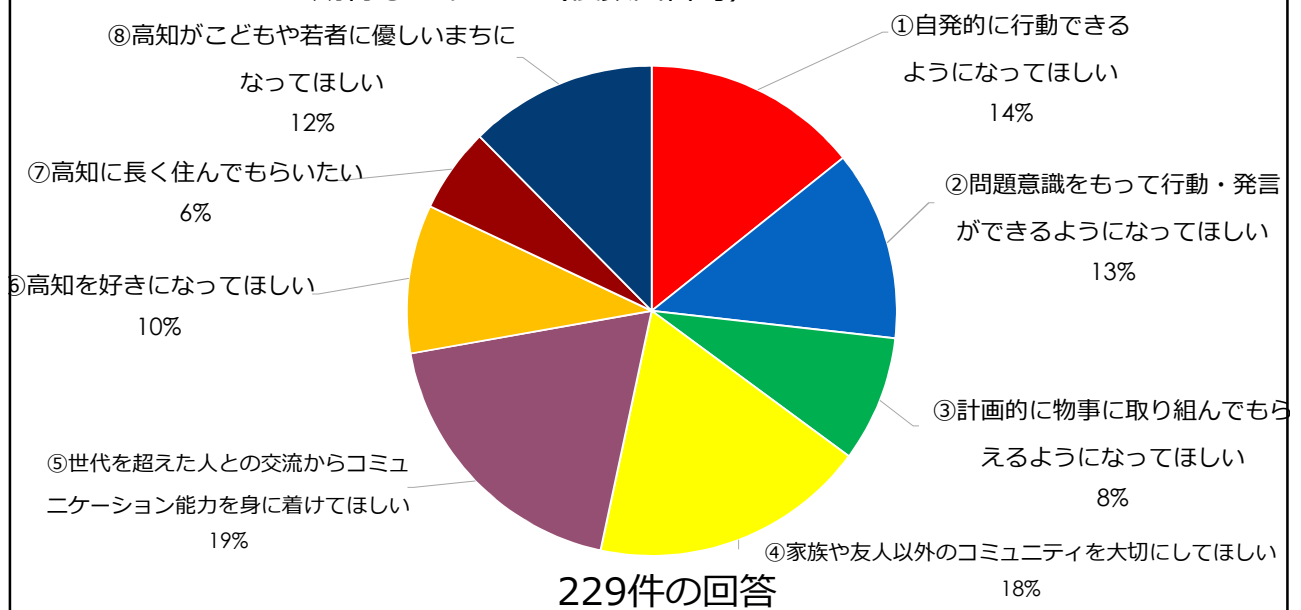
- ・参加したい人、全員が参加できるように、参加人数を増やしてほしい。
- ・(私が知らなかっただけかもしれないが)ファンドの採択状況は「あかるいまち」などで知ることができますが、採択された活動が、「いつ、どこで、どのように」されているか、一般市民が知ることはできないため、参加しようと思っても参加できないのが実態ではないでしょうか？
- ・お金の寄附はできませんが、何か活動をお手伝いしてみたいです。いい企画だと思う。



17. こどもが地域のまちづくりに参加することをどう思いますか？



18. こどもと若者がまちづくりに参加することに、どのようなことを期待しますか？（複数回答可）



18. こどもと若者がまちづくりに参加することに、どのようなことを期待しますか？

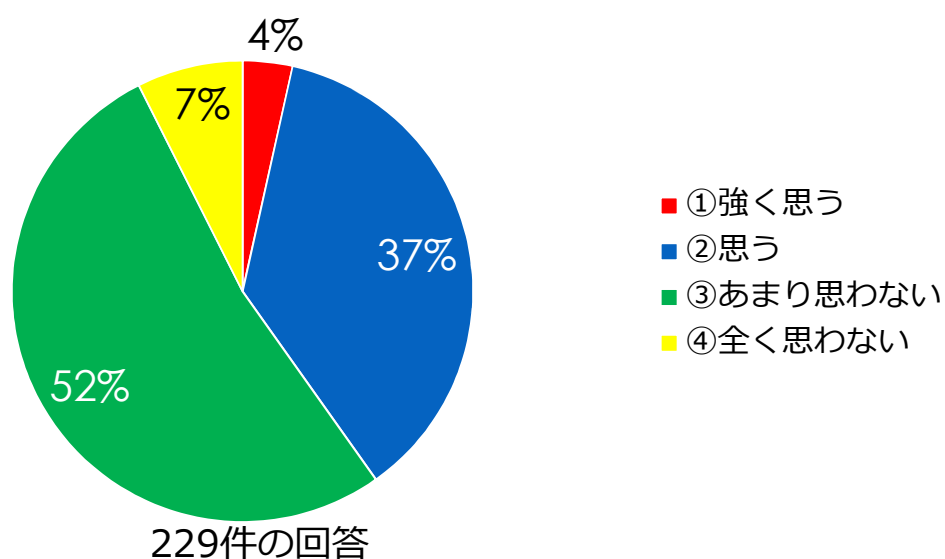
(分かったこと)

「世代を超えた人との交流によるコミュニケーション能力を身に付けてほしい」(19%)、「家族や友人以外の人とのコミュニケーションを大切にして欲しい」(18%)計37%で、**家族以外の地域の方との交流・コミュニケーションを期待する声**が最も多かった。

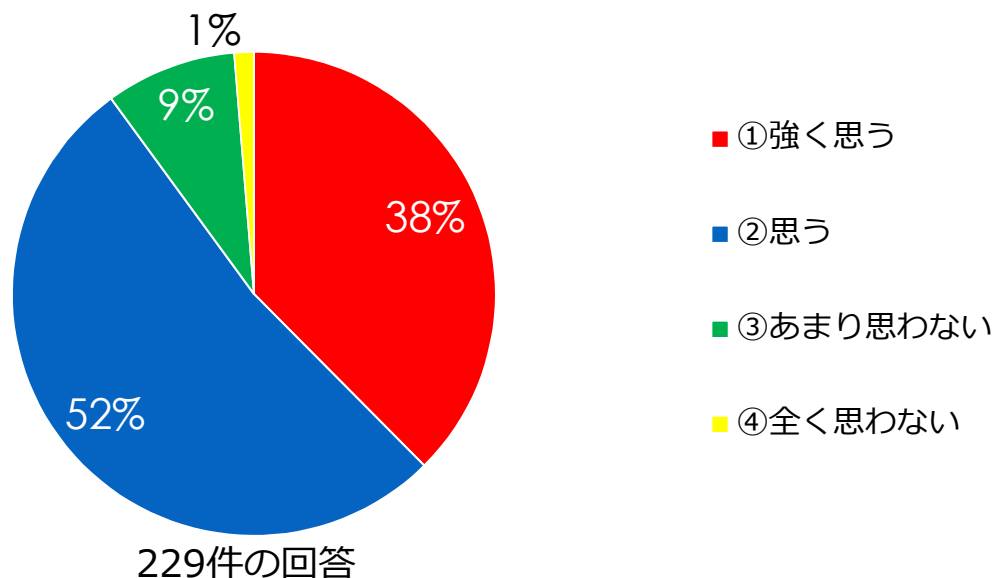
次いで、自発性(27%)、計画性(8%)は計35%で**保護者世代や大人がこどもの成長を期待する声**も同じく多い。

地域愛着も16%の方が期待しており、**こどもが高知に住み続けてほしい・戻ってきたいと思えるようなまちになってほしいという期待**があることが分かる。

19. 高知市は、これまでこどもと若者のためのまちづくりを進めていると思いますか？



20. 高知市は子どもや若者の声をもっと聞きながらまちづくりを進めていくべきだと思いますか？



21. 子どもと若者のまちづくりについて、あなたのご意見・ご提案を自由にお書きください。(自由記載)

113件の回答

●子どもや若者と大人の交流できる機会や場所を(28件)

- ・ 寺小屋のように誰でも集まって好きなことが出来る場所があったらいい、学生などボランティアで勉強教えてくれるとか、おじいさん達に先人の知恵を貰うとか交流できる場所
- ・ 高知市の夜間中学について、報道等をやっていましたが、子ども達や若者が気軽に立ち寄れる場所を作るべきだと思います。その場所で、勉強などを教えたり、遊んだり出来る場所に。親や先生に相談出来ないことを相談できる場所に。マナー教育も行い、詐欺などに加担や被害者にならないようにすべき。
- ・ 高知でずっと住み続けるにはどういうことが必要でどういうことがあれば嬉しいか等、子どもたちや若者から意見を募り討論する機会を定期的に設ける場があればいいと思います。
- ・ 子どもに対しての手当て(お金だけじゃなく)が他県から比べて薄いと感じる。コロナ禍ということもあり、この何年も地域の交流が少なかったように思うので、これからは積極的に子どもたちが地域の色々な世代の方々と交流できるイベントがあると嬉しい。地域で子どもたちを見守ることができると、色々な問題解決にもつながると思う。

## 21. こどもと若者のまちづくりについて、あなたのご意見・ご提案を自由にお書きください。(自由記載)

113件の回答

### ●若者が住み続けたい・戻ってきたいと思えるまちに(13件)

- ・街が好きになり、県外に出ても行事の時には戻ってくるような仕掛けがあったらよいと思います。
- ・若い人が住みたいまち、それは結局、働く場があり、楽しめる場があり、のんびりできる場もある、ということかと思う。
- ・大学で県外に出ても、卒業したら戻りたくなるようなまち。
- ・県外大学にこどもが進学した後高知で就職できる土壌をもっと作ってほしい。若者が少ないため街づくりが硬直化しているように思われる。

### ●こどもから高齢者まで誰もが住みやすいまちづくり(8件)

- ・「こども」とともに「高齢者に優しい(親切にする)まち」こそ、住みやすく、かつ幸福度が高いと言えると思います。このため、市の政策も「こどもと高齢者」を別々にせず、一体化したまちづくりの視点で実施することが大切ではないかと思えます。
- ・今は、発達障がいをお持ちの方も増えて、個性のあるこども達が生きにくい地域になっています。もっと、もっと、そのこと保護者があるのままで生きやすい地域にしてほしいです!! こどもと若者だけじゃなくて老若男女皆が住みよいまちになればいいと。

## 21. こどもと若者のまちづくりについて、あなたのご意見・ご提案を自由にお書きください。(自由記載)

113件の回答

### ●教育(4件)

- ・こどもが自分の意見を上手く相手に伝えられない年頃まで、一律にマスクを推奨したり、黙食、行事、イベントの中止等、過剰すぎるコロナ対策に疑問を持つ保護者も多いように感じます。こども達の声は大人に届くのか、疑問に感じてしまいます。声あげられないこども達の居場所作り、教育の場が確保されて欲しいと願います。
- ・校区単位の地域教材を作成し、小学校ではこどもたちが暮らしている地域を知り、中学校で問題意識を持つことができ、行動することができる青年を育成するカリキュラムを作り実施してほしい。
- ・興味を示すのは毎回同じ一部のこどもだと思うので、それでは意味がないのかな、と感じます。学校教育での授業として全生徒が取り組める形はいかがでしょうか？

### ●不登校や引きこもりについて(2件)

- ・高知は不登校児が全国一とのことですが、非常に嘆かわしく、不登校児が集える場所を作るべきではないか。
- ・今はSNSとかネット時代になってきたので若い世代が色々情報も集めやすいと思うので色々な事が出来ると思います。不登校とかひきこもりのこどもも過ごしやすい世の中になって欲しいです。

## 21. こどもと若者のまちづくりについて、あなたのご意見・ご提案を自由にお書きください。(自由記載)

113件の回答

### ●こどもの声を聞く・寄り添う(5件)

- ・声を聞く事は、とても大事だと思いますが、どこの誰に聞くのか、言いたい人ばかりでなく、言えない人をいかに見つけて声を聞けるかも大事だと思います。
- ・高知は高齢者が多いため、高齢者の声が市に届きやすいイメージがあり、若い人はあまり期待もしていないように思います。ぜひこどもや若者にとって住みやすいまち、住みたいまちになるよう、若者が高知市の未来に期待できるようなまちづくりをしてほしいと思っています。

### ●遊び場の整備(5件)

- ・自分の時代と比較してこどもにとっての遊び場(公共の場や私有地を含めて)が減少・制限されていると感じます。行政・民間の空き地等の有効活用や自然環境資源を生かした遊び場作りを希望します。
- ・公園はあるけれど、遊べる環境でない公園が多いと思います。また、ボール遊びもできない公園ばかりなので、公園で遊べるようにしたら、交流もしやすいです。

## 分 析

アンケート結果から、こどもファンドの認知度をもっと高める必要があることが分かった。しかし、制度を知らなかった市民の方でも、約9割の方がこどもファンドを評価しており、「活動内容をもっと知りたい」という声や「広報に力を入れるべき」、「自分のこどもも参加させてみたい」あるいは「周りのこどもが参加していたら手伝いたい」といった声が多くあった。

また、高知市がこどもと若者のまちづくりをすすめていると思っている人は約4割と半数に満たなかった一方、こどもと若者のまちづくりを進めていくべきと回答した人は約9割の回答があった。

特に、自由記述では、こどもから高齢者まで「多世代が交流できる機会を作ってほしい」という声が最も多かった。

## 2 活動実績の紹介

### (1)活動実績一覧(年度別)

年度	No.	団体名	テーマ	助成金額	助成回数
平成 24	1	あつまれ！土佐チル	こどもの、こどもによる、みんなのためのステージ！！	200,000	1回目
	2	浦戸小学校児童連合会まちづくりお助けレンジャー	『“かがやけ・元気・前進”をするまちをつくろう』プロジェクト	180,055	1回目
	3	大津子ども連合会「クルック・ソングメイツ」	みんなで手をつなごう「こぼとキャラバン」	200,000	1回目
	4	がんばれ高知工業高校応援隊	筆山における避難路案内板の設置と保全活動	9,086	1回目
	5	キッズ土佐山	防災意識を高めよう	128,295	1回目
	6	高知市立介良中学校生徒会	介良の史跡を知ってもらおうプロジェクト	182,700	1回目
	7	高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」	笑顔あふれるまちづくり！！「花いっぱい・クリーンアップ」大作戦！	198,170	1回目
	8	太平洋学園コミュニティ協力隊	学校と町内会の皆さんとの交流を図り、より安心して暮らせるまち”ハッピーコミュニティ”づくりを推進するボランティアプロジェクト	197,210	1回目
	9	地域記憶プロジェクト実行委員会	地域の記憶を地域で守ろうプロジェクト	198,654	1回目
	10	PAPAS	Good Bye RAKUGAKI(in our city)	147,923	1回目
平成 25	1	太平洋学園コミュニティ協力隊	学校と町内の皆さんとの交流を図り、より安心して楽しく暮らせるまち”ハッピーコミュニティ”づくりを推進するボランティアプロジェクト	170,880	2回目
	2	瀬戸東町1・2丁目元気キッズ	こどももお年寄りも仲良く元気なまちづくり	199,659	1回目
	3	こじゃんと！土佐チル	『お届けします！笑顔と感動を。』～出前舞台で地域に楽しい輪を広げるプロジェクト～	200,000	2回目
	4	高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」	笑顔あふれるまちづくり～「Let'sクリーン!!・花華いっぱい!!」大作戦～	120,000	2回目
	5	高知市立愛宕中学校生徒会	愛宕商店街活性化プロジェクト	199,354	1回目
	6	高知市立旭中学校生徒会～防災 ASAHI の会～	防災、地域をまきこんで、みんなのものにしていこう	187,158	1回目
	7	大津子ども会連合会「クルック・ソングメイツ♪」	ミュージカルをつくって、見てもらい、みんながつながる町にしよう！！	200,000	2回目
	8	潮江中防災プロジェクトチーム	防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献	200,000	1回目
平成 26	1	高知市立横浜中学校生徒会「横中のボランティアの会」	笑顔あふれるまちづくり～Let'sクリーン 花華いっぱい大作戦Ⅲ～	120,000	3回目
	2	キッズパフォーマーズ”土佐チル”	とどけます 笑顔と感動 交流で	138,205	3回目
	3	高知市立介良中学校生徒会	やるじゃん！介良～介良の史跡を知ってもらおうプロジェクト part2～	181,970	2回目

	4	旭東防災レンジャー	みんなでお年寄りの命を守るんジャー！	200,000	1回目
	5	横浜小学校めざせ！クリーン地域	「自然学習林一斉清掃」「めざせ！クリーン地域」	199,382	1回目
	6	NSP(ナカイババルプロジェクト)おたすけ隊	まもれ、高知 自らの声明をまもり、われらの地域を救う Nankai Survival Project	194,600	1回目
	7	～Food Treasure Hunter In Namegawa！～	行川の「食」宝物探し！！	100,083	1回目
	8	瀬戸東町1・2丁目元気キッズ	こどもからお年よりまで仲良く元気なまちづくり～とどけよう笑顔と元気・ひろめよう仲よしの”わ”～	193,197	2回目
	9	高知市立愛宕中学校生徒会	愛宕商店街活性化プロジェクト～愛 アート～	197,938	2回目
平成 27	1	NSP(ナカイババルプロジェクト)おたすけ隊	まもれ、高知 自らの生命をまもり、我らの地域を救う Nankai Survival Project	200,000	2回目
	2	一宮家おもてなし隊	一宮家はひとつの大家族やき！！	200,000	1回目
	3	瀬戸東町1・2丁目元気キッズ	こどもからお年寄りまで仲よく元気なまちづくり～支え合い助け合えるまちづくりを目指して！！～	199,993	3回目
	4	高知南高校QOLの会	エンディングカードで人生の質を高めよう	8,000	1回目
	5	Food Treasure Hunter in Namegawa!!	行川の食を他地域に広げる！	197,425	2回目
	6	APA(あったかハートで安心・安全プロジェクト Asahi)守るんジャー	あったかハートで安心・安全プロジェクト Asahi	162,403	1回目
平成 28	1	高知市立久重小学校6年生	国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう	200,000	1回目
	2	一宮家おもてなし隊	一宮家はひとつの大家族やき！！	151,294	2回目
	3	Nankai Survival Project(NSP)実行委員会	まもれ、高知 自らの生命を守り、我ら地域を救う	200,000	3回目
	4	潮江中防災プロジェクトチーム	防災学習の取組みと地域防災への啓発・貢献	154,300	2回目
	5	チーム龍馬	城西龍馬新聞「ボランティア特集」	200,000	1回目
	6	おおつつ子	地域へと笑顔をつなげおおつつ子	200,000	1回目
	7	ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム	高知ーLA 四世バスケットボール交流	200,000	1回目
平成 29	1	南海ふれあい応援隊	ふれあいで地域を元気にしよう	200,000	1回目
	2	一宮家おもてなし隊	一宮家はひとつの大家族やき！！	132,815	3回目

	3	高知市立久重小学校6年生	国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう	200,000	2 回目
	4	旭地区防災食プロジェクト	地いきのみんなの食事を守るんジャー	150,097	1回目
	5	にじいろ発見隊	こども目線でやさしいまちをつくる	98858	1回目
	6	太平洋学園コミュニティー協力隊	学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ ～被災地から学ぶ防災・被災の対策～	176,300	3 回目
平成 30	1	おおつっ子	満開の笑顔でつながれおおつっ子	46,772	2 回目
	2	IKKU 絆コミュニティー	地域交流でつくる一宮の絆	137,038	1回目
	3	旭地区防災食プロジェクト	みんなの命と食をこどもが守るんジャー！	195,616	2 回目
	4	太平洋学園コミュニティー協力隊	学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ ～避難所生活を皆で考えよう～	200,000	1回目
	5	虹を見る子どもたちプロジェクト	虹を見る子どもたちプロジェクト～夢を叶えよう ～	182,149	1回目
	6	AOYAGI 地域盛り上げ隊	過去の絶海池を取り戻し、地域の笑顔をよみがえ らせよう！	90,289	1回目
	7	natural チーム	豊かな里山の四季の食材を発見し、久重のごちそ うを広めよう！	130,725	1回目
令和1	1	旭地区防災食プロジェクト	地域みんなの命と食を守るんジャー	200,000	3 回目
	2	土佐山宣隊6ネンジャー	Welcome to Tosayama～おすすめスポット大 作戦～	200,000	1回目
	3	ふんわりシスターズ	商店街をパンフレットで活性化！	80,252	1回目
	4	高知とさじゅく広報部	高知のこと知っちゃう？～高知を世界に発信～	60,386	1回目
	5	太平洋学園コミュニティー協力隊	学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ ～自分たちで行う防災～	163,284	2回目
	6	Juvenile	Let's ほこほこ交流会～地域のつながりに関心 を持とう～	41,351	1回目
	7	朝倉中学校生徒会	人に優しい笑顔あふれるまちづくり～ASAKURA ～	58,637	1回目
	8	おおつっ子	防犯への意識が高い大津地区！	50,600	3 回目
	9	Co-CREATOR	望みの望海づくり～より住みよい団地に～	18,720	1回目
	10	久重 natural チーム	空と大地の恵み豊かな久重の魅力を多くの人に伝 えよう～星空観測と保存食でまちを元気に！～	187,585	2 回目
	11	AOYAGI 地域盛り上げ隊	高須・五台山地区の魅力を発信し、地域を盛り上 げよう！	194,483	2 回目
	12	Village Jamboree	ぶちまけ！発信！愛宕カラー！～フリーペーパー 『ATAGOBITO』～	180,206	1回目



令和3	1	Différent	地域との関わり×防災	168,776	1回目
	2	おおつつ子	キラピカ大津クリーン大作戦～今、私たちにできること～	22,282	3回目
	3	未来をかえ隊	鏡川清掃大作戦！～広げよう川・生き物を守るその気持ち～	68,165	1回目
	4	久重 natural チーム	里山保全で久重を発信！～SDGsで持続可能なまちづくり～	136,525	3回目
	5	土佐女子おれんじ flowers	高知市を女性が住みやすいまちに	48,749	1回目
	6	AOYAGI 地域盛り上げ隊	高須・五台山地域の魅力を沢山の人に知ってもらいたい	46,678	3回目

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業を中止。



▲山野草の収穫(久重 natural チーム)



▲防災マップの作成(旭地区防災プロジェクト)



▲防犯劇の披露(おおつつ子)



▲地域の公園清掃(Co-CREATOR)



▲老人施設で交流会  
(朝倉中学校生徒会)



▲地域おすすめスポットを紹介する看板  
の作成(土佐山宣隊 6ネンジャー)

## (2)高知新聞での活動紹介

「高知新聞社 読もっかNIE編集部」の協力を得て、高知新聞の本誌面や別刷タブロイド版誌面、ならびに県内全全中学校に配布される「Peratto(ぺらっと)」誌面に「活動中！！KKF団」というコーナーを設けていただきました。

### 高知新聞 掲載一覧

	掲載年月日(年・月・日)	記事見出し	掲載誌面
1	2012.1.30	こども主体でまちづくり 18歳以下が提案、審査、実行	高知新聞本誌面
2	2012.4.17	こどものまちづくり応援 高知市23日から助成団体募集	高知新聞本誌面
3	2012.6.15	こどもの意見くみ まちづくり ファンド審査会に13団体 10団体への助成決定	高知新聞本誌面
4	2012.7.5	わたしたちが町づくり提案 こどもファンドの10団体	高知新聞本誌面
5	2016.4.5	行川中生 食 名所カタログ (～Food Trespure Hunter In Namegawa!～)	高知新聞本誌面
6	2017.3.13	内閣府「防災教育プラン」南海中特別賞 地域との連携に評価	高知新聞本誌面
7	2017.12.19	南海中(高知市)ぼうさい大賞 「俄」で地域に安全訴え (NSP(ナカイ カハ イバル プロジェクト)おたすけ隊)	高知新聞本誌面
8	2018.10.2	今月からスタート！活動中!!!KKF団 小中高生も地域づくり「災害に強いまち」をつくるために (太平洋学園コミュニティー協力隊)	高知新聞本誌面
9	2018.10.21	垂水池きれいに 青柳中生ら清掃 (AOYAGI地域盛り上げ隊)	高知新聞本誌面
10	2018.11.6	活動中!!!KKF団 地域をあげて垂水池清掃(AOYAGI地域盛り上げ隊) 地域の防災力アップへ劇(おおつっ子)	高知新聞本誌面
11	2018.12.4	活動中！KKF団 地域で活動 情報発信も IKKU絆コミュニティ(一宮家おもてなし隊) 誰もが夢持てる未来に(虹を見る子どもたちプロジェクト)	高知新聞本誌面
12	2019.1.9	活動中!!!KKF団 畑から広がれ！地域の輪(旭地区防災食プロジェクト)	高知新聞本誌面
13	2019.2.5	活動中!!!KKF団 久重の植物を”防災食”に(久重naturalチーム)	高知新聞本誌面
14	2019.3.19	熱意が大人動かず 高知市で「こどもファンド」活動発表会	高知新聞本誌面
15	2019.4.24	楽しいよ！KKF団 中学生時代に2年間”団員” 地元の料理 レシピ集に	高知新聞本誌面
16	2019.7.10	活動中!!!KKF団 2019年度の団員決定	高知新聞本誌面
17	2019.10.16	活動中!!!KKF団 2019 愛宕中学校の魅力発信中(Villege Jamboree) 防災力アップ中(旭地区防災プロジェクト)	高知新聞本誌面
18	2019.10.23	活動中!!!KKF団 2019 動画で”団員”の活動配信(高知とさじゅく広報部) すてきな望ヶ丘に(Co-CREATOR)	高知新聞本誌面
19	2019.11.20	活動中!!!KKF団 2019 地域に根付いた防災を(太平洋学園コミュニティー協力隊) 高須・五台山の魅力発信(AOYAGI地域盛り上げ隊)	高知新聞本誌面
20	2019.3.5	活動中!!!KKF団 2018年度の活動をふりかえって	高知新聞本誌面
21	2020.3.18	活動中!!!KKF団 もっといいまちに！2019年度の活動をふりかえって	高知新聞本誌面
22	2019.12.18	活動中!!!KKF団 2019 パンフレットで商店街PR(ぶんわりシスターズ) 交流を通じ地域とつながる(朝倉中学校生徒会)	高知新聞本誌面
23	2020.1.11	青柳中学校 清掃活動に大臣賞 池の粗大ごみなど撤去 地域との交流深まる (AOYAGI地域盛り上げ隊)	別刷タブロイド版誌面
24	2020.1.22	活動中!!!KKF団 2019 交流会でつながり生む(Juvenile) 劇で防災意識高める(おおつっ子)	別刷タブロイド版誌面
25	2020.2.19	活動中!!!KKF団 2019 土佐山の良さ 看板でPR(土佐山宣隊 6ネンジャー) 久重の恵みで地域を元気に(久重naturalチーム)	別刷タブロイド版誌面
26	2021.10.15	活動中!!!KKF団 未来をかえ隊	Perratto掲載
27	2021.11.19	活動中!!!KKF団 Différent	Perratto掲載
28	2021.12.10	活動中!!!KKF団 久重naturalチーム	Perratto掲載
29	2021.1.14	活動中!!!KKF団 おおつっ子	Perratto掲載
30	2022.2.18	活動中!!!KKF団 AOYAGI地域盛り上げ隊	Perratto掲載
31	2022.3.18	活動中!!!KKF団 土佐女子おれんじflowers	Perratto掲載
32	2023.1.20	活動中!!!KKF団 土佐女子おれんじflowers	高知新聞本誌面
33	2023.2.3	活動中!!!KKF団 久重naturalチーム	高知新聞本誌面
34	2023.2.17	活動中!!!KKF団 Mteens・Différent	高知新聞本誌面

## (3)こうちこどもファンド通信(創刊号～第36号までを一部抜粋)※次ページより紹介

# 助成団体が決定しました。

「こうちこどもファンド」がスタートして初めての募集となる、平成24年度は、13の団体から応募がありました。

6月24日(日)に審査会を開催し、申請団体の公開プレゼンテーションが行われ、そのうち10団体に助成が決定しました。



思い思いの方法で審査員にアピール



想いや情熱を伝えようと、説明にも熱が入ります



審査員からは鋭い質問が!!



当日の詳しい様子は  
地域コミュニティ推進課ホームページに掲載している審査会報告書をご覧ください。

## 審査員紹介

審査副委員長

## 大人審査員



高知県商工会議所 女性会 運営委員会 古谷 純代さん



立正大学 社会学部講師 新藤 すすえさん



元とさつタウン 実行委員長 藤井 純乃さん



高知市 教育長 松原 和隆さん



高知市 市民協 徳部 長 森田 聡介さん



高知市 環境課 副部長 山川 瑞代さん



第四小学校 (5年) 井上 青海さん



介成小学校 (6年) 小林 潤介さん



新堀小学校 (6年) 杉村 美歩さん



豊野中学校 (3年) 池上 勇人さん



土佐中学校 (1年) 片岡 優斗さん



豊吉中学校 (2年) 戸田 樹さん



瀧西高等学校 (2年) 瀧村 清里さん



高知高等学校 (3年) 細川 悠さん



高知商業高等学校 (2年) 森田 大雅さん

助成決定団体名	活動のテーマ	活動の内容	助成金額
あつまれ!土佐チル	子どもの、子どもによる、みんなのためのステージ!!	こども劇場の夏の交流行事「ザ・織日」での子どもが考え子どもが作る「こどもステージ」の実施	200,000円
浦戸小学校児童会 まちづくりお助けレンジャー	『かがやけ・元気・前進』をすまちなをつくらう』プロジェクト	地域と一緒に浜の清掃や「こども夏まつり」「こどもバザー」などを実施	200,000円
大津子ども会連合会 「クルック・ソングメイツ」	みんなの手をつなごう「こぼとキャラバン」	地域の老人ホーム等を訪問し歌や踊りを披露。人形劇やペープサートの実施	200,000円
がんばればれ高知工業高校応援隊	釜山における避難路案内板の設置と保全活動	釜山の清掃活動や、登り口を示した避難路案内板を作成し設置する取り組み	15,800円
キッズ土佐山	防災意識を高めよう	土佐山消防団のシャッターに絵を描く取り組み	180,000円
高知市立介良中学校生徒会	介良の史跡を知ってもらおうプロジェクト	史跡を案内する標識や道の整備、史跡めぐりのオリエンテーリングの実施	200,000円
高知市立横浜中学校生徒会 「横中ボランティアの会」	笑顔あふれるまちづくり!!～「花いっぱい・クリーンアップ」大作戦～	「まちをきれいに」中学生の力で地域を活性化させる「大人になってもまちづくりに参加する」を目標に、環境美化活動等を実施	198,170円
太平洋学園 コミュニティ協力隊	学校と町内の皆さんとの交流を図り、より安心して暮らせるまちづくりを推進するボランティアプロジェクト	学校周辺でのあいさつ運動や地域の子どもたち、高齢者との交流活動、地域と一緒に行う避難訓練など、防災・貢献・美化活動の実施	200,000円
地域記憶プロジェクト 実行委員会	地域の記憶を地域で守ろうプロジェクト	家に眠っている古文書や写真などを調査研究・保存・公開していく取り組み	200,000円
PAPAS	Good Bye RAKUGAKI (in our city)	通学の際に見かける、街の落書きを無くしていく活動の実施	147,990円

## 審査委員長コメント

この「こうちこどもファンド」は、子どもが主体的に自ら住んでいる地域にかかわり、そのことを通じて地域の皆さんとふれあひ、まちづくりを推進していくことをねらいとしています。従って、子どもの目線で見てもらうために、こども審査員が審査の主体となっています。一つ一つの団体に「助成する」、「助成しない」という判断をし、9人のこども審査員のうち5人以上「助成する」と判断するかどうかが選考ラインになりました。最終的に10の団体が5票以上獲得したことになりました。ただ、そのプロセスには色んな議論がありました。最初から5票以上獲得したのは、5団体ぐらいいかかったと思います。それ以外の団体がダメという意味ではなく、「迷っている」というものがかなり多かった。そのことに対して、大人の審査員からは、合併したとかしていいとか、街なかとかかなり離れているとか、子どもたちがなかなか分りにくい地域の歴史や特徴などの情報を提供し、大人の判断を伝えたいという意見も、最終的に子どもたちに判断してもらいました。最終的に選んだ団体も、やろうとしていることがよくないと判断されたわけではありません。すべての団体に活動して欲しいというが我々の意図でありますので、もう少し計画を練り直して出してくれば、次年度はかなり上位で助成されると思います。



卯月 達夫さん

(早稲田大学社会科学部社会学部総合学術院 教授)

## こども審査員



介成小学校 (6年) 小林 潤介さん



新堀小学校 (6年) 杉村 美歩さん



豊野中学校 (3年) 池上 勇人さん



土佐中学校 (1年) 片岡 優斗さん



豊吉中学校 (2年) 戸田 樹さん



瀧西高等学校 (2年) 瀧村 清里さん



高知高等学校 (3年) 細川 悠さん



高知商業高等学校 (2年) 森田 大雅さん

## 助成団体の活動を紹介します！

創刊号でも少しご紹介しましたが、今年度の助成団体の子どもたちが、現在、とても元気に活動しています。

今回は各団体がこれまで行なった活動と、今後の活動予定などをご紹介します。ぜひ実際に活動をご覧いただき、子どもたちの応援をお願いします！

**あつまれ！土佐手ル** ～子どもの、子どもによる、みんなのためのステージ！～



8月26日(日)に要法寺(筆山町)で開催された、高知市こども劇場の夏の交流行事「ザ・縁日」で、子どもが考え、子どもが作る「こどもステージ」を実施しました。  
ステージでは、子どもたちの演劇はもちろん、マジックショーも子どもたちが行ない、観客の皆さんは大盛り上がり！ステージいっぱい子どもたちの笑顔があふれていました！  
今後は、活動をふりかえって報告集をつくり、来年3月の発表会に向けて準備をします。

**浦戸小学校児童会まちづくりお助けレンジャ―**

～『かがやけ・元氣・前進』をするまちをつくるう』プロジェクト～

自分たちのまち浦戸が、もっと元気になるように、子どもたちが色々なことにチャレンジします。

すでに、浜の清掃、花道の花の植替え、夏祭りでの『お化け屋敷』『ダンボール迷路』などのブース主催と、浦戸音頭を披露するなど、活発に活動中です！

今後は、子どもバザーの実施(2月3日(日)予定)や、龍宮祭(3月下旬～4月上旬)に開催予定)への参加などを予定しています。



**大津子ども会連合会「クルック・ソングメイツ」**

～みんなで手をつなごう！こぼとキヤラバン！～

大津地区のお祭りのステージや、老人ホームを訪問し、歌や踊りを披露して、子どもからお年寄りまでの世代間の交流を図り、みんなが「つながる」「元氣な」「やさしい」まちを目指します。

現在子どもたちは、人形劇(ペーパークラフト)の制作・練習中。完成したら地域の保育園や介護施設を訪問して披露しま



## がんばれ高知工業高校応援隊

～筆山における避難路案内板の設置と保全活動～

南海地震が発生した際の地域の避難場所となる筆山に、避難路案内板を設置して、地域の皆さんが迅速に避難できるよう役立てます。また、地域のシンボル・憩いの場でもある筆山がいつまでもきれいな状態を保てるように、筆山公園の清掃活動を実施します。

9月には筆山の現地調査を行いました！

今後は、冬休み中に案内板の製作等を予定しています。

## キッズ土佐山

～防災意識を高めよう～



土佐山消防分団のシャッターに絵を書いて、分団であるお父さんたちに出動や訓練から帰って来た時にホッとしてもらい、また、地域の人たちにもシャッターの絵を通して消防分団の活動を知ってもらって、地域の防災意識を高めま

す。これまでに、シャッターの掃除や採用するデザインの検討、シャッターへの下書きを行いました！

10月には実際にペイントとコーティングを行う予定です。

## 高知市立介良中学校生徒会

～介良の史跡を知ってもらおうプロジェクト～

自分たちの住む介良地区にたくさん残っている史跡を、より多くの方々に知ってもらうため、史跡の案内標識を整備します。

8月には、地域の方に案内していただき、実際に史跡を巡ってきました。

今後は、史跡の案内標識の整備に向けて準備をしています！

整備後はオリエンティングや、史跡めぐりスタンプラリーなどの実施を予定しています。

## 高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティア

～笑顔あふれるまちづくり！「花いっぱい・グリーンアップ」大作戦～



地域での清掃ボランティアや、地域を花いっぱいにする活動を通して、地域の方々の交流を深め、まちづくり活動を連携して行い、地域が、より活気づくことを目指します！

7月は『浦戸湾七河川一斉清掃』、8月は『88クリンウォーク四国』の清掃活動に参加しました。

9月には、地域を花いっぱいにするために、花の種まきをしました。

今後は、花の苗を育て、地域の道路脇の花壇や、保育園などの花壇に花を植えていきます。

## 太平洋学園コミュニティ協力隊

～学校と町内の皆さんの交流を図り、より安心して楽しく暮らせるまち「ハッピー・コミュニティー」づくりを推進するボランティアプロジェクト～



あいさつの声かけや、地域行事への参加などの交流活動、地域の方々と協力して自主防災組織を設立するなどの防災活動、学校周辺や町内のゴミ拾いなどの環境美化活動、様々な活動を通して、学校と地域の方々の交流を図ります。

これまでに、『ハッピー・コミュニティー通信』第1号を発行して地域に配布し、10月からは毎週金曜日の12:30～13:00の間、栄田町西公園の美化パトロールを開始しました。

★12月15日(土) 10:00～16:00 栄田町西公園で保育園児や老人会をご招待し、バザーや餅つきなどの地域交流を実施予定です。

## 地域記憶プロジェクト実行委員会

～地域の記憶を地域で守ろうプロジェクト～

高知東高校がある、一宮地区の歴史資料を、地域の方たちと一緒に調査し、地域の記憶を、かけがえのない「地域の歴史」として未来に伝えていきます。

7月には、自分たちの活動を広く知ってもらうために説明会を開催しました。8月には、講習会を開催し、歴史資料の整理保存や調査の仕方などを地域の方と一緒に学習しました！

今後も調査を継続して、目録・報告書を作成する予定です。

## PAPAS ～Good Bye RAKUGAKI (in our city)～



高知丸の内高校がある、中心市街地周辺から落書きを無くす活動を通して、住んでいる方々が嫌な思いをすることなく暮らせる、また観光客から「高知には落書きが全くなかった！また来たい！」と言ってもらえるような、きれいなまちにすることを目指します！

8月には、落書き場所の地図を作成するとともに、ボランティア募集のポスターを作成して、校内で呼びかけました。

10月からは、実際に落書きを消す活動を始めます。

★11月18日(日)、25日(日)に柳町通り周辺の落書き消し活動を実施予定です！

## 審査副委員長コメント

白熱した審査会から早くも3か月が経ち、プロジェクトがスタートしました。その報告を「こうちこどもファンド通信」や、ホームページ等で見て、改めてこの事業に参加をした子どもたちの行動力と発想力に、賛辞を贈りたい気持ちになりま

す。どのチームも、大人とは違った素晴らしい個性や想像力に優れており、実行するごとにその輝きがどんどん増している

のであろうと思うと楽しくなってきます。

活動をしていくなかで、困った事や難しい事など様々な場面に遭遇しながらも、一生懸命仲間と力を

合わせて頑張る姿勢は頼もしい限りです。

自分達が住む街をこれからのようにしたいか、どのような街になって欲しいかを、子ども目線で真剣に考え、意見を出し合い夢の実現に向けて実行していくことは、このプロジェクトの大きな意義・目的であり、参加できなかった子どもたちにも大きな刺激や影響を与えていくのではないだろうか。この活動を通して、仲間との連帯感を深め、仲間と共に味わう達成感は素晴らしい思い出になると思います。同じ思いの仲間もどんどん増えていくことにも期待が持てます。大きな一歩を「こうちこどもファンド」の第一期生が踏み出したことは、これからの高知にとっては大きな力となると思います。

来年3月の報告会で、体験できた成果の発表を聞けることをすごく楽しみにしております。



古谷 純代さん  
(高知県商工会議所  
女性会連合会会長)

# 平成24年度助成団体の活動報告

## 浦戸小学校児童会まちづくりお助けレンジャー

～「かがやけ・元気・前進」をすまちなまちづくりプロジェクト～

自分たちの似顔絵入り防災啓発ポスターを作成。地元住民へ全戸配布し、地震発生後の津波から、素早い避難を呼びかけました。ポスターは、浦戸地区連合町内会会長と浦戸ふれあいセンター長に、「みんな無事でいてほしい」という願いを込めたお手紙と一緒に贈呈しました。その他、花海道の花植えや地域のお年寄りにお手紙付きのお弁当を配布するなど、地域との交流・美化活動に忙しく活動しています。

2月3日(日)にはこどもバザーを実施する予定です。

## 大津こども会連合会「クルック・ソングメイツ」

～みんなの手をつなごう「こぼとキヤラバン」～

10月半ばから、実際に人形を動かしながらの練習に入り、大津保育園で人形劇「まっくろネリノ」を披露しました。「棒読みにならないようにするのが難しい」「セリフを覚えるのが大変！」など、多数の課題を乗り越え、猛練習の成果を発揮しました。

1月19日(土)には、芸術学園幼稚園でも公演する予定です。みんなの笑顔をつなげたいと、今後も地域の保育園や宅老所等を訪問していきます。

## キッズ土佐山

～防災意識を高めよう～

土佐山女性防火クラブの方達と一緒に、地区の独居高齢者宅を訪問して、年末の火の用心を呼びかけました。訪問の際には、自分たちで描いた土佐山消防分団屯所のシャッターの絵を印刷したポットティッシュと、手作りの「ゆずのパウンドケーキ」を配布し、自分たちの活動を地域の皆さまにPRしました。

年明けの消防出初式に分団が発する時には、キッズ土佐山の法被を着て、激励したいと考えています。

## 高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」

～笑顔あふれるまちづくり!!「花いっぱいウィーンアップ」大作戦～

自分たちで育てた花の苗を、学校周辺の道路脇花壇に植える作業を行いました。

花植えの2週間程前に草刈りと、土を耕す作業を約50名のメンバーが行い、花植え当日は、休日の早朝にも関わらず、約90名の子どもが、近隣の町内会の方達と一緒に、作業を行いました。

今後は、地域の施設等に花を植えていきます。



## 太平洋学園コミュニケーション協力隊

～学校と町内の皆さんとの交流を図り、より安心して楽しく暮らせるまち“ハッピーコミュニケーション”づくりを推薦するボランティアプロジェクト～

地域交流の一環として、地区の町内会の皆さまや幼稚園児に、学園祭への招待状を出し、ミニゲームや射的などの簡単なゲームをしたり、今までの活動報告のパネル展示等を行いました。その他、あいさつ運動にも取り組もうと、地域の皆さんを含む広く一般の方から、標語を募集しています。2月14日(木)には、地域の方を招いての防災学習会を開催する予定です。

## 地域記憶プロジェクト実行委員会

～地域の記憶を地域で守ろうプロジェクト～

一宮地域の皆さまの協力により収集した史料の保存作業を行うとともに、一宮尋常高等小学校の教材として編集された「郷土地理」を見ながら、戦前の一宮村について話し合う講習会を3回開催しました。また、1月19日(土)には、旧関川家住宅民家資料館に、いろいろを囲みながらの講演会を開催する予定です。

## PAPAS ～Good Bye RAKUGAKI (in our city)～



中心市街地(おびさんロード、帯屋町商店街、中の橋商店街、柳町商店街)の落書き消し作業を行いました。環境にやさしい専用クリーナーを使い、布で拭き取る丁寧な作業で、落書き跡が分からないう程の出来ばえ!活動後、商店街にあるお店の方から、感謝の言葉と、ドリンク2箱の差し入れをいただきました。今後は、落書き防止ポスターを作成し、呼びかけを行うなどの、啓発活動に力をいれていきます。

そのほか、『あつまれ!土佐子ル』は活動成果発表会に向け、準備中です。

『高知市立良中学校生徒会』『がんばれ高知工業高校応援隊』は、年明けの活動に向け、協力してくれる地域の方と相談しながら、準備を進めております。次号をお楽しみに♪

・・・★事務局からのお知らせ・・・

平成24年度助成団体の活動発表会を平成25年3月24日(日)午後1時30分から、総合あんしんセンター3階大会議室で開催します。参加申込みは不要です。興味のある方は、直接会場までお越しください。

## 審査委員ルールコメント



新藤 こそえさん  
(立正大学  
社会福祉学部講師)

日本で初めての、こどもファンド。子どもが提案し、子どもが審査し、子どもが実施する...1年ほど前に、大人たちが集まってこのアイデアを考えていたときには、こんなに早く実現するとは思っていませんでした。でも、実現しました!そして、審査会ときの、発表する子どもたち、こども審査員の素晴らしいこと!ひとつひとつの言葉、表情、行動に、感動させられっぱなしでした。

多くの大人は、子どもを大切にしたい、大切にしなければと思っています。私もそのひとりです。でも、子どもを大切にすることは、子どもを守ることだけではなく、子どもたちが「何かをやりたいたい」と思う気持ちを引き出したり、それが実現できるように、応援したりすることなのだ、改めて気づきました。まちづくりのど真ん中に子どもがいるって、すごいことです。まちづくりに頑張っているみなさんのことを応援したい大人たちはたくさんいますよ!







# 助成団体 活動紹介

活動を見かけたら、温かく見守ってください。そして、ぜひ頑張ってるね！と声をかけてください。皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。



## 潮江中防災プロジェクトチーム

●7月29日(月)8時20分からカラ又飛散防止フィルムに関する学習、実験、演習会を行いました。今後は実際にフィルムを貼る活動と、避難所カルタ作成に向けての準備を行っていく予定です。



## 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ

●6月下旬に枝豆、いんげん、なす等の苗を植え、定期的にメンテナンスが集まり、手入れ作業を行っています。7月下旬には、活動メンバーを新たに募集する説明会を開きました。●12月中旬に開催予定の、収穫した野菜を使った老人クラブとの食事に向けて、活動を進めていきます。



## ごじゅんと！土佐チル

●8月18日(日)13時からかるぼーとで開催された、とさっ子タウソンの「とさっ子座(シブター)」において、自作の劇を披露するとともに、参加者と一緒に台本の読み合わせを行うなどの交流を図りました。今後は要請された場所に向向いて、劇・ダンス・マジック・歌・演奏を披露する予定です。



## 太平洋学園コミュニティー協力隊

●7月24日(水) 町内の方連と一緒に、津波避難ビルへの避難訓練を行いました。●8月10日(土)、11日(日)11時から高知駅のよさこい祭り演舞場で、お手伝いをしました。



## 高知市立愛宕中学校生徒会

●7月25日(木)13時15分から愛宕商店街にメッセージ短冊付きの風鈴を飾りました。●8月6日(火)9時から、8月25日(日)7時30分から※雨天により中止よさこい祭り前後に、愛宕商店街の清掃を行いました。●今後は、自分たちの活動を地域に報告する広報紙や、商店街の案内マップを作成する予定です。



## 高知市立横浜中学校生徒会 「横中ボランティアの会」

●7月7日(日)7時から「第25回浦戸湾七河川一斉清掃」に参加しました。●8月8日(木)6時から「第11回88クリーンプラオーラ四国」に参加しました。●9月以降は校区施設、道路脇花壇への花植えにむけて、花の育苗など準備を行います。



助成団体の活動は、地域コミュニティ推進課のホームページで詳しく紹介しています。

☞こちらでホームページで検索！

## ご寄附をありがとうございました

※平成25年4月以降(50音順)

### 《企業・団体様》

- |                    |         |         |
|--------------------|---------|---------|
| ★医療法人に栄会 島津病院      | 理事長     | 島津 栄一様  |
| ★株式会社岸之上工務店        | 代表取締役社長 | 岸之上 憲一様 |
| ★株式会社公職研           | 代表取締役   | 大田 昭一様  |
| ★株式会社四国相互手形センター    | 代表取締役社長 | 矢野 利平様  |
| ★三愛石油カスタマーサービス株式会社 | 代表取締役   | 池田 直弘様  |
- ★お断り★  
昨年度にご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

### 《個人様》

- ★久川 豊四郎 様
- ★ほか、6名の個人の皆様

## 皆様の善意をお寄せください

「こうちこどもファンド」は、この事業にご賛同いただける個人や企業の皆さまからのご寄附によって支えられています。未来のまちづくりを支える子どもたちの想いを、市民・企業など社会全体で応援しませんか。子どもたちの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。

寄附の手続きは簡単です。下記までお気軽にご連絡ください。手続き等は地域コミュニティ推進課のホームページでもご確認いただけます。また、寄附金については、税制上の優遇措置があります。

【お問い合わせ先】高知市地域コミュニティ推進課  
(TEL/088-823-9080)

【発行元】高知市地域コミュニティ推進課 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL : 088-823-9080

E-mail : kodomofund@city.kochi.lg.jp URL : http://www.city.kochi.kochi.lg.jp/soshiki/21/

# まちごともアワード

## 通信

第7号  
(平成25年11月)

編集・発行：高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/823-9080)

### 助成団体の活動を紹介します！



助成決定から早くも4か月が経過し、子ども達の活動は中盤にさしかかりました！  
審査会の時に掲げたそれぞれの目標を達成するため、楽しみながら、元気に活動しています。  
今回は、各グループがこれまでに行なった活動や、今後の活動予定などを紹介します♪  
実際に子ども達が活動している様子を見かけることがあれば、ぜひ、声をかけてあげてください。

#### 太平洋学園コミュニティ協力隊

～学校と町内の皆さんとの交流を図り、より安心して楽しく暮らせるまち“ハッピーコミュニティ”づくりを推進するボランティアプロジェクト～

地域のお年寄りと、もっと親しくなるために、敬老の日のお祝いもかねた茶話会を、9月13日(金)に開きました。  
お互いの自己紹介をするともに、参加してくれたお年寄りから、学校周辺の昔の様子や、若い頃どのように過ごしていたかなど話を聞かせてもらいました。



9月22日(日)に、地域の人が開催する「お月見会」の設置準備をお手伝いしました。地元公園が開催場所となっていたが、色々なお店も出ており、メンバーはテント張りや、飲み物の準備などを行いました。



#### 今後の予定

- 柴田町西公園の美化清掃.....  
● 日程：毎週金曜日 12時30分～  
● 場所：柴田町西公園
- ◆ 柴田町西公園ルミナリ工開催.....  
● 日程：12月13日(金)夕方  
● 場所：柴田町西公園
- 地域と一連に行う防災学習会.....  
● 日程：平成26年1月8日(水)  
● 場所：太平洋高等学校敷地内
- ◆ 防災グッズ作成.....  
● 日程：平成26年2月(予定)

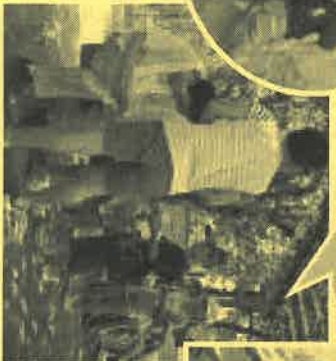
#### 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ

～子供もお年寄りも仲良く元気なまちづくり～



枝豆を収穫！

いつも  
綺麗にしてくれ  
てありがと！



12月のお食事会開催  
に向けて、大根の種  
まきです♪

記録的な猛暑や少雨、そしてせっかくな出来た野菜にも虫がついてしまう等のアクシデントにも負けじと、みんなで楽しみながら畑作業に挑んでいます。「もりの作り」の難しさを、身をもって体験しているようです。  
夏には、収穫した枝豆を、いつも公園を清掃してくれている老人クラブの方にプレゼントしました。

#### 今後の予定

- 収穫野菜で料理を作り、地域のお年寄りを“おもてなす！”.....  
● 日程：12月22日(日)

## 高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」

～笑顔あふれるまちづくり!!  
「Let's クリーニング!!」花華いっぱい!! 大作戦～

地域での清掃ボランティアや、学校周辺・地域の施設に、自分たちが育てた花を植え、まちを花いっぱいにして活動しています。7月に、地域の施設に植えていた花苗の植え替え作業を行い、8月には『88クリーニングウオーク四国』の清掃活動に参加しました。活動に取り組み中で、地域の方々と交流を深め、まちづくりを連携して行い、地域が、より活気づくことを目指します。また、助成2年目ということもあり、活動を今後も継続して行えるよう、活動資金の獲得方法の検討も進めます。

### 今後の予定

- ◆ 『花いっぱい大作戦パート2』に向けての草引き作業... 学校前の街路樹下の草引き作業を、有志の生徒約80名が参加して行います。  
● 日程：11月6日(水) 15時～  
● 場所：横浜中学校前街路樹下など
- ◆ 『花いっぱい大作戦パート2』実施... 校区の町内会の皆さんと一緒に、自分たちが育ててきたピオラ約1,200ポットを街路樹下に植えていきます。  
● 日程：11月24日(日) 8時～  
● 場所：横浜中学校前街路樹下など



苗を備めないように、丁寧に作業を行います。

## 高知市立愛宕中学校生徒会

～愛宕商店街活性化プロジェクト～

9月7月に取り付けた風鈴と、愛宕商店街への応援メッセージをかけた短冊を撤去する作業と、商店街の清掃を、9月に行いました。



商店街に取り付けていた短冊の中から、メンバーと校長先生達が一緒に、優秀作品5本を選びました。選ばれた作品は、9月の生徒集会にて表彰を行い、生徒会メンバーが表彰状と記念品を授与しました。11月下旬にも、再度、『冬』と『商店街にあるもの』を題材にした俳句を、3年生から募集し、商店街に飾るとともに、優秀作品の表彰を行う予定です。



### 今後の予定

- ◆ 愛宕商店街の清掃活動... 生徒会のメンバーと有志の学生で清掃作業を行います。  
● 日程：11月上旬、12月  
● 場所：愛宕商店街
- ◆ 俳句の色紙を商店街に飾り付け...  
● 日程：11月下旬  
● 場所：愛宕商店街
- ◆ 商店街の看板作成... 美術部の学生と一緒に、愛宕商店街が目につくよう看板を作成したいと考えています。

## こじやんと！土佐子ル

～お届けします！笑顔と感動を

「出前舞台で地域に楽しい輪を広げるプロジェクト」

歌、演奏、劇、ダンス、マジックの5つの演目を練習し、要請のあった保育園や学校に出向き披露します。9月16日(月)は大津老人ホーム、10月27日(日)には、ひろめ市場で開催するハロウィーンイベントに出演しました。



### 今後の予定

- ◆ 地域の保育園でマジック・ダンスを披露...  
● 日程：11月18日(月) 10時～  
● 場所：横浜新町保育園
- ◆ 江ノ口小学校のバザーに参加...  
● 日程：11月30日(土) 11時30分～  
● 場所：江ノ口小学校

## 高知市立旭中学校生徒会「防災ASAHIの会」

～防災、地域をまきこんで、みんなのものにしていこう～

9月26日(木)、27日(金)の2日間にわたり、メンバーと有志の生徒約20名が参道路脇フェンス、店舗外壁等の8か所に、看板を追加し、避難誘導看板を作成。専門家に指導してもらい、立派な看板が完成しました！



10月10日(木)、11日(金)に、学校周辺の公園や道路脇フェンス、店舗外壁等の8か所に、看板を設置しました。設置後、地域の方から「分かりやすい」というお声もいただきました。

### 今後の予定

- ◆ 防災イベント「学ぼう! 防災」での講演会開催... 高知大学理学部の岡村教授を招き、講演会を開催します。  
● 日程：11月17日(日) 9時10分～  
● 場所：旭中学校体育館
- ◆ 防災マップの作成... 高知大学の学生と一緒に、実際にまち歩きを行いながら、防災マップを作成します。

## 大津子ども会連合会「クルック・ソングメイット」

～ミュージカルをつくって見てもらい、みんながつながる町にしよう!!～



ただいまミュージカルの勉強中です

普段からの人と人とのつながりが大切だという思いをミュージカルにしたいと取り組んでいます。現在は、「ミュージカル」というものがあるのか、ビデオを見ての勉強と、演じるための柔軟な体や体力づくりの練習に励んでいます。

### 今後の予定

- ◆ 歌・ダンス...お芝居の勉強...  
● 日程：毎週水曜日15時～  
● 場所：大津ふれあいセンター
- ◆ 公演に向けての強化合宿...  
● 日程：11月9日(土)、10日(日)  
● 場所：工石山青少年の家

## 潮江中防災プロジェクトチーム

～防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献～

校区の高齢者宅や幼稚園、地域の集会所等にガラス飛散防止フィルムを貼る活動や、避難所カルタ作成など、地域貢献型の防災活動に取り組んでいます。9月29日(日)に、孕西町公民館へ防災フィルムを貼る活動を行いました。作業には、公民館周辺の町内の方も参加し、メンバーからフィルム貼りの手ほどきを受けながら、早速自宅やってみると話をされていました。今後必要があれば、メンバーが出向き、フィルム貼りの方法を伝えていく予定です。



よく濡らすのが糊に貼るポイントです!

### 今後の予定

- ◆ 防災カルタの作成... メンバーが考えた標語をもとに、カルタを製作中。完成後は、校区内の保育園や小学校へ出向き、一緒に遊びながら避難生活や津波避難ビルについて伝えていきたいと考えています。  
● 日程：11月～(カルタは10月中旬に完成予定)

# 平成25年度助成団体の活動報告

## 太平洋学園コミュニティ協力隊

～学校と町内の皆さんとの交流を図り、より安心して楽しく暮らせるまち  
“ハッピーコミュニティ”づくりを推進するボランティアプロジェクト～



12月13日(金)に、日頃から自分たちが清掃活動を行う栄田西公園で、PTAから寄贈してもらったモミの木等に飾りつけたイルミネーションの点灯式を行いました。式には地域の子どもたちも参加し、点灯前のカウントダウンを一緒に行いました。また、1月8日(水)には地域の人と一緒に、起震車を呼んでの防災学習を行いました。2月中には、防災マップが完成します。



## 高知市立愛宕中学校生徒会

～愛宕商店街活性化プロジェクト～

12月20日(金)に、「冬」と「商店街にあるもの」を題材に、グループメンバーほか3年生が考えた俳句160枚を、愛宕商店街に飾る作業を行いました。

商店街のお店の軒先や柱など、商店街を行き交う人の目につく高さに針金等を使い、飾りました。また、作業後には気持ちよく年明けを迎えることができるよう、清掃も行いました。

2月末までに、愛宕商店街の案内看板を作成する予定です。



## 高知市立横浜中学校生徒会 「横中ボランティアの会」

～笑顔あふれるまちづくり!!

「Let'sクリーン!!・花華いっぱい!!」大作戦～

11月24日(日)に、自分たちが育てたピオラの花苗約1,200ポットを、校区の皆さんと一緒に、学校前街路樹下に植えました。

早朝の寒さにも負けず、約40名の子どもたちが参加し、苗を傷つけないよう、丁寧に作業を行っていました。2月には、校区小学校のPTAバザーに参加して花苗を売り、その売上金を、来年度の活動資金にあてたいと考えています。

## こじやんと！土佐チル

～「お届けします！笑顔と感動を。」  
出前舞台で地域に楽しい輪を広げるプロジェクト～

12月21日(土)に、「デイサービスセンター介良・なの花」に出向き、メンバーによる歌と演奏、よさこい踊り、マジックを披露する「お楽しみ会」を開催しました。最後には、参加者全員で童謡「ふるさと」を歌い、お年寄りから「またぜひ来てほしい!!」という声が、子どもたちにかけられました。2月16日(日)には、高知市文化プラザがら「ぼーと」において、自分たちのこれまでやってきた活動をじっくり楽しんでもらう「土佐チルフェスティバル」を開催します。台唱や、演劇、ダンス、マジックなど、内容盛りだくさんとする予定です。



## 高知市立旭中学校生徒会 - 防災ASAHIの会 -

～防災、地域をまきこんで、みんなのものにしていこう～

防災マップを作る準備として、12月18日(水)に、高知大学の防災すけっと隊の皆さんを学校に招き、「防災ASAHIの会」メンバーのほか、有志の学生約30名が参加する防災学習会を開催しました。学習会では、「危険な場所とは?安全な場所とは?」についてグループに分かれ、意見交換を行いました。また、1月15日(水)に、実際に学校周辺を大学生と一緒に歩き、危険な箇所の確認などを行いました。このフィールドワークをもとにして、2月中に防災マップを作成します。

## 大津子ども会連合会「クルック・ソングメイツ♪」

～ミュージカルをつくって、見てもらい、みんながながるまちにしよう!!～

ミュージカル「桜咲くころ」の公演に向けて、毎週水曜日に行っている練習のほか、1月11日(土)、12日(日)に地域の人々、客演者等と一緒に強化合宿を行いました。配役も決まり、セリフ暗記や劇中歌の練習と猛特訓中です。

ミュージカル公演は、地域の方に呼びかけ、2月16日(日)に高知市保健福祉センターにて行います。



## 潮江中防災プロジェクトチーム

～防災学習の取り組みと

地域防災への啓発・貢献～

1月16日(木)に、完成した避難所カルタを使い、潮江小学校の放課後児童クラブの子どもたちと一緒に遊びました。

小学生は、メンバーの中学生が読みあげる言葉に集中し、とった札の枚数を競っていました。カルタは100セット作成し、潮江中学校近隣の小学校や保育園に配布していきます。



## フェイスブックを開始しました!

子どもたちが活動する様子や、子どもファンドに関する情報を、いち早く紹介していきます。

高知市役所ホームページのトップ画面にある、こちらのバナーからご覧いただけます。⇒



# こうちどもファンド 平成25年度活動発表会

平成26年3月23日(日)午後1時30分から、高知市南部健康福祉センターにて、平成25年度に助成を受けた団体の活動発表会を開催しました。当日は、発表団体や、子どもたちの活動を応援したいと、高知市子どもまちづくり基金への寄付を寄せてくださった高知黒潮ライオンスクラブ様、高知ライオンスクラブ様など170名の方が、参加してくれました。昨年度に引き続き、活動発表会の参加者に、発表した8団体の中から、「ステキな活動をしている!」と感じた団体へ投票してもらい、得票数が多かった団体順に、『金賞』『銀賞』『銅賞』を決定しました。受賞した団体には、岡崎高知市長から賞状が、こども審査員から表彰楯が授与されました。

## 潮江中防災プロジェクトチーム ～防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献～



【活動内容】地域の公民館や、図書館、保健・福祉拠点施設等へカラス飛散防止フィルムを貼る活動や、遊びながら避難生活や津波避難ビルのことなどを知らせてもらいたいと「避難所カルタ」を100セット作成し、団体の通う学校周辺の小学校や保育園に配布しました。地域貢献型防災活動を行ったとして、第18回防災まちづくり大賞総務大臣賞(全国)6団体が受賞も受賞しています。

【活動を通しての感想】防災学習を通して、沢山のひとと出会い、一緒に学習を深め、繋がることが出来ました。自分たちが大人になって大地震が発生した時、助けることが出来る人になりたいと思います。

## 高知市立旭中学校生徒会～防災ASAHIの会～ ～防災、地域をまきこんで、みんなのものにしていく～



【活動内容】プロの看板業者さんに教えてもらいながら、収容避難場所である旭中学校の案内看板や、高知大学の「防災助っ人隊」に協力してもらいながら、防災マップを作成しました。地域の防災イベントでは、高知大学の岡村教授を招いた講演会を開催し、地域と連携した防災と減災の環境整備を目指して活動しました。

【活動を通しての感想】今回の活動を通して、自分たちが一生懸命に頑張れば、地域の方も一緒に活動してくれることが分かりました。地域の方から、来年もぜひ活動して欲しいと言われ、励まされました。今回の活動の反省を生かしながら、人と人を繋ぐことが出来るよう、活動していきたいと思っています。

### 銀賞

## 大津子ども会連合会「クルック・パンクメイツ」 ～ミュージカルをつくって、見てもらい みんなががっつかるまちにしよう～



【活動内容】震災以後、普段からの人と人とのつながりが大切と感じ、その思いをミュージカルにして披露しました。ミュージカルを観てもらうことで、震災のことを忘れない、意識してもらえようという効果があったと考えています。

【活動を通しての感想】大津地区を越えて、沢山のひとに観に来てもらえました。上演するまで色々なことがありましたが、沢山のひとたちに支えられ、自分たちの願いを、多くのひとに伝えることが出来ました。

### 金賞

## 高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティアの会」 笑顔あふれるまちづくり～「Let's go!」花巻いっぱい!!大作戦～



【活動内容】「まちをきれいに!」「中学生の力で地域を活気づける!」大人になってもまちづくりに参加する!を目標に、地域の清掃活動や、自分たちが育てた花苗を、学校周辺の街路樹下や、校区の保育園、公民館、福祉施設等の14箇所に植える活動を行いました。

【活動を通しての感想】地域の一員として、なくてはならない存在になることを目指していきます。自分たちが大人になって、地域の行事やイベントに参加し、より良いまちづくりに貢献したいと思っています。

## こじゅんと!土佐千ル 「お困りします!笑顔と感動を」～出前舞台で地域 に笑顔の輪を広げるプロジェクト～



【活動内容】沢山のひとに笑顔になってもらいたいと、保育園や小学校、ティンサーサービスセンターなどに出向き、マジックや踊り、演劇等の舞台を披露しました。

【活動を通しての感想】今後は、①メンバーを増やす、②活動範囲を広げ、もっと色々なところへ出向く、③もっと大きな舞台でやる、④舞台の質を高めるといった目標を掲げて、練習に励み、積極的に活動に取り組んでいきたいと考えています。

### 銅賞

## 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ ～子どもお年寄り仲良く元気がまちづくり～



【活動内容】地域の畑で、有機無農薬の野菜づくりを行い、収穫した野菜を、自分たちの遊ぶ公園を清掃してくれている老人クラブの方にプレゼントしたり、食事を開いて交流を図りました。

【活動を通しての感想】

地域に住むお年寄りとの交流ができ、お互いの顔や名前を知ることと、前よりもっと支えあい、助け合う気持ちが強くなりました。今後は、一人暮らしのお年寄りの訪問や、施設の訪問も考えていきたいと思っています。

## 高知市立愛宕中学校生徒会 ～愛宕商店街活性化プロジェクト～



【活動内容】愛宕商店街の活性化を目的に、夏は、風鈴と朝顔の造花、商店街への応援メッセージを短冊に書いたものを、冬は、「冬」と「商店街にあるもの」を題材にした俳句の紙を、商店街のアーケードに飾りました。

【活動を通しての感想】学校近くにあるのに、自分たちが、商店街のことをあまり知らないことに気づきました。活動を進めていく中で、自分たちの街を意識して良くしていくという気持ちをも、強く持つようになりました。

## 太平洋学園コミュニティ協力隊

～学校と町内の皆さんの交流を思い、お陰で楽しく暮らせるまち「ハッピーコミュニティ」づくりを推進するボランティアプロジェクト～

【活動内容】防災マップの作成や地域の子ども・高齢者との交流活動、町内環境美化活動などに取り組みました。

【活動を通しての感想】活動を進める中で、グループの認知度が上がってきたことを感じました。地域の方との交流を深めることが出来たと感じています。

参加者全員で  
集合写真をとり  
ました。





# 「こども審査員」の交流会を開催しました

第1期から第3期までの「こども審査員」が集まる交流会を、5月11日(日)に開催し、小学3年生から高校3年生まで、計18名の子どもたちが集まりました。

交流会では、向かいあって座った二人が、お互いの似顔絵を書いて、相手を紹介する他己紹介を行いました。グループ討論では、新しく就任した審査員が審査をするうえで分からないことを、経験者は、審査をする時に大切と思ったことについて、互いに意見を話し合いました。グループ討議や、その後の発表も、低学年を高学年の子どもたちが上手にフォローし、終始、和気あいあいとした雰囲気となりました。いつか「こども審査員」経験者で同窓会を開けたらいいな♪少し先の話ですが、そんな考えも出てくる、楽しい時間となりました。

## STEP 1 はじまりのごあいさつ



卯月審査委員長の開会あいさつで、こども審査員が集まる交流会がいよいよスタートです。

「こうちこどもファンド」は、子どもたちの想いをカタチにする制度として、平成24年度に始まり3年目をむかえました。

こども審査員の経験者や新たに就任されることになった皆さんから、色んな意見をもらうことで、より良くしていきたい、みんな一緒に、「こうちこどもファンド」という制度を育てていきたいこと等、今回、はじめて交流会を開催することとなった目的についてお話しいただきました。

参加者みんなが仲良くなるのに、時間はかかりません

ハイハイ



ガヤガヤ



## STEP 2 二人組でペアをつくり、相手の似顔絵を描きます



向かい合って座った二人がペアになり、3分ほどで、お互いの似顔絵を描きます。ルールは、相手に対してはモデルとして最高の笑顔を見せながら、一方で絵師として手元を見ずに相手の似顔絵を描くこと。ここで大切なことは、絵が上手、下手ではありません。ステキな表情をひきだしながら、味のある似顔絵を描くことなのです。

## STEP 3 お互いのインタビュー



お互いのインタビューでは、キラキラした目で相手をつみつめ、とびっきりの笑顔を見せてお話しが来ていました。ちなみに、インタビューの項目は、「得意な教科・得意なことは？」「好きな食べ物は？」「好きな本や音楽は？」「審査員になってみて、審査員をやってみての今の気持ちなどは？」などです。



## STEP 4 みんなにむけて他己紹介！



インタビューした相手になりきって、聞き取った内容を、他己紹介します。「これ、なんだったっけ？」本人にこそさり確認する場面も。高学年の審査員が、上手にフォローしてあげます。



また、別のペアの他己紹介でも、高学年の審査員に対して信頼のまなざしを向ける小さな審査員の表情が印象的でした。また「最初は緊張するけど馴れたら楽しいよ」「度胸がついたよ」という心強い先輩の声もありました。

## STEP 5 グループごとに話し合い



真剣なまなざしで他の人の意見に耳を傾けたり、頭に手をやりながらじっくり考えこんでいます。年齢問わず、学びあう姿がこちらからで見られました。

## STEP 6 グループで出した内容をみんなに発表



どのグループも、新たに就任したこども審査員からの質問に、先輩たちが答えていくという、Q&A形式で、上手にまどめていました。

「緊張するときはどうすればいいですか？」「審査で迷ってしまったら？」「一番こころに残った企画は？」などなど、沢山の質問が出されていました。

## 【交流会を終えて】

こども審査員の交流会は、今年初めて開催しました。「こどもファンド」制度を開始した平成24年度に「こども審査員」をしてくれた子どもたちの中には、大学生になり県外へ進学した後、審査会の時には様子を見に来てくれている子もいます。「こども審査員」を卒業しても、こういった交流会等を開催することで、ずっとつながっていただけら素敵だなと思います。

交流会で出された新任審査員の質問と、先輩審査員からの回答を集約すると、『こども審査員マニユアル』のようなものが完成するかもかもしれません。来年度以降も同様に、審査員の交流会を開催していきたいと考えています♪



3つのグループ名は『チームコゲヤ』、『さわやかそうかいにこにこグループ』、『松だけグループ』となり、グループで出した内容をとてもわかりやすく楽しく発表していただきました。

# 助成団体 活動紹介

夏休みに入り、子ども達の活動も本格的に始まりました。活動をしているのを見かけたら、「頑張ってるね!」と声をかけてあげてください。皆さまのご支援・ご協力をお願いします。



## 高知市立愛宕中学校生徒会



●7月17日(木)  
愛宕商店街に、メッセージ短冊付きの風鈴を飾りました。  
●今後は、商店街の店主やお客さん、近くのコミュニティ施設の来館者等に呼びかけて書いてもらった「愛」という文字を、商店街に飾るアートイベントや、昨年できなかった商店街のイメージ看板作成などに取り組む予定です。

## NSP(ナンカイサバイバルプロジェクト)おたすけ隊

●7月2日(水)、4日(金)  
校区にある避難場所へ実際に向向き、現況を確認しながら作成した避難場所一覧資料「まわれ 高知」を、小学校や保育園、ふれあいセンター等に配りました。  
●今後は、地域と一緒に行なう防災訓練や桂浜で配布する防災啓発ポスターの作成に取り組む予定です。



## キッズパフォーマーズ“土佐チル”

●7月6日(日)、12日(土)、26日(土)にはダンス班が介護施設や保育園へ、19日(土)にはバンド班が、地域の夏まつりに出向き、舞台を披露しました。  
今後也是要請された場所やイベントに向向き、劇・ダンス・ワジック・演奏を披露しながら、演者を含めた参加者全員での交流を図っていく予定です。



## 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ



●7月初めに野菜の種植えを行い、19日(土)には少量ですが意願のとうもろこしの収穫を行いました。野菜の成長具合をみながら、公園の清掃作業日に合わせて、収穫した野菜を老人クラブの方にプレゼントします。

## 高知市立横浜中学校生徒会 「横中ボランティアの会」



●7月6日(日)  
「第26回瀬戸湾七河川一斉清掃」に参加しました。  
●7月19日(土)  
「第15回新町ふれあいまつり」に参加しました。  
●9月以降は、校区施設・道路脇花壇への花植えにおむけて、花の育苗など準備を行います。

●昨年の活動を続けながら、今年はさらに、一人暮らしのお年寄りや地域の老人ホーム・デイサービスセンターを訪問し、野菜をプレゼントする予定です。

『旭東防災レンジャー』『高知市立介良中学校生徒会』『Food Treasure Hunter in Nannegawa』『横浜小学校めざせ1クレーン地域』も、協力してくれる地域の方と相談しながら、準備を進めております。次号をお楽しみに♪



助成団体の活動は、Facebookでも紹介していきます。高知市役所ホームページのトップ画面にある、こちらのバナーからご覧いただけます。



## ご寄附をありがとうございました

※平成26年4月以降 (50音順)

### 《企業・団体様》

- ★ 一般財団法人高銀地域経済振興財団  
理事長 森下 勝彦 様
- ★ 株式会社四国清掃工業  
代表取締役 尾崎 知宏 様
- ★ 高知県青年読売会  
会長 池田 宣弘 様
- ★ 三菱石油カスタマーサービス株式会社  
代表取締役 中村 治 様
- ★ 読売センター高知長浜  
代表 代表 様
- ★ ほかに1件

### 《個人様》

- ★ 榎原 太一 様

★お断り★  
24、25年度にご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

## 皆様の善意をお寄せください

「うちごとムラポンド」は、この事業にご賛同いただける個人や企業の皆さまからのご寄附によって支えられています。未来のまちづくりを支える子どもたちの想いを、市民・企業など社会全体で応援しませんか。子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。

寄附の手続きは簡単です。下記までお気軽にご連絡ください。手続き等は地域コミュニティ推進課のホームページでもご確認いただけます。また、寄附金については、税制上の優遇措置があります。

【お問い合わせ先】高知市地域コミュニティ推進課  
(TEL/088-823-9080)

【発行元】高知市地域コミュニティ推進課 高知市鷹匠町2丁目1-43 TEL: 088-823-9080

E-mail: kodomofund@city.kochi.lg.jp URL: http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/

### 助成団体の活動を紹介します！



学園祭や音楽会。秋は何かと忙しい子ども達ですが、仲間と協力し合いながら、こどもアソビの活動にも元気に取り組んでいます。今回は、これまでに行われた活動や、今後の予定をご紹介します。10月には、高知市広報番組「未来にはばだけ！こうちびもアソビ」(RKC高知放送)において、活動に取り組む子どもたちの様子が放映されました。視聴者の方から、今後の子どもたちの活動の様子をもっと見たい！という嬉しい感想をいただきました。今後も、子どもたちの活動の様子は、facebookや地域コミュニティ推進課のホームページにて、随時お知らせしていきます！子どもたちの応援を、引き続きお願いします！

### キッズピアノコース“土佐チル” ～とどけます 笑顔と感動 交流で～

演奏、劇、ダンス、マジックの4演目を、小学校のバザーや、保育園、幼稚園、高齢者福祉施設など、出演依頼を受けた先に出向き、披露しています。ダンス班「ハッピーダンスカイ」は、今年、50ステップを目標に、精力的に公演中です。プロのマジシャンに指導してもらっているマジック班「マジック7」のマジックは本格的で、どの現場でも大好評！劇班「土佐チル座」の脚本も、子どもたちのオリジナルで、独創性の溢れる内容になっています。新聞でも取り上げられ、注目度UP！の「土佐チル」さん。出前舞台の依頼を絶賛受付中です。



#### 今後の予定

- 地域の保育園・小学校で舞台披露 (ダンス・マジック班)
- 日程：11/29(土)
- 場所：秦中央保育園、江戸小学校

#### ❖10-カーズの刈草刈りに参加

- (ダンス・マジック班)
- 日程：12/23(火)
- 場所：ひるめ市場
- 高知市子ども劇場NPOLIC
- 10周年記念演奏会に出演
- 日程：平成27年 2/22(日)
- 場所：春野ピラスター

### 旭東防災レクチャー ～みんなでお年寄りの命を守るレクチャー！～



随時でも光る避難所誘導看板の設置場所を検討するため、9月・10月と、実際にまちを歩いてみました。途中、お年寄りにお弁当宅配サービスを実施している事業所へ立ち寄り、地域の中で、独居高齢者が多いエリアの情報等について、教えてもらいました。

看板のイラスト案を、メンバーそれぞれが持ち寄りの話し合いしました。



看板の設置場所を校の辺り込むため、看板見本を持って、現地確認。避難する人に分かりやすい設置場所はどこか、意見を出し合いました。

#### 今後の予定

12月に看板設置予定。以後は、設置を知らせるチラシやポスターを作り、近隣のスーパーで配布や、町内会掲示板を使って、周知を図ります。



## 高知市立横浜中学校生徒会「横中ポランティアの会」

地域のイベント参加や、清掃ポランティア、学校周辺・地域の施設に、自分たちが育てた花を植え、まちを花いっぱいにしたいと活動しています。10月下旬に、「花いっぱい大作戦PartⅡ」に向けて、ポット苗の植え替え作業を行いました。

11月下旬には、横浜小学校や地域のひとと一緒に、自然学習林の清掃にも参加しました。

### 今後の予定

11月末から1月にかけて、学校前にある街路樹下の道路脇花壇や校区内の福祉施設等へ自分たちが育てた花苗を植える作業を行います。来年2月には、次年度の活動資金を得るため、校区小学校のPTAバザーで花苗販売も行う予定です。



## 笑顔あふれるまちづくり!!

### Let'sクリーン花華いっぱい大作戦Ⅲ



大きく  
なあれ♪

## 高知市立愛宕中学校生徒会

### ～愛宕商店街活性化プロジェクト～

『愛ヒラヒラ』アートイベントの実施方法について、子どもファンドアドバイザーと一緒に、メンバーみんなで話し合いました。



校区にある愛宕商店街活性化を目的に、活動しています。12月に、愛宕商店街の店主やお客さん、近くにある江ノロコミュニティセンターの来館者等と呼びかけ書いてもらった「愛」という文字を、商店街に飾るアートイベント『愛ヒラヒラ』を実施するべく、準備を進めています。愛宕商店街にお越しの際は、ぜひイベントにご参加を！皆さんの『商店街愛』を、文字で自由に表現しましょう♪

### 今後の予定

12月に、アートイベント「愛ヒラヒラ」、商店街へのメッセージ俳句展示を実施する予定です。昨年度に取組めたかった、商店街のイメージ看板も作成する予定です。

## 横浜小学校めざせ！クリーン地域

### 「自然学習林一斉清掃」「めざせ！クリーン地域」

一斉清掃実施前に、小学生ポランティアの参加者を増やすためにどうすれば良いのか、メンバーで話し合いました。



自分たちの住んでいる地域を綺麗にしたいと、活動に取り組んでいます。横浜小学校の裏手にある自然学習林の清掃を11/22(土)に実施しました。当日は、横浜中学校生徒会メンバーや、地域の多くの方が参加してくれました。

### 今後の予定

12月に、校区周辺の清掃活動を行う予定です。

## NSPおたすけ隊 ～まもれ、高知 みずから生命をまもり、我らの地域を救うNankai Survival Project～

地域のひとと連携しながら、防災啓発活動に積極的に取り組んでいます。これまでに、地域の防災課題を提示した広報紙「NSP通信」や校区避難場所一覧を作成しました。

校区避難場所一覧は、保小中の全ての保護者、地域自主防災組織および地域住民に配布し、自宅から直近の避難場所への津波避難訓練も、併せて行っています。

11/1(土)には、メンバーの他、有志の生徒合計20名が参加し、桂浜を訪れた観光客に対し、桂浜周辺の案内図や南海大地震が発生した際の避難の仕方等を記載したチラシを配布しました。

お土産店にもチラシを持参し、店内に貼ってもらえるよう、お願いもしています。

### 今後の予定

地域の自主防災の会やまちづくりの会に参加し、自分たちの活動報告や来年度の取組み内容について助言をもらいたいと考えています。



積極的に  
声かけを  
行ないました！



## Food Treasure Hunter In Namegawa! ～行川の「食」宝物探し!!～

生妻も天ぷらにすると  
全然辛いから  
不思議!  
蒸し羊羹も新・食・感♪  
でした。



自分たちの中学校がある行川地域の伝統料理の発掘と周知、地域の方との交流を目的に、食のカタログ作りに取り組んでいます。  
8月末に地域の川崎さん宅へ伺い、蒸し羊羹と、特産の生妻を使った天ぷらの作り方を教わりました。10/11(土)には、6月に植えていた田んぼの稲刈りを、小学校・中学校、地域のひとに呼びかけ、行いました。当日は、約60名もの方が参加してくれました。

### 今後の予定

- 料理の写真収集、カタログ製作
- 日程：平成26年11月～平成27年1月
- 地域のひとと食事会(のタログお披露目)
- 日程：平成27年2月予定

## 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ

こどもからお年よりまで仲よく元気なまちづくり  
～とどけよう笑顔と元気・ひろめよう仲よしの“わ”～

野菜作りをしながら地域のなかで仲間作りをし、収穫した野菜は、近所の公園を清掃してくれている老人クラブの方や、一人暮らしのお年寄りを訪問してプレゼントしたり、食事で一緒に食べるなど、地域のお年寄りと交流を深める活動をしています。

10/5(日)には、収穫したお芋を使ったスイーツを、プロのパティシエに教わりながら作り、それを老人クラブの方と一緒に味わう交流会を開催しました。交流会では、子どもたちが趣向を凝らしたダンスやマジックも披露され、招かれたお年寄りたちからは、終始笑い声があがる、楽しいひと時となりました。

また、10/17(金) かるぼーとで開催された第54回高知市社会福祉大会において、福祉の視点からまちづくりを進める先進的事例として、瀬戸東町1・2丁目元気キッズの活動を大人サポーターが発表しています。



### 今後の予定

- 冬野菜の収穫、地域の老人ホーム、デイサービス訪問...
- 日程：平成27年1月～

### 今後の予定

- 史跡めぐりハイキング...
- 日程：平成27年2月8日(日)

# 平成26年度助成団体の活動報告

## 旭東防災レンジャー

～みんなでお年寄りの命を守るんジャー！～



2月21日(土)に、避難所誘導看板の設置作業を行いました。設置した看板は5枚。看板には子どもたちが描いた絵が掲載され、避難所までの時間も「3分」や「5分」といった具体的な数字から、「すぐそこ」といった子どもたちならではの感覚で表現された、誰が見ても分かりやすい内容で作成されています。

当日の作業は、看板を抑えるといった子どもたちにも出来る範囲で、業者の方のお手伝いをしていました。今後は、周辺町内会の方に看板設置についてお知らせするチラシを配布する等、周知を図っていく予定です。

今回設置した場所以外の町内会から、自分たちのも誘導看板を設置して欲しいという相談もきています。来年度は看板の設置場所を増やしていくとともに、夜間に行う避難訓練にも取り組みたいと考えています。

## 高知市立愛宕中学校生徒会

～愛宕商店街活性化プロジェクト～

2月25日(水) 放課後、花を植えたプランター60ケースを、愛宕商店街へ飾りに行きました。商店街を賑やかにしたいという目的のもと、夏は風鈴、年末は近隣にあるコミュニティセンターの利用者や職員の皆さん、商店街の店主やお客様さんに、「愛」という文字を色紙に書いてもらい、商店街へ飾って頂きましたが、今回は花を飾ることで、春の近付きを感じてもらいたいと考えています。



## 高知市立介良中学校生徒会

～やるじゃん！介良の史跡をみんなに知ってもらおうプロジェクト Part2～

自分たちの地域にある史跡や戦跡を広くみんなに知ってもらいたいと、案内板・表示板の整備に取り組んでいた介良中学校生徒会ですが、整備完了に伴い、2月8日(日)、地域の人たちと一緒に史跡めぐりハイキングを実施しました。

当日は、近隣の小学校に通う子どもたちなど、約60名の方が参加。介良の歴史を知り、地域との親しみを深めてもらいました。

## キッズパフォーマー マーズ “土佐チル”

～とどけます 笑顔と感動 交流で～

2月22日(日)、要法寺会館で開催された高知市子ども劇場のNPO法人化10周年記念イベントに、土佐チル「バンド班」「ダンス班」「劇班」「マジック班」全ての班が出演しました。

ダンス班「ハッピースカイ」は今年度50ステージを目標に活動していましたが、当イベントで49ステージを迎えたそうです！

記念すべき50ステージ目のお披露目を、市長や子どもファンドへの寄付者、関係者の方々をお招きし、3月15日(日)19時から、江ノロコミュニティセンターで開催する予定です。



## Food Treasure Hunter In Namegawa

～行川の「食」宝物探し！～

2月8日(日)、行川公民館において、地域の4名の方それぞれに、得意料理を持ち寄っていただき、作り方を教えてもらった後、みんなで一緒に食べるという食事を開きました。

美味しく食べてもらいたいという気持ちのこもった料理は、どれも手間隙のかかったもので、とても美味しく、参加者からは、早速家でも作ってみたいという声があがっていました。また、メンバーが初めて目にしたという料理もありました。

今回は、地域の方が料理を作り持ち寄ってくれましたが、3月には、メンバーの子どもたち自身が、教えてもらったレシピ通りに調理し、地域の方に食べてもらう「おもてなしの会」を開催したいと考えています。

## 平成27年度子どもファンド助成事業応募に関する事前説明会を開催します。

事前説明会では、「こうちこどもファンドってどんなもの?」「どんな活動が対象になるの?」といった疑問にお答えするほか、応募申請書の書き方などについてもご説明します。応募を考えているグループの方はもちろん、少しでも「こうちこどもファンド」に興味を持たれた方は、ぜひご参加ください！

### 【開催日時】

- ① 4月 5日(日) 午前10時00分から
- ② 4月12日(日) 午前10時00分から

※2回とも内容は同じ(1時間程度)ですので、いずれかにご参加ください。

### 【開催場所】

高知市市民活動サポートセンター大会議室  
(高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階)

### 【申し込み】

事前申込制(※当日申込不可)

※参加ご希望の方は3日前(木曜日)までに高知市地域コミュニティ推進課(TEL:823-9080)までご連絡ください。



# こうちこどもファンド活動発表会

平成27年3月22日(日)13時30分から、高知市南部健康福祉センター2階大ホールにて、平成26年度に助成を受けた団体の活動発表会を開催しました。  
当日は発表団体を含め、約180名の参加者が、活動を終え一回り成長した子どもたちの発表に、感心しながら聞き入っていました。

## 高知市立愛宕中学校生徒会

～愛宕商店街活性化プロジェクト～



商店街を賑やかにしたいと、夏は風鈴、年末は商店街の店主やお客さん、地域の方、近隣の幼稚園児達に「愛」という文字を色紙に書いてもらい、商店街に飾りました。また、自分たちの取組みをもっと多くの方知ってもらうため、活動写真を掲載したカレンダーを作り、地域へ配りました。

活動へ期待する声も、商店街や地域の方から寄せられているそう、活動の幅をもっと広げていきたいと考えています。

## NSP (ナカイザバ イバプロジェクト) おたすけ隊

～まもれ、高知 自らの生命をまもり、我らの地域を救う Nankai Survival Project ～



地域の人と連携しながら、防災啓発活動に積極的に取り組んでいます。

地域の防災課題を提示した広報紙「NSP通信」や校区避難場所一覧を作成しました。校区避難場所一覧は、保小中の全ての保護者、地域自主防災組織および地域住民に配布し、自宅から直近の避難場所への津波避難訓練も、併せて行いました。

## 高知市立介良中学校生徒会

～やるじゃん！介良の史跡をみんなに知ってもらおう プロジェクト Part2～



自分たちの地域にある史跡や戦跡を多くの人に知ってもらいたいと、案内板・表示板の整備に取り組みました。また、整備完了後は、地域の人たちと一緒に史跡めぐりハイキングを実施しました。

教科書では学ぶことが出来ない地域の身近な歴史に触れることが出来たこと、また、ハイキングに参加してくれた人たちの笑顔に、メンバー皆が達成感を感じたようです。

## 瀬戸東町1・2丁目元気キッズ

～こどもからお年よりまで仲良く元気なまちづくり ～とどけよう笑顔と元気・ひろめよう仲良しの“わ”～



野菜作りをしながら地域のなかで仲間作りをし、収穫した野菜は、近所の公園を清掃してくれている老人クラブの方や、一人暮らしのお年寄りを訪問してプレゼントしたり、食事で一緒に食べるなど、地域のお年寄りと交流を深めました。活動も2年目となり、地域の人と顔見知りになって、お互いが声をかけあえる関係になってきています。地域イベントにも積極的に参加しています。

## 横浜小学校 めざせ！クリーン地域

～「自然学習林一斉清掃」「めざせ！クリーン地域」～



自分たちの住んでいる地域を綺麗にしたいと、横浜小学校の裏手にある自然学習林の清掃に取り組みました。

清掃当日は、横浜中学校生徒会や、地域の多くの方が参加してくれたそうです。地域の方と一緒に清掃活動をするこゝとで、地域との団結力や結びつきが強くなったように感じたと発表していました。

## キッズパフォーマーズ “土佐チル”

～とどけます 笑顔と感動 交流で～



ダンス班、劇班、バンド班、マジック班に分かれて出張舞台を行いました。なかでも、ダンス班「ハッピースカイ」は、50ステージを達成したそうです。美演している人、観ている人の両方が楽しむステージを行い、沢山の笑顔と出会い、交流することが出来たそうです。メンバーは、住んでいる地域や学校もバラバラですが、絆を大切にしながら、活動を続けていきたいと考えています。

## Food Treasure Hunter In Namegawa

～行川の『食』宝物探し！！～



地域の方に郷土料理を教えてもらい、その作り方や料理の写真を掲載した「レシピ集」を作成しました。また、田植えや稲刈り、料理を教えてもらった地域の方たちを中心に招き、メンバーの子どもたちが教えてもらった郷土料理を作って食べてもらう「おもてなしの会」も開催しました。今後は、もっと紹介するレシピを増やし、実際に料理も提供できる機会を増やしたいと考えています。

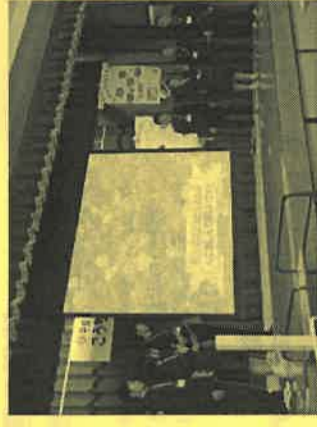
## 旭東防災レンジャー

～みんなでお年寄りの命を守るんジャー！～



太陽光や電灯の灯りを蓄光し、暗闇の中でも一定時間光る避難所誘導看板を5枚作成し設置しました。「自分の地区にも看板を設置して欲しい」という声も寄せられているそうです。次年度は、看板の設置場所を増やしていくとともに、夜間に行う避難訓練にも取り組みたいと考えています。

## 高知市立横浜中学校生徒会 「横中ポラントニアの会」



地域のイベント参加や、清掃ボランティア、学校周辺・地域の施設に、自分たちが育てた花を植え、まちを花いっぱいにしたいたいと、花苗を植える活動に参加しました。地域のイベントや活動に参加することで、地域の方達との繋がりが深まったと感じたようです。

大人になっても、地域活動へ積極的に参加し、より良いまちづくりに貢献したいと考えています。

参加団体や会場にいられた皆さんの投票で選ぶ「ベストパフォーマンス賞」や、審査員が選ぶ「ベストパフォーマンス賞」、「ベストピカッと賞」、「ベストこどもファンド賞」それぞれについて、表彰を行いました！

●**ベストパフォーマンス賞**：活動内容や本日のプレゼンテーションが一番よかったというグループ

●**ベストピカッと賞**：多くの人のためになる、喜んでもらえる活動をしたと思うグループ

●**ベストピカッと賞**：活動の進め方や活動内容について、工夫や面白さが感じられたグループ

●**ベストこどもファンド賞**：活動発表会でのプレゼンテーション、活動内容などすべてあわせて一番よかったと思うグループ

【ベストパフォーマンス賞】



キッズパフォーマーズ土佐チル

【ベストピカッと賞】



高知市立愛宕中学校生徒会

【ベストピカッと賞】



Food Treasure Hunter In Namegawa

【ベストこどもファンド賞】



高知市立介良中学校生徒会



### 速報

## プラチナ大賞にて審査委員特別賞を受賞しました

豊かで光り輝く社会を目指して、地域の課題解決や新たな可能性の創造に取り組んでいる自治体や企業などを称える、プラチナ構想ネットワーク主催（総務省，経済産業省等後援）の「第3回プラチナ大賞」に「こうちぎもプラネット」を応募したところ、一次審査の書類審査を通過し、10月23日(金)に開催された最終審査発表会の結果、「審査委員特別賞」を受賞しました。

助成団体の皆さんや審査員の皆さん、応援してくれる方々など、これまで子どもファンドに携わってくださった皆様のおかげです。

今後、事務局としても「こうちぎもプラネット」がさらに使いやすい制度として、発展していくよう努力します。

(参考) プラチナ大賞HP <http://www.platinum-network.jp/pt-taishou/ceremony.html>



## 助成団体の活動を紹介します！

2月末までの活動期間も中盤に差しかかり、助成団体の活動が活発化しています。今号では、各グループがこれまでに行った活動や、今後の活動予定などを紹介します。

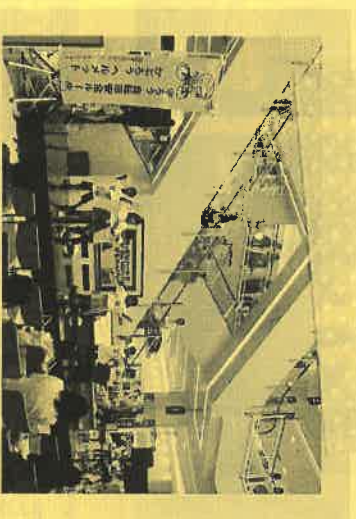
実際に子どもたちが活動している様子を見かけたら、「頑張ってるね！」「ありがとう」など、ぜひ声をかけてあげてください。

今後も、子どもたちの活動の様子は、Facebookでも随時お知らせしていきます♪ 子どもたちの応援を、引き続きお願いします！

## APA(あったかイベント)で安心・安全プロジェクト(Asahi)守るんジャー



8月、高知警察署の方に、旭小学校へ来てもらい、自転車のルールをはじめとした交通ルールについて教えてもらいました。



10月18日(日)イオンモールで開催された高知県安全安心まちづくり推進会議が主催する「安全安心まちづくりひろば」に出演。交通安全に関するクイズと創作ダンスの披露を行いました。会場から自然と拍手子が沸き起こっていました。

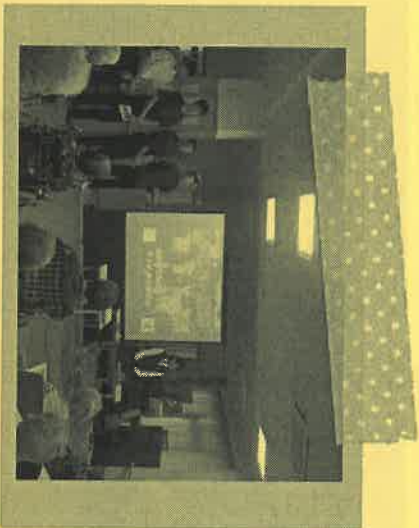
## 今後の予定

安全かるた作りや、12月のきららフェスティバルでダンスを披露する予定です。

# 平成27年度助成団体の活動報告

## NSP(サンカイザハババルプロジェクト)おたすH隊

11月14日(土)、地域の施設を訪問して防災のプレゼンと自作のお芝居である「にわか」の披露をしました。



## 高知南高校QOLの会

1月8日(金)、こどもファンドバイザーを交えて話し合いをし、この活動をどのようにまとめるかを皆で考え、その後福祉の分野に詳しい人たちに話を聞く機会を持ちました。



## Facebookもよろしくお願ひます!

「こうちこどもファンド」は、SNS(ソーシャルネットワークサービス)のFacebookを活用して、助成団体の活動報告等、こうちこどもファンドに関する情報提供をしています。

ぜひ、「こうちこどもファンド」のFacebookをチェックして、「いいね!」をお願いします。

高知市役所ホームページのトップ画面にある、



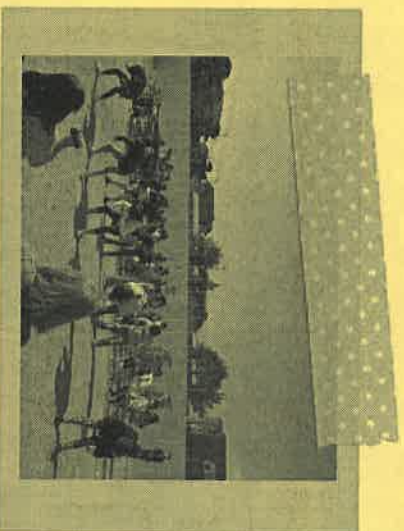
## 一宮家おもてなし隊

12月24日(木)、一宮中学校近くの神母ノ木公園の清掃を、地域の方と行いました。事前に告知のポスターも作成し町内会の掲示板に貼り、周知しました。



## APA(あたかハートで安心・安全プロジェクトAsahi)守るんジャー

12月13日(日)、旭小学校のPTA行事の大きなイベントである「第12回きららフェスティバル」のオーブニングで、APA守るんジャーが創作ダンスで交通安全を呼びかけました。ダンスの最後には、ヘルメットを被って、自転車に乗るときヘルメット着用を訴えました。



## Food Treasure Hunter in Namegawa!

2年目の活動の締めくくりとして、パークアップしたカタログの製本に向けて、順調に活動中!





## こどもファンドで活動や、こども審査員をやってみませんか？

子どもたちが、自分たちのアイデアでより魅力的なまちを目指して行う活動を応援する「こうちこどもファンド」。  
より良いまちづくりを、子どもたちが考え提案し、子どもたちが審査もしています。自分たちのまちが住みやすくなるように考え、活動する経験は、楽しいことや勉強になることがたくさんあります。「少し興味がある」「何かやってみたい」「審査員をしたい」などのご相談を随時承っています。  
来年度に向けて、今から何か考えてみませんか。

ぜひ、お気軽に地域コミュニティ推進課にご連絡ください。

【お問い合わせ先】高知市地域コミュニティ推進課  
(TEL/088-823-9080)



## こどもファンドアドバイザーをご活用ください！

こどもファンドアドバイザーの活用は、大きく分けて3段階あります。  
1つ目は、ファンドへの応募を考えた時、どんなことをしたらいいかな？何から始めれば？といった相談に対し、一緒に考えを整理するサポート。  
2つ目は、応募した後、公開審査会において、どんな風にみんなの前で発表したら良いかを検討する際のサポート。  
3つ目は、実際に助成を受けて活動に取り組む中で、いろいろな悩みが出てきた際に、どうしたら良いか考える時のサポートを行います。  
助成グループの皆さんがサポートを希望する場合はもちろん、「来年度はこうちこどもファンドに応募してみたいなあ」と考えている方もお気軽に地域コミュニティ推進課にご連絡ください。



こどもファンド  
アドバイザー  
畠中 洋行さん



派遣費用は無料です。ご希望の場所に向きますので、積極的にアドバイザーをご活用ください！

## ご寄附をありがとうございました☆

- 《企業・団体 様》 ※平成28年4月1日以降 (50音順)  
★三愛石油カスターサービス株式会社 代表取締役 八田 聡子様  
★株式会社 四国清掃工業 代表取締役 森国 勇 様  
★有株式会社 大石電機 様  
大石 典明 様
- 《個人 様》  
★久川 憲四郎 様
- ★お断り★  
昨年度までにご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

## Facebookもよろしくお願ひします！

たびたびこちらの紙面でもご紹介していますが、「こうちこどもファンド」は、SNS（ソーシャルネットワークサービス）のFacebookを活用して、助成団体の活動報告等、こうちこどもファンドに関する情報提供をしています。ぜひ、「こうちこどもファンド」のFacebookをチェックして、「いいね！」をお願いします。

高知市役所ホームページのトップ画面にある、こちらのバナーからご覧いただけます。



## 皆様の善意をお寄せください

「こうちこどもファンド」は、この事業にご賛同いただける個人や企業の皆さまからのご寄附によって支えられています。未来のまちづくりを支える子どもたちの想いを、市民・企業など社会全体で応援しませんか。子どもたちへの応援の気持ちも、ぜひ寄附としてお寄せください。

寄附の手続きは簡単です。下記までお気軽にご連絡ください。手続き等は地域コミュニティ推進課のホームページでもご確認いただけます。

【お問い合わせ先】高知市地域コミュニティ推進課  
(TEL/088-823-9080)

【発行元】  
高知市地域コミュニティ推進課  
高知市鷹匠町2丁目1-43  
TEL：088-823-9080

E-mail：kodomofund@city.kochi.lg.jp  
URL：http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/

# こうちこどもファンド通信

第20号  
(平成28年11月)

編集・発行：高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/823-9080)

## 助成団体の活動を紹介します！

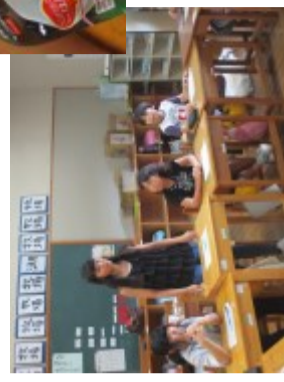
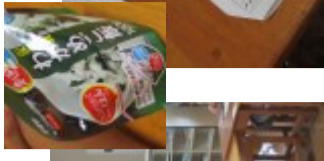
2月末までの活動期間も中盤に差しかかり、それぞれ活動を進めています。今号では10月までの助成団体の活動を紹介いたします。

実際に子どもたちが活動している様子を見かけたら、「頑張ってるね！」「ありがとう」など、ぜひ声をかけてあげてください。今後も、子どもたちの活動の様子は、Facebookでも随時お知らせしていきます♪ 子どもたちの応援を、引き続きお願いします！

## 高知市立久重小学校6年生



国際料理交流会担当 チーム「フレンドリー・レストラン」と防災食品担当チーム「ロングライフ」の2チームに別れて企画し、活動を進めています。



チーム「フレンドリーレストラン」では、8月にイングリッシュキャンプを開催しました。地域の外国人の方に学校に来てもらい、アメリカンスタイルの食文化を体験したり、英語を使って交流をしたりしました。今後は、市内の外国人たちを学校に呼んで、国際料理交流会を行います。

チーム「ロングライフ」では、防災食品はどんなものがあるか学習し、試食した後、学校に保存するものを決めます。11月には、全校生徒と地域の人も呼んで地域に保存する食品を決める防災試食会を開催します。

## 一宮家おもてなし隊



7月に防災についての学習、8月に防災グッズ（簡易トイレ）の作成、地域の夏祭りの参加、9月には高齢者施設の敬老会で歌の披露と、施設の方との交流を行いました。防災グッズは、今後にも作成し、保管できるように計画中です。そのほか、小学校などで朝、あいさつ運動を行っています。今後は清掃活動なども行う予定です。





# 平成28年度活動報告

## 高知市立久重小学校6年生

～国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう～



国際交流文化祭と防災食品試食会を、全校生徒や地域の方達も呼びかけて開催しました。

国際料理文化祭では、3人の外国人の方に来てもらいました。ブースで文化の話や、食品の紹介などをしてもらいました。参加者の小学生は、英語も使って交流もしました。

防災食品試食会では、8つの防災食品をみんなで試食して、投票で4つに絞って学校に保存します。どれがおいしいか、食べやすいかを考えて投票しました。

その他、炊き出し訓練では、竹でご飯を炊く学習をしました。

## おおつつ子

～地域へと 笑顔をつなげ おおつつ子～



家庭などで出たアルミ缶を回収し、それを現金に換えて、地域に贈呈品を贈る活動をしています。今まで1つの量販店と大津中学校に置いていた回収ボックスを、大津ふれあいセンターや、大津小学校にも設置し、活動を広げています。集まったお金で地域に何を届けるか検討中です。

その他、地域で清掃活動やイベントの参加も行い、地域との繋がりを作っています。

## チーム龍馬

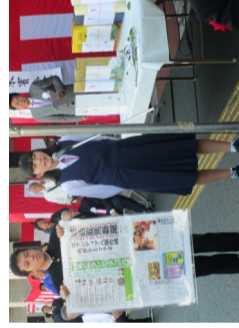
～城西龍馬新聞 ボランティア特集～



龍馬のボランティアへの八策、城西龍馬新聞ボランティア特集を作成し、地域や学校へ配布しました。

ボランティア八策は、8月4日に、横浜中学校の横中ボランティアの会のリーダー・宿泊研修会に参加し、作成しました。横中ボランティアの会は平成24年度からこどもファンドで活動し、今も活動続けている団体です。

城西龍馬新聞は、ボランティアについての特集号を作成し、地域や学校へ配布しました。また、11月15日の坂本龍馬の誕生日で、活動の発表を行いました。

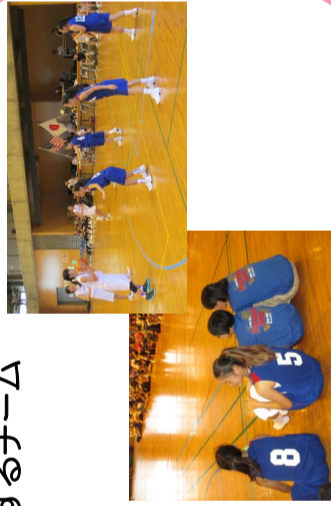


## ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

～高知ーLA四世 バスケットボール交流～

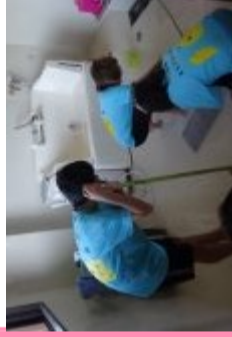
7月末に、LA四世のバスケットボールチームをホームステイで招き、交流試合や文化体験を行いました。横浜中学校、西部中学校、青柳中学校、城北中学校とが参加し、交流試合を行い、Tシャツなどの記念品の交換をしました。また、よさこい踊りや書道、琴などの文化体験もしてもらい、交流を深めました。

交流が終わった後、アンケートを集約して報告書を作り、各校などへ配布しました。



## 一宮家おもてなし隊

～一宮家はひとつの大家族やき!!～



地域との交流を深めるために、あいさつ運動や地域のお祭りへの参加、防災学習、高齢者施設で歌を届けたりなどのたくさんの活動を行っています。11月26日には、今まで訪問し交流を深めている高齢者施設「きずなの広場」に出向き、施設の清掃を行いました。

## 潮江中防災プロジェクトチーム

～防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献～

非常持ち出し袋の作成と、防災ブレゼン、防災避難所カルタで地域の方との交流を行ってきました。

1月14日には、地元の昭和南海大地震経験者のお年寄りに、当時の様子を話していただき、防災避難所カルタで交流を行いました。南海大地震の経験者は数少なくなくなってきている現在、当時のことを知らない世代に記憶を引き継いでいきます。

2月7日に今回の聞き取りの内容と、今までの活動内容を全校集会で発表し、全校で情報共有します。



## Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

～まもれ 高知 自らの生命を守り 我らの 地域を救う～

地域の自主防災組織と夏から企画してきた「校区一斉津波避訓練」を11月13日に開催しました。自宅にいるときに南海トラフ大地震が発生したと想定し、地区の避難所に逃げる訓練で、実際に中学生は避難誘導をしたり、各避難所での避難者受付などもしました。その他、地域のお祭りや寸劇「俄にわか」の披露や出展も行い、地域に向いて活動を行っています。

また、防災フォーラムなどで、活動発表などを行い、いろんな場所で活躍しています。龍馬マラソンでは、観光客への防災啓発活動として、NSP通信や防災グッズの配布を行う予定です。



# こうちこどもフアンド活動発表会

平成29年3月19日(日)13時30分から、高知市南部健康福祉センター2階大ホールにて、平成28年度に助成を受けた団体の活動発表会を開催しました。  
当日は発表団体を含め、約70名の参加者が、活動を終え一回り成長した子どもたちの発表に、感心しながら聞き入っていました。

## 高知市立久重小学校 6年生

～国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう～

ロングライフとフレンドリーレストランのチームに別れて、防災と国際交流をテーマに活動してきました。防災食品の中から地域に備蓄する食品を決めるために試食会を開いたり、国際交流をはかるために、市内の外国人を久重地区に招き、各国の食品や文化などを教えもらおう交流会を開催したりしました。試食会では、自分たちでお湯を注いで作り方も紹介しました。また、国際交流会では、自分たちも英語で会話をしながら国際交流を地域に広めました。



## チーム龍馬

～メディアを活用したボランティア活動の発信～



ボランティアのテーマに、横浜中の活動などをもちに、「龍馬のボランティアアハへの八策」、「城西龍馬新聞ボランティア特集号」を作成し、配布しました。新聞には、城西中学校で行っているボランティアや防災訓練の内容、八策の作成過程について書いています。これを龍馬の誕生祭などで配布し、発表を行いました。

## おおつっ子

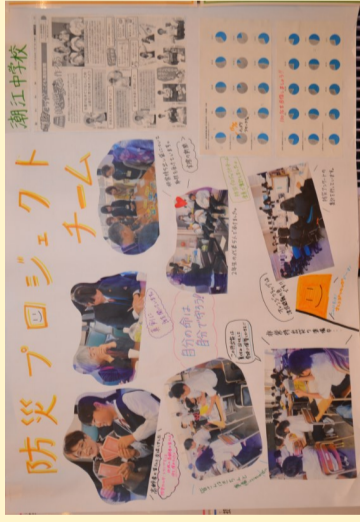
～地域へと笑顔をつなげおおつっ子～



地域にアルミ缶回収BOXを設置し、集めたアルミ缶をお金に交換して、地域のグループホームに車イスを寄贈しました。その他、Tシャツを作成し、地域のお祭りの参加、炊き出し訓練を企画し、活動をPRしました。発表のプレゼンテーションが評価され、「ベストパフォーマー賞」を受賞しました。

## 潮江中防災プロジェクトチーム

～防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献～



非常持出袋の中身の学習や、地域の方への防災アンケート、防災避難所カルタでの交流などを通して、地域の防災意識向上に向けて活動してきました。また、地域の南海大地震体験者に話を聞いた内容や、アンケート集計結果を地域に知らせることで、地域との繋がりを作り、今後訪れる大地震のために備える大切さを伝えてきました。

## Nankai Survival Project(NSP)実行委員会

～まもれ高知、自らの命を 守り 我らの 地域を救う～



活動3年目のグループで助成が今回で最後になります。防災をさらに地域に広める活動を考え、校区一斉避難訓練や防災フェアの企画を行ってきました。さらに、「(にわか)という寸劇に防災を交えて、地域でたくさん披露してきました。この活動や内容や発表に工夫がたくさんあったため、審査員が決めるベストピカッと賞を受賞しました。活動は、助成を終えた次年度以降も継続していく予定です。

## ロサンゼルス日系四世と

バスケットボールを通じて交流するチーム  
～バスケットボールと日本文化を楽しみながら交流する～



ロサンゼルススのバスケットボールチームと試合を行い、ホームステイをして交流を深めました。その他、日本や高知の文化を知ってもらったための文化活動や、記念品交換を行いました。その後メンバーで交流を続け、来年はアメリカカへ行く計画も立てています。

## 一宮家おもてなし隊

～一宮家はひとつの大家族やき!!～ ☆ベストこどもフアンド賞☆



地域との絆を深めるために2年間活動してきました。小学校でのあいさつ運動や高齢者との交流や施設の清掃、地域のお祭りの手伝いなど、たくさん活動してきました。今年度は新たに防災について学習し、簡易トイレ作りや熊本地震の募金活動なども行いました。

## ☆☆審査員と助成団体の交流タイム☆☆

各団体の発表や活動をまとめた模造紙を見て、審査員と団体とで質問や意見交換をしました。会場の皆がはげんに質問や感想を書いて、各団体のボードへ貼っていきます。それを審査員のみんなで発表をしました。



## 最後に全員で記念撮影♪



【ベストパフォーマー マンス賞】  
★おおつっ子★



【ベストピカッと賞】  
★NSP実行委員会★



【ベストこどもフアンド賞】  
★一宮家おもてなし隊★



参加団体や会場に来られた皆さんの投票で選ぶ「ベストパフォーマー賞」や、審査員が選ぶ「ベストピカッと賞」、「ベストこどもフアンド賞」それぞれについて、表彰を行いました!

- ベストパフォーマー賞：活動内容や本日のプレゼンテーションが一番よかったというグループ
- ベストピカッと賞：活動の進め方や活動内容について、工夫や面白さが感じられたグループ
- ベストこどもフアンド賞：活動発表会でのプレゼンテーション、活動内容などすべてあわせて一番よかったと思うグループ

# ☆平成29年度助成団体決定☆

団体名	テーマ	内容	助成金額
1 南海ふれあい応援隊	ふれあいで地域を元気にしよう	ふれあい教室、ふれあい食堂の開催	200,000円
2 旭地区防災食プロジェクト	地いきのみんなの食事を守るんジャー	防災かまどベンチの製作 さつまいもの栽培	200,000円
3 にじいろ発見隊	こども目線でやさしいまちをつくる	はりまや橋小学校区のまち歩き、マップ作成	200,000円
4 太平洋学園コミュニティ協力隊	学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ～被災地から学ぶ防災・被災の対策～	熊本地震被災地現地視察 学内・地域での防災啓発活動	176,300円
5 高知市立久重小学校6年生	国際色豊かで災害に負けな い久重地区を作ろう	国際食文化・遊び交流会 防災食品試食会開催 逃げ地図作り	200,000円
6 一宮家おもてなし隊	一宮家はひとつの大家族や き！！	あいさつ運動 高齢者施設訪問・清掃 防災グッズ、道徳カルタ作り	200,000円

## 助成団体の活動が始まりました！

### 高知市立久重小学校6年生

地域の方と一緒に、災害が起こった時に避難する経路を考えて「逃げ地図」を作ります。その前に、作り方を教えてもらい、実際に大きい地図の道に色を塗って、自宅からの避難場所までの経路や時間を測ってみて、みんなで情報共有しました。



### 一宮家おもてなし隊

地域の祭りの手伝いや公園の清掃を行いました。また、防災グッズ作成や、高齢者施設そうじ手伝い、認知症講習会への参加、8月末には、大島青松園へ視察に行く予定です。

### にじいろ発見隊

帽子を作成し、実際にまち歩きを行っています。学校周辺のいろんな情報を集めて、地図にまとめていきます。学校にポスターを貼って、一緒に活動してくれるメンバーも募集中です。



### 旭地区防災食プロジェクト

さつまいもの苗を植えました。草刈りから始まり、畑づくりなど地域の方や大学生と一緒にに行いました。また、旭小で行われた旭なつまつりで、活動のPRもしました。

### 南海ふれあい応援隊

大人の講師を招いてふれあい教室を開催します。現在12教室を予定しており、夏休みなどに、多くの参加者に来てもらえるよう呼びかけやチラシの配布をしています。8月は1日にちらし寿司作り、3日にサッカーと昔遊び教室、8日に英語教室、19日にミニクルーズ、20日にバールンアート教室をします。9月10日にはやさしい作り教室を予定しています。詳細は地域コミュニティ推進課または南海中学校にお問い合わせください。



### 太平洋学園コミュニティ協力隊

近くの小学校で行われた防災祭りに参加し、各ブースの手伝いを行いました。8月末には熊本に視察に行く予定です。

## ★公開審査会の様子★

### ★南海ふれあい応援隊★



南海中学校のメンバーで、地域のつながりを深めるために、大人の講師を招いてふれあい教室や、朝食をみんなで作るふれあい食堂を開催します。

### ★にじいろ発見隊★



はりまや橋小学校6年生で結成されたグループで、小学校の周りを歩いて探検し、マップを作ります。ダンボールを使った手作りのマップを見せて発表しました。

### ★旭地区防災食プロジェクト★



旭小学校の近くで畑を耕して、防災食としてさつまいもの栽培をします。その他、地域のつながりを深め、憩いの場としても活用できるように、地域の方と一緒に防災かまどベンチなどを作ります。

### ★太平洋学園コミュニティ協力隊★



学校周辺や高知駅で防災啓発活動を行います。熊本地震の被災地にも視察に行つて、実際に避難する時に必要なことを学習して皆に伝えていきます。

### ★一宮家おもてなし隊★



昨年に引き続き2年目の応募で、国際交流と防災の活動を行います。国際交流では、久重地区の食文化や昔遊びを調べて、それぞれの文化を紹介し合う会を開催します。防災では、防災食の試食会に加えて、久重地区の逃げ地図作りを地域の方と一緒にいきます。

**公開協議  
こども審査員で、「いいね!」「少し質問がある」「もうちょっと!」の一次判断をした後、各団体に確認したいことなどを質問しました。**



### ★質問をすることも審査員★

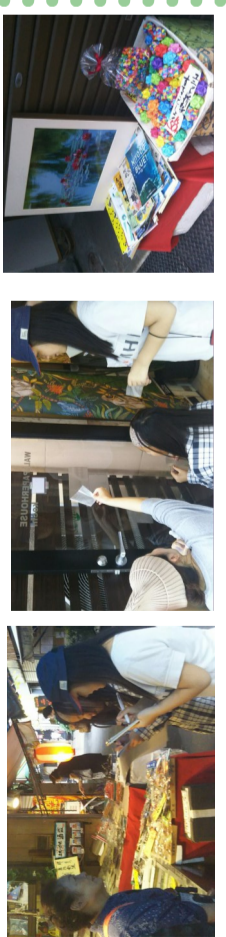
3年目の応募で、今年度は今までの活動の集大成として活動していきます。あいさつ運動や地域の祭りの手伝い、高齢者とのふれあいや清掃手伝い、防災グッズ作りなどを行います。今年はそれに加え、道徳カルタ作りをするために、心の教育やハンセン病療養所の視察を行って、道徳についても学び、地域に伝えていきます。



## にじいろ発見隊

### こども目線でやさしいまちをつくる

はりまや橋小学校6年生3人組のグループで7月から9月にかけて校区のまち歩きを行い、調べた情報をマップにしました。  
おすすぬ、ふしぎ、おもしろい、びっくり、おいしい、きけん、注目の7つのポイントでまちを調べてきました。インタビューなども行って地域の人と交流もしました。



## 南海ふれあい応援隊

### ふれあいで地域を元気にしよう

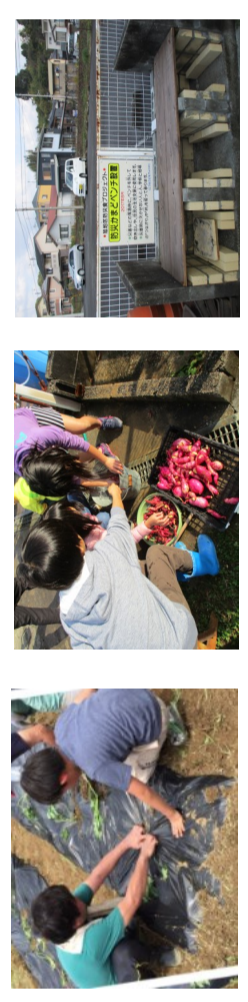
地域の絆を深めるために、ふれあい教室やふれあい食堂を企画しました。地域の大人の方に講師をお願いするなど、こどもから大人まで参加できるものになりました。  
ふれあい教室は夏休みを中心に、ふれあい食堂は秋から冬にかけて朝ご飯の時間に行いました。



## 旭地区防災食プロジェクト

### 地いきのみんなの食事を守るんジャー

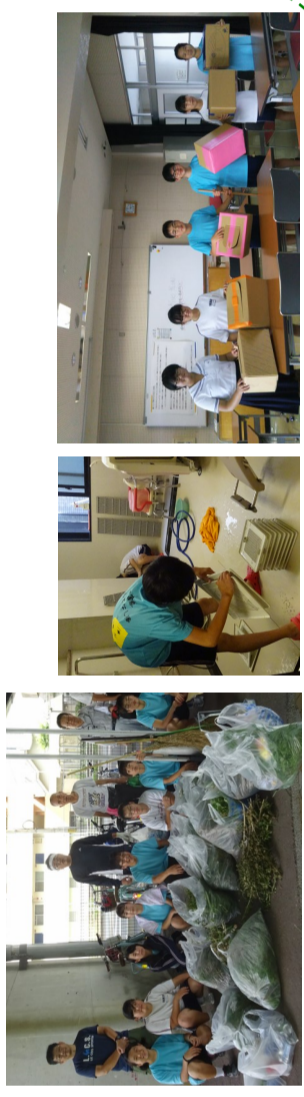
小学生中心のグループで、地域の空き地を使って、防災について学び、伝えるために、防災かまどベンチの製作やさつままいもの栽培をしました。活動には地域住民の方やメンバーの友達、高知大学防災すけっと隊も協力してくれています。



## 一宮家おもてなし隊

### 一宮家はひとつの大家族やき！

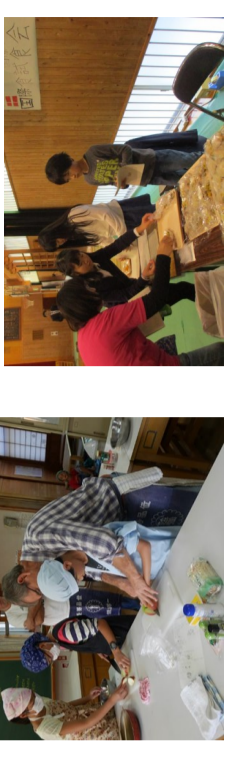
あいさつ運動や地域の清掃活動を通して、地域の絆を深めていきました。高齢者施設を訪問し清掃手伝いをしたり、防災の取組みで簡易トイレ作りを行いました。  
今年度のテーマは「心」で、ハンセン病患者の施設の訪問や、道徳についても学んだことをもとにカルタを作成中です。



## 高知市立久重小学校6年生

### 国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう

地域の人と「逃げ地図」を作成し、それをもとに危険な場所をチェックして地域探検を行いました。また、地域の特産品を使って外国料理のレシピを作るなど、地域に住む外国人との交流も行ってきました。



## 太平洋学園コミュニティ協力隊

### 学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ ～被災地から学ぶ防災・被災の対策～

熊本地震の被災地を視察して防災について学んだことをもとに、会報やパネルなどを作成しました。また、防災の呼びかけを書いたティッシュを作成し、高知駅や地域の行事で配布してきました。



# 平成29年度 こうちこどもファンド活動発表会を開催しました

平成30年3月18日(日)13時30分から、高知市南部健康福祉センター2階大ホールにて、平成29年度に助成を受けた6団体が自分たちの活動成果の発表を行いました。当日は発表団体を含め、約100名の参加者が、活動を終えて成長した子どもたちの発表に、感心しながら聞き入っていました。

## 表彰団体が決定しました

参加団体や会場に来られた皆さんの投票により、表彰団体が決定しました。

### 【ベストパフォーマンス賞】

活動内容や発表会でのプレゼンテーションが一番良かったグループ(会場投票により決定)



高知市立久重小学校6年生

### 【ベストピカッと賞】

活動の進め方や活動内容について、工夫や面白さが感じられたグループ(審査員投票により決定)



旭地区防災食プロジェクト

### 【ベストこどもファウンド賞】

発表会でのプレゼンテーション、活動内容など、一番良かったと思うグループ(審査員投票により決定)



にじいろ発見隊

## 交流タイムで意見交換を行いました

各団体の発表や成果物を見て、他団体の活動のアイデアを自分達の活動に活かすことができないか考えて発表し、質問や意見交換を行いました。団体・審査員の間でたくさんアイデアや質問が飛び交い、それぞれの活動について考えを深め合う時間になりました。



## 助成団体の活動を紹介します

### 南海ふれあい応援隊

～ふれあいで地域を元気にしよう～

地域の大人の方に講師になってもらい、スポーツ・遊び・野菜づくり・釣りなどの「ふれあい教室」という出前講座を企画し、夏休みを中心に開催しました。

また、地域の食材を使った朝食を地域の方と一緒に作って食べる「ふれあい食堂」も開催しました。参加者にバッチを配るなど工夫し、地域の絆を深めるために活動しました。



### 旭地区防災食プロジェクト

～地いきのみんなの食事を守るんジャー～

旭小学校の中にある畑を使って、防災食(さつまいも)を栽培しました。台風の影響で作物が飛ばされそうになったこともありましたが、地域のみなちと協力して収穫ができました。また、「防災かまどべんち」を作って地域との交流会を開催したり、防災新聞を発行するなど、農作業や防災について学びながら、地域との交流を深めました。



### にじいろ発見隊

～こども目線でやさしいまちをつくる～

はりまや橋小学校区内の地域の方にインタビューをしながら、「おすすめ・ふしぎ・おもしろい・びっくり・おいしい・危ない・注目」の7つの視点でまちを探検し、集めた情報が一冊でわかるマップを作成しました。

完成したマップを使って、消防団や地域の方と一緒に町を歩いてみるなど、自分たちのまちをよりよくするために活動しました。



### 太平洋学園コミュニケーション協力隊

～学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ《被災地から学ぶ防災・被災の対策》～

地震の被災地である熊本を視察し、防災に関するパネルを作製し、地域での防災活動を行いました。また、防災啓発のためにリーフレットやハンドブック、ポケットティッシュを作成し、地域で配布活動を行いました。3月には学んだことを地域の公民館で発表し、避難所運営ゲームを行うなど、地域との交流を行いました。



### 一宮家おもてなし隊

～一宮家はひとつの大家族やき!!～

地域の絆を深めるために、日々のあいさつ運動・清掃活動・防災グッズの作製・高齢者施設での交流などの活動を行いました。

今年度は大島青松園を訪問し、そこで暮らす人々の生き方など道徳について学んできました。それを元に今度は「道徳カルタ」を作成し、地域の方と交流を行っていく予定です。



### 高知市立久重小学校 6年生

～国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう～

「防災」「国際交流」の2つのテーマで、地域の方と一緒に活動をしてきました。

防災では、防災食試食会を開催したり、避難経路を記した逃げ地図を作った、それをもとに地域深検を行うなど活動しました。国際交流では、地域の食材を使った外国レシピの開発や、久重・外国の昔遊び体験交流を行いました。



# 平成30年度 助成団体の活動をご紹介します

／ちよっただけ／

平成30年度は、公開審査会で応募全7団体の助成が決定しました。各団体は公開審査会以降、「食」「防災」「イベント」「地域交流」「清掃」など、さまざまなテーマで活動を行っています。今回は、事務局が取材した各団体の活動風景を、ほんの少しだけご紹介します！

なお、平成31年3月17日(日)に開催する活動発表会(1ページ参照)では、こどもたち自身が30年度の活動成果を発表します。ぜひ会場へお立ち寄りいただき、子どもたちのまちづくりに対する熱意を感じてください。



## IKKU絆コミュニティ

『地域交流でつくる一宮の絆』



災害時などに地域の皆で助け合うための強い絆を作ろうと、一宮地域の高齢者施設やお祭りなどで、ボランティア活動を行っています。また国立療養所大島青松園を訪問し、ハンセン病の歴史を知ること、「学んだことを伝える」大切さを感じました。新聞作成や発表会の開催など、学習・活動内容を発信して、一宮中学校のイメージをもっと良くしていきたいと考えています。

## おおっっ子

『満開の笑顔でつながれおおっっ子』



これまでアルミ缶を回収・換金し、地域の福祉施設に車イス等を寄贈する活動を行ってきたが、30年度は新たな取り組みとして、「防災劇」を企画しました。大津中学校生徒会のキヤラクター「おおっっ子ちゃん」が、「地震博士」「ひなんちゃん」と一緒に防災について学んでいくというストーリーで、大津文化祭や公民館などで防災劇を披露しました。

## 太平洋学園コミュニティ協力隊

『学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ～避難所生活を皆で考えよう～』



避難生活を想定した1泊2日の「防災キャンプ」を太平洋学園高校で行いました。避難所での実体験を基にした事例を学び、体育館で防災食の調理等を行いました。夜は段ボールの寝床で眠り、避難所生活を体験。この防災キャンプで学んだことなどをまとめ、学園祭で広報したり、地域に向けて発表をしたりするなど、防災啓発に関する活動を行いました。

## AOYAGI 地域盛り上げ隊

『過去の絶海池を取り戻し、地域の笑顔よみがえらせよう！』



青柳中学校区内にある絶海池をきれいにするため、「第1回絶海池クリーン大作戦！」と銘打って、一斉清掃を行いました。集めたごみの量を競うゲーム形式で清掃を実施し、約150人の生徒・先生・地域の方々とたくさんのごみを集めました。また、事前に地域の方に取材をして、絶海池の歴史などを紹介する「絶海池新聞」を発行しました。

## 旭地区防災食プロジェクト

『みんなの命と食をこどもが守るんジャー！』



29年度から旭小学校の畑を使って防災食(野菜)を栽培し、農作業・防災について学びながら、地域との交流を深めています。30年度は、アルミ缶を使ったご飯炊き、畑の野菜を使ったピザづくり、さつま芋・大根・かぶ・小松菜・チンゲンサイ等の収穫作業を体験しました。防災食を広めることによって、防災意識を高めるために活動を行っています。

## 虹を見る子どもたちプロジェクト

『虹を見る子どもたちプロジェクト～夢を叶えよう～』



「こどもたちに夢の大切さを知ってもらい、夢を持ってもらえる」ような活動を行うため、11月に「こじやんと広場」で1日限定イベントを開催しました。フリーマーケットやプレイブースなどを用意し、司会進行やステージでの演奏など、子どもが主体となってイベントを運営。最後は手話パージョンの「銀河鉄道999」を会場全員で歌い、フィナーレを迎えました。

## naturalチーム

『豊かな里山の四季の食材を発見し、久重のごはんを広めよう！』



久重地域に自生する野草の収穫・調理等を行い、有用植物(食用・薬用などさまざまな用途で人の役に立っている植物)のレシピを作成しています。これまでに、タンポポ・ノカンゾウ・ムカゴ・アケビなどを採取し、地域の方に教わりながら、調理をしました。また、地域行事に参加して七草粥を試食するなど、里山の魅力をたくさん感じながら、活動をしています。

# 平成30年度 こうちこどもファンド活動発表会を開催しました

平成31年3月17日(日)13時30分から、高知市南部健康福祉センター2階大ホールにて、平成30年度に助成を受けた7団体が自分たちの活動成果を発表しました。当日は発表団体を含めて約100名が参加し、団体が連携する可能性を模索するなど、実りある活動発表会となりました。



## 交流タイムで意見交換を行いました

各団体の発表や成果物を見て、他団体の活動のアイデアを自分達の活動に活かすことができなにか考えて発表し、質問や意見交換を行いました。団体・審査員の間でたくさんの方のアイデアや質問が飛び交い、それぞれの活動について考えを深め合う時間になりました。



## 各団体が発表を行い、表彰団体を決定しました



naturalチーム

【ベストパフォーマンス賞】naturalチーム  
活動内容や発表会でのプレゼンテーションが一番良かったグループ（会場投票により決定）

【ベストピカッと賞】AOYAGI地域盛り上げ隊  
活動の進め方や活動内容について、工夫や面白さが感じられたグループ（審査員投票により決定）

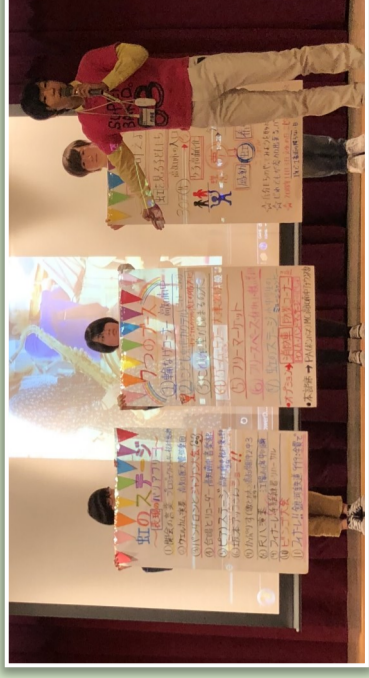
【ベストこどもファンド賞】虹を見る子どもたちプロジェクト  
発表会でのプレゼンテーション、活動内容など、一番よかったと思うグループ（審査員投票により決定）



AOYAGI地域盛り上げ隊



虹を見る子どもたちプロジェクト



おおつっ子



太平洋学園コミュニティー協力隊



旭地区防災食プロジェクト



IKKURU絆コミュニティ



# 令和元年度 こうちこどもファンド公開審査会を開催しました

6月16日(日)、令和元年度の助成団体を決める公開審査会を開催し、応募全12団体の助成が決定しました。

今年度は「食」「防災」「地域交流」「広報」などさまざまなテーマで、各団体から活動提案がありました。審査員の子どもたちは、事前に決めた評価ポイントを基に各団体へ質問を行い、公開協議を経て、全体への助成を決定しました。

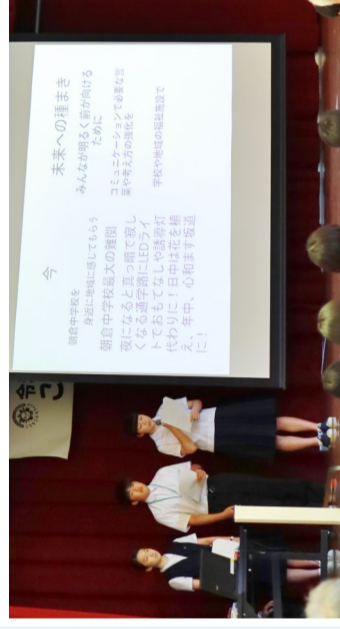
審査会の詳細などをまとめた報告書は、地域コミュニティ推進課のホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



▲助成団体⑤太平洋学園コミュニティー協力隊



▲助成団体⑥Juvenile



▲助成団体⑦朝倉中学校生徒会



▲助成団体⑧おおつつ子



▲助成団体②土佐山宣隊 6ネンジャー



▲助成団体⑨Co-CREATOR



▲助成団体⑩久重naturalチーム



▲助成団体④高知とさじゆく広報部



▲助成団体⑪AOYAGI 地域盛り上げ隊



▲助成団体⑫Village Jamboree



▲助成団体①旭地区防災食プロジェクト



▲助成団体③ふんわりシスターズ

## こども審査員(10人)



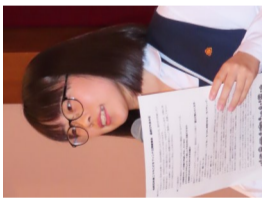
古谷委員



前田委員



増田委員



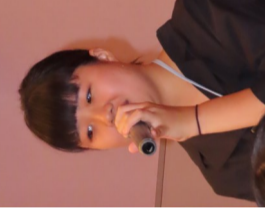
水沼委員



西森委員



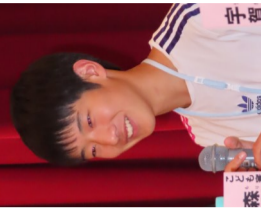
戸田委員



宇賀委員



森本委員



田部委員



吉本委員



## 旭地区防災食プロジェクト



夏に開催された「防災学習会&防災キャンプ」では、高知大学防災すけっ隊から災害時に活用できる「防災お菓子ポーチ」の作り方を教えてもらったり、実際に学校に宿泊することで避難所生活を疑似体験しました。

## 土佐山宣隊6本シジャー



子どもたち自慢の土佐山地域を多くの人を知ってもらうため、土佐山の魅力が詰まった看板作成を企画。地域の方からお話を聞きながらアイデアを練り、子供たちがデザインを考えたいオリジナル看板を土佐山に設置したいと考えています。

## ふんわりシスターズ



「高知の商店街を盛り上げたい!」と立ち上がった彼女たちは、はりまや橋商店街にスポットを当てて活動中。商店街をPRするうちわ型パンフレットを作成し、よさこい祭り期間中には配布活動を行いました。

## 高知とさじゅく広報部



こうちもアランドでまちづくり活動に取り組み子どもたちが「高知のヒトの魅力」と感じ、活動団体を取材。撮影した動画を編集し、YouTube等に投稿することによって、高知の魅力を世界に発信していきたいと考えています。

## 太平洋学園コミュニケーション協力隊



学校内で防災キャンプを実施し、防災の調理体験や段ボールを寝床にした避難所生活を疑似体験しました。また、地域でのフィールドワークを通して情報を集めながら、防災に役立つ知恵を実践していくために奮闘中です。

## Juvenile



昔遊び体験(けん玉・コマ等)や防災をテーマに、地域交流イベント「Let'sほこほこ交流会」を高知国際中学校で開催しました。災害発生時に協力できる関係者を作るために、地域の方々が楽しんで交流できる機会を提供していきます。

## NEWS 03

# 令和元年度 助成団体の活動をご紹介します

／ ちょっとだけ /



## 朝倉中学校生徒会



地域の老人ホームを訪問し、シクラメンの花やオリジナルの「紙の門松」を贈呈。レクリエーションを通じて子ども会と交流するなど、朝倉地域を一人でも多くの人に誇れる場所にするため、地域の絆を深める交流活動を行っています。

令和元年度は、公開審査会で応募全12団体の助成が決定しました。各団体は公開審査会以降、「食」「防災」「イベント」「地域交流」「清掃」など、さまざまなテーマで活動を行っています。今回は、事務局が取材した各団体の活動風景を、ほんの少しだけご紹介します!

なお、令和2年3月15日(日)に開催する活動発表会(1ページ参照)では、子どもたち自身が1年度の活動成果を発表します。ぜひ会場へお立ち寄りいただき、子どもたちのまちづくりに対する熱意を感じてください。

## おおっ子



安心して暮らせる大津地区にするため、「防犯」をテーマに寸劇を企画。自転車の盗難防止・詐欺・架空請求など、子どもから高齢者まで気をつけてほしいことを防犯劇として盛り込み、地域の方々に披露しました。

## Co-CREATOR



望海ヶ丘団地内の公園・メインストリートの清掃活動や、交通安全啓発ポスターの設置等を行っています。今後は通学路の清掃を行うなど、もっと住みやすい団地になるように、地域の方と連携しながら活動を行っています。

## 久重naturalチーム



天体観測の知識を専門家から学び、地域内外の方を招待して星空観測会を開催しました。また、地域に自生する有用植物を使った保存食(四方竹のメンマや9種類のお茶)を作るなど、久重地域の魅力を発信するために活動中。

## AOYAGI地域盛り上げ隊



「絶海池クリーン大作戦」や地域の偉人である濱口雄幸生家の清掃等を通じて、青柳地域の魅力を発信。その活動が評価され、「第20回環境美化教育優良校等表彰」では最優秀校に選ばれ、文部科学大臣賞を受賞しました。

## Village Jamboree



地元に住む子どもたちならではの視点で、愛宕商店街やそこに住む「ヒト」の魅力を紹介するフリーペーパー『ATAGOBITO』を発刊。全て手書きで描かれた味のある紙面は、子どもたちの商店街に対する愛で溢れています。

# 令和元年度 こうちこどもファンド活動報告！

子どもたちの1年間の活動成果について、3月の「活動発表会」で子どもたち自身が発表する予定でしたが、令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。  
そのため、こどもファンド通信で皆さんの活動報告の一部を紹介させていただきます！  
(詳しい活動報告は、令和2年7月発行予定の「令和元年度こうちこどもファンド事業報告書」をご覧ください)

## 旭地区防災食プロジェクト ④地域のみんなの命と食を守るんジャー



- ① 主な活動  
防災学習会&防災キャンプ・防災食となる野菜の栽培
- ② 活動をを通して  
たくさん話していきよに作業したり遊んだりするので、子どもも大人もすぐに仲良くなりました。学校の友だちや知り合いが少しずつ来てくれるようになったので、もっと仲間を増やしたい。地震は怖いけれど準備できることを知っていることと安心できることがたくさんある。そういうことをみんなに伝えたい。

## 土佐山宣隊6ネンジャー ④Welcome to Tosayama ～おすすめスポーツ大作戦～



- ① 土佐山地域の魅力が詰まった看板の作成
- ② 実際に目の前にできて、これ（看板）を自分たちで作ったんだと思うと、感動しました。自分たちの思いを何度もプレゼンしてとても大変だったけど、いい看板ができて良かったです。そして、これから土佐山のよいところをもっともっと知ってほしいという気持ちが大きくなりました。

## ふんわりシスターズ



- ④ **商店街をパンフレットで活性化！**
- ① はりまや橋商店街をPRするうちわ型のパンフレットの作成・配布
- ② うちわを置くことで、それを見た人が商店街にやってくるのを見た。効果はあったと考える。  
うちわで地域を活性化することはできたと考える。  
1人では良いアイデアがでたり、多くの場所に配ることはできなかつた。協力することの大切さをしっかり実感できた。

## 高知とさじゅく広報部 ④高知のこと知っちゃう？～高知を世界に発信～



- ① こどもファンドで活動する子どもたちを取材し、動画で発信
- ② 自分達自身が知らなかった高知県の良さを知れて良かった。また、この活動を通して、自分たちが住んでいる高知県について見直して、どう高知県全体を良くしていくか行動を起こすための糧になったと思う。そして、このうちこどもファンドを通して、たくさんの方々と関わることができ、高知県民の心の温かさに触れることができた。

## 太平洋学園コミュニケーション協力隊 ④学内・地域の皆さんとより密心して暮らせるまちへ～自分達で行う防災～



- ① 地域に根付いた防災活動・防災キャンプの実施
- ② 今年度は3年目の活動になり、今年度の活動目標でもある私たちにこそできる防災を頑張ってきましたが、例年よりも一歩踏み込んだ活動を数多く体験できたように感じています。協力する、多くの人が関わるからこそが防災活動に役立つということがメンバーの皆が感じたことです。

## Juvenile



- ④ **Let's! ほぼ二交流会～地域のつながりに関心を持つ～**
- ① 昔遊び体験や防災をテーマにした地域交流イベントの実施
- ② 実際に自分たちでイベントを行うことで、イベント開催の手順や電話対応、準備期間や当日の役割分担についてなど、多くのことを体験し学べた。多くの方々と関わりを通じて、「協力」や「助け合い」の大切さを学ぶことができた。  
自分たちが今回の活動で経験したことや学んだことを次の世代につたえていきたい。

## 朝倉中学校生徒会



- ④ **人に優しい笑顔あふれるまちづくり～ASAKURA～**
- ① 地域の絆を深める交流活動
- ② 全ての活動において、笑顔を咲かせることができ、活動して楽しかったです。また、地域の方にどのように自分たちの活動を理解してもらい、巻き込んでいくかが課題となりました。  
今年度の活動をさらに広げていくために、以前から行っている地域清掃などを通して、地域の方々と今以上に繋がって進めていきたいと思いました。

## おおっ子



- ④ **防犯への意識が高い大津地区！**
- ① 「防犯」をテーマにした劇の披露
- ② 地域の方と防犯について一緒に考えることで、地域の知らなかったことについてたくさん知ることができました。  
大津地区のつながりをさらに強くするためにたくさんの方々の行事を今以上に連携し、行っていききたいと考えています。地域の保育園や老人ホーム等にも訪問し、たくさんの方とつながりを作りたいです。

## Co-CREATOR



- ④ **望みの望海作り**
- ① 自分たちが住む団地内の公園やメインストリートの清掃活動
- ② 月一でゴミを拾って回りましたが、ゴミが減らず、いつも45リットルゴミ袋1つはすぐいっぱいになるくらい、大量のゴミが毎月たまってました。  
1年では思うようにできなかつたので、これからも活動を続けて影響を出せる位にしたい。

# こども審査員にインタビュー!!

こどもファンドに応募されてきた活動の審査を行う「こども審査員」。初期の審査員の中には社会人となっている人も!

今回、そんな「こども審査員」経験者の皆さんの「今」にせまりつつ、インタビューを実施。活動の中で感じたことなど率直な感想を聞いてみました。

## 自分に行き届くことは何やろう?

もともと、とさつ子タウン(★1)というイベントに参加して、その中でこども審査員のオファーが来たので参加してみました。

こども審査員を経験して1番印象に残っているのが、同年代の子たちが早くから「地域活性」に関わっていきこうとしている姿。なら自分できることって何やろうって思ったときに、そういう頑張っている人たちを後押ししたいと思いました。



いのうえ まりん  
井上 青海さん(18)

・H24~25年度こども審査員  
・高知学園大学1年生

活動する側の視点じゃなく、それを裏でサポートするという立場を経験して、サポートするって相手だけじゃなく自分のプラスにもなるな、楽しいなって思いました。

★1とさつ子タウンとは  
子どもたちが社会の仕組みやお仕事を疑似体験でききる架空のまち

## 将来の夢につながる

もともと高知が好きっていうのもあるけど、とさつ子タウンとかこどもファンドに参加していくうちに、もっと「地域活性」に興味がわいてきました。

今は、管理栄養士になって高知の食文化を継承したり、そういう形で高知に貢献しようと思いい、勉強を頑張っています。将来の自分の進路や夢にもつながってくださると思うのでこんな貴重な機会を逃さずに積極的にチャレンジしていきたいです。



あおき まり  
第1期こども審査員  
第四小学校5年生(写真当時)

現在、学校の「副生徒会長」を務める青木さん。その背景にはこどもファンドでの経験が大きく関わっていると言ってくれました。青木さんのモットー「HAPPY SPIRAL」とは。



あおき まり  
第3期こども審査員  
はりまや橋小学校3年生(写真当時)

あおき まり  
青木 晴楓さん(14)

・H26~28年度こども審査員  
・H29年度活動団体「にじいろ発見隊」こども代表者  
・土佐塾中学校3年生

現在、外科医を目指し高知で医学を学ぶ池上さん。進路を考えた時、人と関わる仕事をしたいと思っただけに、こども審査員での経験があると語ってくれました。

## 人と関わるのっていいな

こども審査員としての活動を振り返って、小学生から高校生までみんなが意見を言えることが強く印象に残っています。なかでもすごいと感じたのが、細川審査員(当時高校3年生)。彼が率先して意見を言って、周りを引っ張っていく姿に刺激を受け、自分も積極的に発言するようになりました。

## やってみて!

高校生までは、学校以外の公の場で色々活動できる機会は少ないと思います。その中で経験したことは自分にとってプラスになるし、他の団体の話を聞くだけでも新たなことを知るチャンスです。それが先々、進学や仕事を選ぶときに良い方向にきつとほらくはずです。やるかやらないか迷ったら、ぜひやってみてください!



## HAPPY SPIRAL

今まで自分に何かができるって自信がなかったんですね。けど、こどもファンドを経験してから、住んでいるまちのために自分に何ができるかな?と考える機会が増えたり、今、地域を変えられたがやったら学校だって変えられるし、友達のために何ができるかな?と前向きになれるようになってきました。

## 一歩を踏み出して

こども審査員のとき、私くらの子どもでも地域を変えられるって知ったし、実際に活動することで、地域の人が自分の行動で喜んでくれるということを知ることができました。悩んでいるなら一歩を踏み出して、それだけで地域も世界も変わるということを知ってほしいです。

また、今までいろいろな人のおかげで活動に参加することができたので、今度は、何か活動したい!って思っている人に、こんな活動があるよってつなぐことができたらいいなって思います。

また、こども審査員として、他の人が地域や周りを変えていくお手本を見ることができたし、実際に活動もしたことで地域の人が求めていることを聞くことができました。その経験から、なら生徒はどんな学校にしたいと思っているのかな?と思い、生徒会活動を通して行動に移したことで、より身近にみんなが喜んでくれたと感じることができました。自分の行動が学校を変えていることを実感し、多くの人に幸せを広げる「HAPPY SPIRAL」の気持ちをもっと強くまりました。



いけのうえ はやし  
池上 勇人さん(23)

・H24~25年度こども審査員  
・高知大学医学部5年生



第1期こども審査員  
春野中学校3年生(写真当時)

# こうちこどもファンド

## 通信

編集・発行：高知市地域コミュニティ推進課 TEL 088-823-9080

### NEWS 01

## 令和3年度の活動団体を募集しています！

まちの誰かが喜ぶような、こどもたちのまちづくり活動を募集しています。「こどもファンドってどんなもの?」「どんな活動が対象になるの?」「やりたいことをどう形にしたらいいか分からない」など、少しでも興味や疑問を持たれた方は、お気軽に事務局までお問い合わせください！



### 例えば



手作りマスクを地域の方や、医療関係者の方にプレゼントしたい！

新型コロナウイルスの影響で、日々欠かせないものとなった「マスク」を使ったまちづくり活動など。皆さんの考えるまちづくりを応援します！

### ●応募対象

- 18歳までのメンバーが3人以上いる
- 1人のメンバーが一つの家族（兄弟姉妹）だけで構成されていない
- サポートしてくれる大人が2人以上いる

### ●助成金額

上限20万円（活動に必要な経費）

### NEWS 02

## 「第10期こども審査員」を募集しています(3月19日(金)締切)

こどもファンドに応募した子どもたちの活動に対して、助成するかどうかを審査する役割を担うのが「こども審査員」です。あなたもこども審査員になって、皆の活動を応援してみませんか？

応募申請書は、市内の小・中学校、高校へ配布しています。また、地域コミュニティ推進課のホームページでもご覧いただけます。



**応募条件**  
高知市在住または市内の学校に通学している  
小学4年生から高校3年生の方

**活動期間**  
令和3年4月1日～令和4年3月31日

**活動内容**  
①事前研修会・事前審査会への参加（6月）  
②公開審査会への参加（6月）  
③活動発表会への参加（3月）

### NEWS 03

## こども審査員にインタビュー!! Vol.3

前号に引き続き、こども審査員経験者に行ったインタビューの一部を掲載！今回は、第2期～第4期までこども審査員を務めた、家古谷優さんです。5歳のころからの夢だったJRで働く彼の座右の銘は「のぞみはかなう（JR東海のキャッチフレーズ）」小さいことからでもいい！何かやってみようという気持ちを持つことが大切。と、こどもファンドに対する思いを語ってくれました。



かこや 優さん (23)

- ・H25～27年度こども審査員
- ・JR四国高知運輸転勤務



第3期こども審査員  
高知中央高等学校2年生  
(写真当時)

### こどもファンドとの出会い

中学校でこどもファンドの募集チラシを見たとき、子どもが思い描いている「面白い何か」を実現できるんじゃないかと思いました。そして、みんながどんな活動をしているのか見てみたいという気持ちからこども審査員に応募しました。

審査会では、子どもが主体となって活動出来ているか、まちづくりになっていくか、学校だけの活動ではなく住んでいる地域のためになる活動であるかといった視点で審査を行いました。審査会の前には活動スケジュールや活動に対する思いを書いた応募資料をかなり読み込み、質問ポイントをきめていきますが、プレゼンテーションのときに資料では伝えきれなかった思いが見えたりするので面白いですね。また、それでも伝えきれなかった相手方のやりたいことを質問で聞き出していくことが審査員の役割であり、面白さだと感じます。

### メッセージ

「やってみよう、やってみなければ分からない」これも私が好きな言葉です。楽しさは人それぞれだと思いますが、いろんな人の意見を聞いて、こういうのもあるんだという新しい発見にワクワクできるかできないか。

私自身、大学生になって地元を離れ、違う地域で自分がどのような人間になるのかを考えたときに、まずは「まち」を見てみようという思いから、消防団に入りました。こども審査員を経験し、まちづくり活動を頑張っている子どもたちやサポートする大人たちを見たから、そういう存在を意識するようになったからこそ、まちの見方や地域の見方にも変化があったのかも知れません。

こどもファンドで自分の知らないわくわくを発見してみてください。



## 令和2年10～1月にご寄附いただいた皆様

### 企業・団体様

- 入交道路施設株式会社  
代表取締役 来 勝典 様
- 有限会社舞高電設  
代表取締役 山下 邦明 様
- 株式会社永野基礎  
代表取締役 永野 雅大 様
- 株式会社シンゲン  
代表取締役 森本 和秀 様
- 和住株式会社  
代表取締役 横矢 忠志 様
- 株式会社四国機電  
代表取締役 安井 正仁 様

ありがとうございました  
ごさいました

ほか1名

事務局に設置している募金箱でもご寄附さいます！  
いただいています！



【発行元・問い合わせ先（事務局）】高知市地域コミュニティ推進課（高知市鷹匠町2-1-43）

TEL：088-823-9080 E-mail：kodomofund@city.kochi.lg.jp URL：http://www.city.kochi.kochi.jp/sosniki/21/

こどもファンドの情報を発信中！こちらからぜひ「いいね」をお願いします。



## こども審査員にインタビュー!!

Vol.3

前号に引き続き、こども審査員経験者に行ったインタビューの一部を掲載！今回は、第1期こども審査員を務めた、細川悠貴さんです。建築・環境に関する専攻で大学に進学し、現在は名古屋で都市計画・都市開発に関するコンサルタント会社に勤める細川さん。偶然にも帰高されるということで、直接インタビューすることに成功！こども審査員の経験が今の自分にも大きな影響を与えたと、こどもファンドに対する熱い思いを語ってくれました。



ほそがわ ゆうき  
**細川 悠貴**さん(26)

総合技術コンサルタント  
昭和株式会社勤務



第1期こども審査員  
高知高等学校3年生  
(写真当時)

### こども審査員になったきっかけ

こどもファンドとの出会いとしては、当時、所属していた部活の顧問の先生に取り組みの紹介を受けて参加することとなりました。子どもたちの「やりたいな」っていうことに様々な方が協力して一緒に関わっていきけるというのが面白いと感じました。

### 貴重な成功体験に

今、まちづくりに関わる仕事をしている中でこの取り組みを振り返ると、地域の方の目線で(特に子ども目線で)、「自主的に」様々な活動を行い、共有し、行政や地元企業が「協力・支援」するという取り組みは重要だと感じています。自分たちで考え、発表し、周りからの協力を得て、実現し、「見える化」し、まちの人が「活用する」そのような

「成功体験」を子どものうちから得られるのは貴重な経験です。その点では、こどもファンドは最高の機会ではないでしょうか。さらに、審査員として一緒にそこに協力して関わっていきけるというのが魅力ですね。

これからのこどもファンドへ  
高知のこれからのまちづくりが、地域の方やまちの方がやりたいことと、その人たちができること、市がやりたいことと、市の施策(実際に行う計画)とがマッチングして、「将来のまちのストーリー」が作れたら楽しいかもしれないですね。将来まちをどうしていきたいか、子どもたちも一緒に考えていくことで自分たちの言った意見が本場にまちのどこかで実現されたり、活かされたりすると、きっと子供たちにとってもいい経験になると思います。

### 皆様の善意をお寄せください

子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。寄附の手続きは簡単ですので、地域コミュニティ推進課までお気軽にご連絡ください。詳細はホームページでもご確認いただけます。なお、寄附金については税制上の優遇措置があります。



◀団体の活動状況は下記のこどもファンドFacebookでも紹介していきますので、ぜひご覧下さい。



### 令和3年4月～6月にご寄附をいただいた皆様

#### 企業・団体様

- 三愛石油カスターマサービス株式会社  
代表取締役社長 高橋 典子 様

#### 個人様

- 久川 憲四郎 様

令和3年4月以前にご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。



## NEWS 01

# こどもファンド助成団体が決定しました!

令和3年度の助成団体を定める公開審査会において、6団体の助成が決定しました。今回の審査は、小学校3年生～高校3年生(全11名)のこども審査員さんが行いました。

### ●令和3年度助成決定団体

団体名	活動テーマ	活動内容	助成額
Different	地域との関わり×防災	○地域との関わりを重要視した防災イベントの開催	20万円
おおつっ子	キラピカ大津クリーン大作戦～今、私たちにできること～	○学校周辺及び地域の児童公園の清掃 ○ポイ捨て防止の啓発ポスターの作成	15万円
未来をかえ隊	鏡川清掃大作戦!～広げよう川・生き物を守るその気持ち～	○川と生き物を守る気持ちを広げること、ゴミに対する意識を持ってもらうための鏡川の清掃活動	20万円
久重naturalチーム	里山保全で久重を発信!～SDGsで持続可能なまちづくり～	○地域の有用植物を使った保存食づくり ○川の生き物の保全を通して里山保全学習	20万円
土佐女子おれんじflowers	はちきんパワーで女性が暮らしやすいまちづくり!	○女性にとって住みやすいまちにすることを目標に、女性の月経についての理解を深めるための映像作成	10.6万円
AOYAGI地域盛り上げ隊	高須、五台山地域の魅力をたくさんの人に知ってもらいたい	○絶海池清掃 ○高須地区のコスモス畑のPRや五台山地区の偉人(濱口雄幸)の魅力を地域の人と協力して発信	20万円



応援してね♪

### ●令和3年度こども審査員

氏名	学校・学年	氏名	学校・学年
宇賀 みくる	小高坂小学校3年	川口 実久留	高知西高校2年
岡崎 倫太郎	高知小学校4年	浅井 萌菜	高知西高校2年
高橋 奏	大津小学校6年	近森 蒔南	高知商業高校2年
古谷 愛夏	高知学芸中学校1年	田岡 夕良	高知小津高校2年
増田 光祥	高知中学校2年	森本 向日葵	丸の内高校3年
		宇賀 みくも	ルネサンス高校3年

第34号 (令和3年7月) **通信**

編集・発行: 高知市地域コミュニティ推進課 (TEL 088-823-9080)

## 子ども審査員にインタビュー!!

前号に引き続き、子ども審査員経験者に行ったインタビューの一部を掲載！今回は、第3期～第10期（現在）子ども審査員を務めている、森本向日葵さんです。子どもファンドでの取り組みがきっかけとなり、ボランティア活動に興味かわいたという森本さん。毎年、よさこいの給水ボランティアに参加するなど、地域を飛び越えて活動しています。

### 子ども審査員になったきっかけ

もともとこうちこどもファンドでクロックソングメイツ（H24・25助成団体）として活動していたときに、当時の子ども審査員の方たちが活動のスケジュールの管理のことから財政的なことまで適確な質問をしている姿にあこがれて、興味を持ったことがきっかけです。

### 審査員の魅力

1番の魅力は、身近で同世代の子どもたちがプレゼンテーションをする姿が見られることです。活動に対する思いを伝えるためにどんな工夫をしているのかを見られたり、さらに、公開審査会での自分の疑問が質疑応答を通して「こういうやり方もあるんだ」「こういう地域の活性化の仕方もあるんだ」と共感に変わったりと、自分自身の勉強にもなります。

### 子どもファンドの経験が与えた変化

子どもファンドで活動をする前は、ボランティアや地域の活動は大人がするに堅いイメージがありました。実際に地域へ出て活動してみると、大変だけれどそれよりも、「楽しいな」周りの人に喜んでもらえるのって「うれしいな」という想いの方が強くなっていました。また、審査をする側になってから人を見かけると、その場面しか目に入らなくても、そこに至るまでにたくさん時間を使って、試行錯誤があったんだなと考えるようになりました。

なかなか学校以外で地域の活動をしたり、ボランティア活動に出会う機会は少ないと思いますが、だからこそ、自分の住んでいる地域のことをもっと知って、気づいていない魅力に気づいてもらいたいです。

### 皆様の善意をお寄せください

子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。寄附の手続きは簡単ですので、地域コミュニティ推進課までお気軽にご連絡ください。詳細はホームページでも確認いただけます。なお、寄附金については税制上の優遇措置があります。



◀ 団体の活動状況は下記のうちこどもファンドFacebookでも紹介していきますので、ぜひご覧下さい。



### 令和3年7月～9月にご寄附をいただいた皆様

企業・団体様

●株式会社アルゴ様



令和3年4月以前にご寄附いただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

## NEWS 01

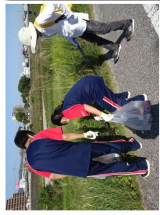
### 令和3年度こうちこどもファンド活動団体について

団体名	活動テーマ	活動内容	助成額
Different	地域との関わり×防災	○地域との関わりを重要視した防災イベントの開催	20万円
おおつ子	キラピカ大津グリーン大作戦～今、私たちにできること～	○学校周辺及び地域の児童公園の清掃 ○ポイ捨て防止の啓発ポスターの作成	15万円
未来をかえ隊	鏡川清掃大作戦！～広げよう川・生き物を守るその気持ち～	○川と生き物を守る気持ちを広げること、ゴミに対する意識を持ってもらうための鏡川の清掃活動	20万円
久重naturalチーム	里山保全で久重を発信！～SDGsで持続可能なまちづくり～	○地域の有用植物を使った保存食づくり ○川の生き物の保全を通して里山保全学習	20万円
土佐女子おれんじflowers	はちまんパワーで女性が暮らしやすいまちづくり！	○女性にとって住みやすいまちにすることを目標に、女性の月経についての理解を深めるための映像作成	10.6万円
AOYAG地域盛り上げ隊	高須、五台山地域の魅力をたくさんの人に知ってもらいたい	○絶海池清掃 ○高須地区のコスモス畑のPRや五台山地区の偉人（漢口雄幸）の魅力を地域の人と協力して発信	20万円

## NEWS 02

### 「未来をかえ隊」が鏡川清掃を実施しました

令和3年10月3日（日）、鏡川緑地公園を中心にごみ拾いを行いました。草の茂みには、空き缶やたばこの吸い殻が捨てられており、活動した1時間でごみ袋約10枚がいっぱいになる量のごみを拾いました。



未来をかえ隊は、高知国際中学校の1年生4人で結成されたグループで、「鏡川清掃大作戦！～広げよう川、生き物を守るその気持ち～」を活動テーマに、清掃活動に取り組んでいます。

国連の持続可能な開発目標（SDGs）の14番「海の豊かさを守ろう」に貢献するため、まずは、通学途中の鏡川周辺をきれいにすることで、ひいては海の豊かさを守ってほしいと考えています。また、清掃活動を地域の人も伝え、川や海の生き物にどのような影響があるのか理解してもらい、一緒に清掃活動に取り組んでいきたいと考えています。



ちよっとだけ /



## 令和3年度助成団体の活動をご紹介します

令和3年度は、公開審査会で6団体の助成が決定しました。各団体は公開審査会以降、「防災」「清掃」「地域交流」「里山保全」「社会問題」など、さまざまなテーマで活動を行っています。今回は、地域コミュニティ推進課が取材した各団体の活動風景を、少しだけご紹介します！

なお、令和4年3月21日に開催する活動発表会（1ページ参照）では、ごもたち自身が1年の活動成果を発表します。ぜひ会場へお立ち寄りいただき、子どもたちのまちづくりに対する熱意を感じてください。

### 未来をかえ隊



国際中学校の1年生4名で結成されたグループです。SDGsの指標「海の豊かさを守ろう」に貢献するため、鏡川緑地公園を中心に清掃活動に取り組みました。活動終了まで、地域住民や学校生徒にも声をかけて活動を広げていきたいと考えています。

### 久重naturalチーム



久重地域に住む小中高生で結成されたグループで、活動は3年目になります。活動を通して久重の魅力を再発見しながら、これからも住み続けられる里山を目指しています。11月には、地域のホタルを守るため、「里山の光広げよう」などと書いた看板を4枚作成し、設置しました。

### AOYAGI地域盛り上げ隊



青柳中学校の生徒会メンバーで結成されたグループです。活動は3年目になります。地域清掃をきっかけに地域の環境や歴史を活かした活動に取り組んできました。今回で5回目となる「絶海池クリーン大作戦」では、以前と比べてごみも目立たず、これまでの活動の成果を実感しました。

### Different



国際中学校の3年生6名で結成されたグループです。地域住民の防災意識向上のため、「地域」×「防災」の視点から体験型の防災イベントを開催し、学校にある災害用備蓄品の見学や簡易トイレの実験などに地域の人が参加しました。

### 土佐女子おれんじflowers



土佐女子中学校の3年生6名で結成されたグループです。女性の「生理」について、まずは正しく理解してほしいという想いから、生理の仕組みや月経前症候群(PMS)、生理の貧困といった社会問題なども盛り込み、わかりやすく解説した自作アニメーションDVDの作成を考えています。

### おおっっ子



大津中学校の生徒会メンバーで結成されたグループです。コロナウイルスの影響で地区の斉清掃が中止となり、地域にごみが目立つようになったことから、月に1回のペースで学校近くの児童公園を清掃しています。また、ポイ捨て防止のポスターを作成し、きれいな公園を保てるよう心掛けてもらいたいと考えています。

## NEWS 04

## 令和4年度の活動団体を募集しています！

「どんな活動が対象になるかわからない」「活動の進め方がわからない」「やりたいことをどう形にしたらいいか分からない」など、少しでも疑問や興味を持たれた方は、お気軽に地域コミュニティ推進課までお問い合わせ下さい！



### ●応募対象（次の①～③の条件を全て満たす団体）

- ① 18歳までのメンバーが3人以上いること
- ② ①のメンバーが一つの家族（兄弟姉妹）だけでないこと
- ③ サポートしてくれる大人が2人以上いること

### ●活動期間

令和4年7月1日～令和5年2月28日

### ●助成金額

上限20万円（活動に必要な経費）

### ●申請締切

令和4年5月10日(火)（当日消印有効）

※申請書類については、地域コミュニティ推進課までお問合せください。

### ●心募説明会を開催します

#### ●日時

令和4年4月10日(日) 午前10時から

#### ●場所

高知市市民活動サポートセンター会議室（鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階）

#### ●お願い

参加ご希望の方は4月8日(金)までに、地域コミュニティ推進課へご連絡ください。なお、説明会会場は駐車場がありませんが、県庁前地下駐車場をご利用の場合、1時間無料になります。



### 3 寄附の実績

年度	件数		寄附額			
	個人	企業	個人	企業	募金箱	合計
H24	1	20	¥20,000	¥1,190,000		¥1,210,000
H25	7	12	¥502,000	¥2,934,000		¥3,436,000
H26	1	11	¥100,000	¥3,840,000		¥1,440,000 1(¥3,940,000)
H27	2	2	¥103,000	¥70,000	¥33,666	¥206,666
H28	1	4	¥3,000	¥80,000	¥51,252	¥134,252
H29	1	2	¥3,000	¥40,000	¥14,003	¥57,003
H30	2	26	¥33,000	¥895,895	¥11,151	¥940,046
H31	2	26	¥33,000	¥1,033,000	¥2,231	¥1,068,231
R2	4	9	¥51,705	¥420,000	¥897	¥472,602
R3	28	37	¥660,000	¥1,218,000	¥0	2¥1,878,000
合計	49	149	¥1,508,705	¥11,720,895	¥113,200	¥13,373,800

※1 平成26年度は寄附金のうち2,500,000円はこどものまちサミット用に寄附があったもの。  
 ※2 令和3年度はふるさと納税型クラウドファンディングを実施。



▲防災キャンプ(避難所体験)  
 (太平洋学園コミュニティー協力隊)



▲昔遊び(Juvenile)

YouTube で動画配信も！

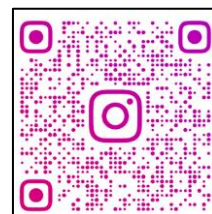


高知とさいゆく  
 広報部の動画は  
 こちらから→



Instagram

はじめました！  
 活動団体のイベント  
 情報発信中♪





## 4 答申に至るまでの検討委員会の流れ

こどもファンド事業のこれまでの成果（こどもたちへの教育的効果・まちづくりにおける地域への波及効果）を検証し、次の10年を見据えた制度の見直し及び新たなしくみ作りについて検討しました。

### 【調査方法】

- ・ アンケート調査
  - ①活動したこどもたち
  - ②活動したこどもたちの家族・大人サポーター
  - ③こども審査員及びその家族
  - ④こども審査員の家族
  - ⑤寄附者
  - ⑥ 一般市民
  
- ・ インタビュー
  - ①こども審査員およびその保護者
  - ②寄附者

### 【検討委員会の流れ】

- 第1回検討委員会（R4.2.15）
  - ・ 検討委員会の方向性について確認
  - ・ 成果検証について検討
  
- 勉強会（R4.3.21）
  - ・ こうちこどもファンドに関わってきた人たちの想い（成果又は課題）を聞くため、アンケートの調査対象・調査項目・調査方法・調査スケジュールを確認
  
- 第2回検討委員会（R4.7.23）
  - ・ アンケート集計結果を共有
  
- 第3回検討委員会（R4.9.13）
  - ・ 見えてきた課題・成果について整理し、今後10年に向けた改善案・新たな提案について協議
  
- 第4回検討委員会（R4.10.17）
  - ・ 答申書（案）について確認
  
- 第5回検討委員会（R4.11.13）
  - ・ 答申書（案）について最終確認

# 高知市まちづくり活動検討委員会

## 委員名簿 一覧表

No.	氏名	所属等	区分
1	ウヅキ モリオ	・ 早稲田大学 社会科学総合学院 教授	学識
	卯月 盛夫	・ 平成 24 年度～高知市子どもまちづくり基金助成金交付審査委員会 大人審査委員長	
2	オザキ アキヒト	・ NPO 高知市民会議 プロジェクトマネージャー	市民活動
	尾崎 昭仁	・ 平成 26 年度～高知市子どもまちづくり基金助成金交付審査委員会 委員	
3	キタヤマ メグミ	・ 高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 准教授	学識
	北山 めぐみ		
4	タケザキ ユウコ	・ 高知市教育委員会 学校教育課 学力向上推進員	市民活動
	竹崎 優子	・ 令和元年度活動団体 土佐山宣隊 6 ネンジャー 大人責任者	
5	タケバヤシ ユキコ	・ 平成 30 年度～久重 natural チーム 大人責任者	市民活動
	武林 由希子		
6	タベ ミソラ	・ 高知大学教育学部 地域協働学部	市民活動
	田部 未空	・ 平成 25 年度 こども審査員 ・ 平成 26・27 年度「Food Treasure Hunter in Namegawa」こども代表者	
7	ツチハシ ヒロシ	・ 公益財団法人 高知新聞厚生文化事業団 専務理事	市民活動
	土橋 宏史		
8	ハタケナカ ヨウコウ	・ こうちこどもファンドアドバイザー	市民活動
	畠中 洋行		
9	フジタ キヨミ	・ 高知市小中学校 P T A 連合会 事務局長	市民活動
	藤田 清美		
10	ヤマサキ ヒデタカ	・ 高知市こども未来部長	本市職員
	山崎 英隆		

## 5 こうちこどもファンドの設立経緯

### (1) 設立趣旨等

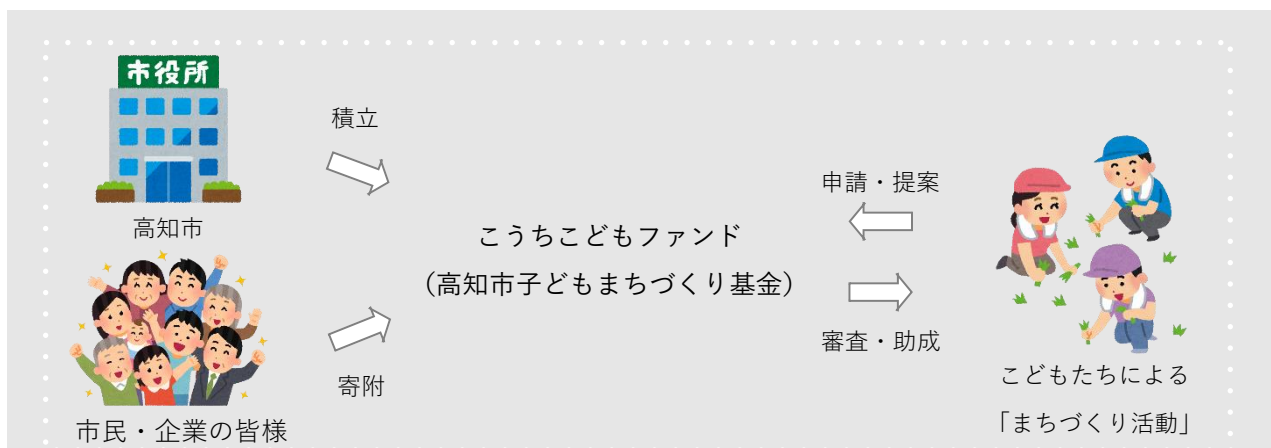
#### ① 設立趣旨

こうちこどもファンドは、未来の高知市を担う子どもたちが、自ら高知のまちについて関心を持つきっかけとなり、「高知をもっと好きになってもらいたい」「高知で生まれ育ったことを誇りに思うように育ててもらいたい」という想いを実現するために、「高知市子どもまちづくり基金」を積み立て、その基金を原資として、子どもたちの自発的な活動を支援する制度です。

#### ② 設立経過

高知市は、平成 15 年に（株）四国銀行に出捐し、「公益信託高知市まちづくりファンド」（以下「まちづくりファンド」という。）を設立。市民等による自主的なまちづくり活動に助成を行ってきました。制度開始から 10 年を目前に控える平成 23 年に、「まちづくりファンド」の今後在り方について検討するため、運営に携わる関係者 10 名にて構成される「公益信託高知市まちづくりファンドの今後の在り方に関する検討委員会」を設置。まちづくりファンドの継続に関する検証と、これまでの成果に関する振り返りを行いました。その中で、これまで助成を行ってきたまちづくり活動の半数近くが子どもの活動に関連するものであったことなどから、こどもの活動に特化した、新たな助成制度の立ち上げに関する提言がなされ、平成 24 年 4 月、こうちこどもファンド制度が創設されました。

### (2) こうちこどもファンドのしくみ



#### 応募条件

- ① 18 歳以下のメンバーが 3 人以上いること
- ② ①のメンバーがひとつの家族（兄弟姉妹）だけでないこと
- ③ サポートしてくれる大人が 2 人以上いること

#### 助成金額

1 事業あたり 20 万円まで  
※助成対象は、事業に必要な材料費・文房具代・印刷費・講師謝金等の経費です。

#### ポイント

#### 制度の特徴

提案・審査・活動の全てにおいて「こどもが主体」となる、全国的にも珍しい制度です。

こうちこどもファンドがめざすもの

- ① 将来のまちづくりを支える人材育成
- ② 「こども」を中心としたまちづくりの活性化
- ③ こどもにやさしいまち(高知市)の実現



(3) 年間スケジュール

4月	活動募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前説明会の開催</li> <li>・ 初めて応募を考えている団体などで、活動内容や活動スケジュールを考える際に困ったことがあれば、こどもファンドアドバイザー（※1）と一緒に活動を組み立てていきます。</li> </ul>	
	申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コミュニティ推進課で申請のあった書類の確認をします。</li> </ul>	
5月	事前審査会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「公開審査会」で審査するポイントをこども審査員（※2）が決定し、模擬審査を通して公開審査会の予行練習を行います。</li> </ul>	
	公開審査会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募団体によるプレゼンテーション（3分）・審査員との質疑応答（5分）によりこども審査員と大人審査員が助成の可否を決定します。</li> </ul>	
6月	活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成を受けた団体のまちづくり活動が実施されます。</li> </ul>	
	活動発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもたちが1年間の活動成果を発表します。こども審査員や活動団体同士で意見交流も行います。</li> </ul>	
7月～2月			
	3月		

### (※1) こどもファンドアドバイザー

こどもたちの想いを整理しながら形にするためのお手伝いをしています。活動の応募申請前に活動内容や活動スケジュールを考える上でのアドバイス、公開審査会前のプレゼン指導、また、活動中も進捗具合に合わせたアドバイスを行うことで、こどもたちの行うまちづくりを尊重しつつ、周りとの繋がりながらスムーズに活動を行えるよう促します。

### (※2) こども審査員

こうちこどもファンドに応募したこどもたちの活動に対して、助成するかどうかを審査する役割を担います。高知市内の小中学校や、高校（一部市外の学校も含む）に通学する生徒などで、こども審査員就任の希望があった子どもたちに、大人審査員（高知市子どもまちづくり基金助成金交付審査委員会委員）委員長が任命します。

## 6 高知市子どもまちづくり基金に関する経過と現状

平成24年度～令和3年度までで、これまで企業・個人の皆さまより合計約1,337万円のご寄附をいただきました。これは、10年間の助成総額約1,108万円を上回る寄附額となっており、こうちこどもファンドは多くの方の応援のもと、成り立っています。

年度	申請 団体数	助成 決定数	助成額 (千円)	寄附 件数	寄附金額 (円)	基金残高 (円)
H24	13	10	1,642,093	21	1,210,000	19,567,907
H25	8	8	1,477,051	19	3,436,000	21,526,856
H26	10	9	1,525,375	12	1,440,000(※3,940,000)	21,441,481
H27	6	6	1,039,821	4	206,666	20,608,326
H28	7	7	1,305,594	5	134,252	19,436,984
H29	6	6	958,070	3	57,003	18,535,917
H30	7	7	982,589	28	940,046	18,493,374
R1	12	12	1,435,504	28	1,068,231	18,126,101
R2	事業中止(新型コロナウイルスのため)			13	472,602	18,598,703
R3	8	6	719,065	65	1,909,000	19,788,638
合計	77	71	11,085,162	198	13,373,800	
年平均	8.6	7.9	123	19.8	1,337,380	

※平成26年度は寄附金のうち2,500,000円はこどものまちサミット用に寄附があったもの。



**【発行】**

高知市まちづくり活動検討委員会

**【事務局】**

高知市市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780-8571 高知市鷹匠町二丁目 1-43 たかじょう庁舎 2階

TEL : 088-823-9080 / FAX : 088-824-9794